

ISSN 1341-6952

東北大学埋蔵文化財調査年報19

第4分冊

仙台城跡二の丸北方武家屋敷地区第7地点の調査
出土遺物3 〈その他の遺物〉

東北大学埋蔵文化財調査室
2008

東北大学埋蔵文化財調査年報19

第4分冊

仙台城跡二の丸北方武家屋敷地区第7地点の調査
出土遺物3〈その他の遺物〉

東北大学埋蔵文化財調査室
2008



1. 武家屋敷地区第7地点 2号造構出土漆器椀



2. 武家屋敷地区第7地点 2号造構出土漆器椀



3. 武家屋敷地区第7地点 2号遗构出土下駁



4. 武家屋敷地区第7地点出土漆器皿



5. 武家屋敷地区第7地点出土驹形木製品



6. 武家屋敷地区第7地点出土漆塗製品



7. 武家屋敷地区第7地点出土漆塗製品

例 言

1. 本書は、東北大学構内において、東北大学埋蔵文化財調査研究センターが2001年度に行った遺跡調査、ならびに研究成果をまとめた調査年報19の、第4分冊である。
2. 報告書の紙幅の関係から、年報19は5分冊に分けて刊行する。本書は、その第4分冊である。本書には、仙台城跡二の丸北方武家屋敷地区第7地点（BK7）の出土遺物のうち、その他の遺物として、第2分冊・第3分冊に掲載するもの以外の遺物を掲載した。掲載する遺物の種類を列記すると、漆塗製品、木簡や墨書きのある木製品以外の木製品、金属製品、石器・石製品、ガラス製品、材質不明の遺物である。
3. 整理作業および本書の編集は、阿子島香の指導のもとに、藤沢敦・柴田恵子・高木暢亮が担当した。
4. 本文は、柴田恵子が執筆した。英文要旨については、柴田恵子が作成し、阿子島香が校訂した。
5. 実測図の作成にあたっては、木製品と古銭以外の金属製品はデジタルトレースで作成した。漆塗製品と石器・石製品は手描きのトレースによって作成した。
6. 卷頭カラー図版以外の写真図版の写真撮影は、(有)仙台写真工房に委託した。
7. 整理・報告書作成にあたっては、以下の方々や関係機関から御指導・御協力を賜った。
記して感謝申し上げる（敬称略）。
仙台市教育委員会、東北大学大学院文学研究科考古学研究室。
8. 出土遺物・調査記録は、東北大学埋蔵文化財調査室で保管・管理している。

凡 例

1. 遺物の実測図および写真的縮尺は、遺物の種類に応じて変えている。漆塗製品と木製品は、特に大型のものを除き、縮尺3分の1で掲載した。古銭は等倍、古銭以外の金属製品と石器・石製品は縮尺2分の1で掲載した。実測図には、スケールを付して縮尺を示している。
 2. 図9～17に掲載したその他の漆塗製品では、一部を除き、黒漆と朱漆の別を、次のようなスクリーントーンで表した。これ以外の実測図中で使用したスクリーントーンは、それぞれの図中において、差し示す内容を提示した。
- その他の漆塗製品 黒漆： 朱漆：
3. 引用・参考文献は、巻末にまとめた。また本文中で、「東北大学埋蔵文化財調査年報」を引用する場合は、年報1という形で略記した。

図 目 次

図1 武家屋敷地区第7地点出土漆椀(1)	13	図26 武家屋敷地区第7地点出土 箸状木製品(1)	38
図2 武家屋敷地区第7地点出土漆椀(2)	14	図27 武家屋敷地区第7地点出土 箸状木製品(2)	39
図3 武家屋敷地区第7地点出土漆椀(3)	15	図28 武家屋敷地区第7地点出土桶類(1)	40
図4 武家屋敷地区第7地点出土漆椀(4)	16	図29 武家屋敷地区第7地点出土桶類(2)	41
図5 武家屋敷地区第7地点出土漆椀(5)	17	図30 武家屋敷地区第7地点出土桶類(3)	42
図6 武家屋敷地区第7地点出土漆椀(6)	18	図31 武家屋敷地区第7地点出土 栓・円板状木製品(1)	43
図7 武家屋敷地区第7地点出土漆椀(7)	19	図32 武家屋敷地区第7地点出土 円板状木製品(2)	44
図8 武家屋敷地区第7地点出土 その他の漆塗製品(1)	20	図33 武家屋敷地区第7地点出土 円板状木製品(3)・楔	45
図9 武家屋敷地区第7地点出土 その他の漆塗製品(2)	21	図34 武家屋敷地区第7地点出土 へら状木製品(1)	46
図10 武家屋敷地区第7地点出土 その他の漆塗製品(3)	22	図35 武家屋敷地区第7地点出土 へら状木製品(2)	47
図11 武家屋敷地区第7地点出土 その他の漆塗製品(4)	23	図36 武家屋敷地区第7地点出土 へら状木製品(3)・柄状木製品(1)	48
図12 武家屋敷地区第7地点出土 その他の漆塗製品(5)	24	図37 武家屋敷地区第7地点出土 柄状木製品(2)	49
図13 武家屋敷地区第7地点出土 その他の漆塗製品(6)	25	図38 武家屋敷地区第7地点出土鉢	50
図14 武家屋敷地区第7地点出土 その他の漆塗製品(7)	26	図39 武家屋敷地区第7地点出土下駄・剣物	51
図15 武家屋敷地区第7地点出土 その他の漆塗製品(8)	27	図40 武家屋敷地区第7地点出土 その他の木製品(1)	52
図16 武家屋敷地区第7地点出土 その他の漆塗製品(9)	28	図41 武家屋敷地区第7地点出土 その他の木製品(2)	53
図17 武家屋敷地区第7地点出土 その他の漆塗製品(10)	29	図42 武家屋敷地区第7地点出土 その他の木製品(3)	54
図18 武家屋敷地区第7地点出土下駄(1)	30	図43 武家屋敷地区第7地点出土 その他の木製品(4)	55
図19 武家屋敷地区第7地点出土下駄(2)	31	図44 武家屋敷地区第7地点出土 その他の木製品(5)	56
図20 武家屋敷地区第7地点出土下駄(3)	32	図45 武家屋敷地区第7地点出土 その他の木製品(6)	57
図21 武家屋敷地区第7地点出土下駄(4)	33		
図22 武家屋敷地区第7地点出土下駄(5)	34		
図23 武家屋敷地区第7地点出土下駄(6)	35		
図24 武家屋敷地区第7地点出土下駄(7)	36		
図25 武家屋敷地区第7地点 出土下駄(8)・曲物	37		

図46 武家屋敷地区第7地点出土	図53 武家屋敷地区第7地点出土煙管	55
その他の木製品(7)58		
図47 武家屋敷地区第7地点出土	図54 武家屋敷地区第7地点出土	
その他の木製品(8)59	その他の金属製品(1)66	
図48 武家屋敷地区第7地点出土	図55 武家屋敷地区第7地点出土	
その他の木製品(9)60	その他の金属製品(2)67	
図49 武家屋敷地区第7地点出土竹製品61	図56 武家屋敷地区第7地点出土	
図50 武家屋敷地区第7地点出土古銭(1)62	その他の金属製品(3)68	
図51 武家屋敷地区第7地点出土古銭(2)63	図57 武家屋敷地区第7地点出土	
図52 武家屋敷地区第7地点出土古銭(3)64	石器・石製品(1)69	
	図58 武家屋敷地区第7地点出土石製品(2)70	

表 目 次

表1 武家屋敷地区第7地点出土	表16 武家屋敷地区第7地点出土木製品集計表83
漆塗製品・木製品集計表(1)71	
表2 武家屋敷地区第7地点出土	表17 武家屋敷地区第7地点出土
漆塗製品・木製品集計表(2)72	柄状木製品観察表83
表3 武家屋敷地区第7地点出土	表18 武家屋敷地区第7地点出土竹製品観察表83
漆塗製品・木製品集計表(3)73	表19 武家屋敷地区第7地点出土
表4 武家屋敷地区第7地点出土	その他の木製品観察表(1)84
その他の遺物集計表(1)74	表20 武家屋敷地区第7地点出土
表5 武家屋敷地区第7地点出土	その他の木製品観察表(2)85
その他の遺物集計表(2)75	表21 武家屋敷地区第7地点出土
表6 武家屋敷地区第7地点出土	古銭観察表(1)86
漆塗観察表(1)76	表22 武家屋敷地区第7地点出土
表7 武家屋敷地区第7地点出土	古銭観察表(2)87
漆塗観察表(2)77	表23 武家屋敷地区第7地点出土
表8 武家屋敷地区第7地点出土	煙管雁首観察表88
その他の漆塗製品観察表78	表24 武家屋敷地区第7地点出土
表9 武家屋敷地区第7地点出土下駄観察表79	煙管吸口観察表88
表10 武家屋敷地区第7地点出土曲物観察表80	表25 武家屋敷地区第7地点出土
表11 武家屋敷地区第7地点出土	その他の銅製品観察表88
箸状木製品観察表80	表26 武家屋敷地区第7地点出土
表12 武家屋敷地区第7地点出土木製品観察表81	その他の鉄製品観察表89
表13 武家屋敷地区第7地点出土木製品観察表81	表27 武家屋敷地区第7地点出土
表14 武家屋敷地区第7地点出土	その他の新製品観察表89
円板状木製品観察表82	表28 武家屋敷地区第7地点出土
表15 武家屋敷地区第7地点出土	石器・石製品観察表89
へら状木製品観察表82	表29 武家屋敷地区第7地点出土
	その他の遺物観察表89

図 版 目 次

図版1 武家屋敷地区第7地点出土漆椀(1) ······	97	図版28 武家屋敷地区第7地点出土 桶類(3)・栓 ······	124
図版2 武家屋敷地区第7地点出土漆椀(2) ······	98	図版29 武家屋敷地区第7地点出土 円板状木製品(1) ······	125
図版3 武家屋敷地区第7地点出土漆椀(3) ······	99	図版30 武家屋敷地区第7地点出土 円板状木製品(2)・楔 ······	126
図版4 武家屋敷地区第7地点出土漆椀(4) ······	100	図版31 武家屋敷地区第7地点出土 へら状木製品(1) ······	127
図版5 武家屋敷地区第7地点出土漆椀(5) ······	101	図版32 武家屋敷地区第7地点出土 へら状木製品(2) ······	128
図版6 武家屋敷地区第7地点出土漆椀(6) ······	102	図版33 武家屋敷地区第7地点出土 柄状木製品 ······	129
図版7 武家屋敷地区第7地点出土漆椀(7) ······	103	図版34 武家屋敷地区第7地点出土鐵 ······	130
図版8 武家屋敷地区第7地点出土漆椀(8) ······	104	図版35 武家屋敷地区第7地点出土檣・鉤物 ······	131
図版9 武家屋敷地区第7地点出土漆椀(9) ······	105	図版36 武家屋敷地区第7地点出土 その他の木製品(1) ······	132
図版10 武家屋敷地区第7地点出土 その他の漆塗製品(1) ······	106	図版37 武家屋敷地区第7地点出土 その他の木製品(2) ······	133
図版11 武家屋敷地区第7地点出土 その他の漆塗製品(2) ······	107	図版38 武家屋敷地区第7地点出土 その他の木製品(3) ······	134
図版12 武家屋敷地区第7地点出土 その他の漆塗製品(3) ······	108	図版39 武家屋敷地区第7地点出土 その他の木製品(4) ······	135
図版13 武家屋敷地区第7地点出土 その他の漆塗製品(4) ······	109	図版40 武家屋敷地区第7地点出土 その他の木製品(5) ······	136
図版14 武家屋敷地区第7地点出土 その他の漆塗製品(5) ······	110	図版41 武家屋敷地区第7地点出土 その他の木製品(6) ······	137
図版15 武家屋敷地区第7地点出土 その他の漆塗製品(6) ······	111	図版42 武家屋敷地区第7地点出土 その他の木製品(7)・竹製品 ······	138
図版16 武家屋敷地区第7地点出土 その他の漆塗製品(7) ······	112	図版43 武家屋敷地区第7地点出土古銭(1) ······	139
図版17 武家屋敷地区第7地点出土 その他の漆塗製品(8) ······	113	図版44 武家屋敷地区第7地点出土古銭(2) ······	140
図版18 武家屋敷地区第7地点出土下駄(1) ······	114	図版45 武家屋敷地区第7地点出土古銭(3) ······	141
図版19 武家屋敷地区第7地点出土下駄(2) ······	115	図版46 武家屋敷地区第7地点出土古銭(4) ······	142
図版20 武家屋敷地区第7地点出土下駄(3) ······	116	煙管・その他の金属製品(1) ······	142
図版21 武家屋敷地区第7地点出土下駄(4) ······	117	図版47 武家屋敷地区第7地点出土 その他の金属製品(2) ······	143
図版22 武家屋敷地区第7地点出土下駄(5) ······	118	図版48 武家屋敷地区第7地点出土 その他の金属製品(3) ······	144
図版23 武家屋敷地区第7地点出土下駄(6) ······	119		
図版24 武家屋敷地区第7地点出土 曲物・箸状木製品(1) ······	120		
図版25 武家屋敷地区第7地点出土 箸状木製品(2) ······	121		
図版26 武家屋敷地区第7地点出土上柄類(1) ······	122		
図版27 武家屋敷地区第7地点出土桶類(2) ······	123		

図版49 武家屋敷地区第7地点出土

石器・石製品(1) ……145

図版50 武家屋敷地区第7地点出土

石製品(2)・その他の遺物 ……146

第Ⅲ章 仙台城跡二の丸北方武家屋敷地区第7地点（BK7）の調査

7. 出土遺物3（その他の遺物）

(1) 漆塗製品・木製品（図1～49、表1～3・6～20、図版1～42）

① 整理作業と資料化の方法

作業の便宜上、木製品のうち、漆塗りのものを漆塗製品として集計している。また、竹製品についても、ここで一括して扱うこととし、木製品に後続した登録番号を付している。

漆塗製品、木製品、竹製品は、水洗洗浄の後、それぞれの種類に分類した。出土量が非常に多いことから、すべてのものを水没け状態で保管することができないため、加工木、木羽、樹皮については、分類後、ゆっくりと自然乾燥させて保管することとした。他のものについては、整理作業が終わるまで、水没け状態で保管した。

集計にあたっては、加工木、木羽、樹皮、不明木製品を除く、すべての漆塗製品・木製品で、1点ごとに、計測値やその特徴を記した観察表を作成した。集計は、その観察表をもとにおこなっている。

箸状木製品は完形、一端が破損しているもの、両端が破損しているものに分類して点数を集計した。本来であれば、十分な接合を行った後に集計するべきであるが、箸状木製品は約3万点弱の点数があるため、接合関係を確認することが困難であり、このような分類を試みた。下駄のうち、差歛下駄では、台部のみ、もしくは差歛部分のみの川土であっても、それぞれを1点として集計している。桶類の側板は、個体数ではなく、接合するものであっても板一枚ずつの数を集計した。天板と底板については、区別せずに集計している。曲物の側板は、破損している場合が多く、一部だけ残存しているものも1点として集計している。部材としたものは、何らかの木製品の一剖品であるが、明確でないものを示している。

加工木は、製品にならない加工途中の木材や、加工で出た木屑など、何らかの加工の痕跡があるものを示している。また、今回の調査では、柱や杭がほとんど出土していないことから、これらについても加工木として集計している。

木羽は、墨根を蒔いた板材であるが、非常に薄い木材であるため、破損しやすく、個体数を把握することが困難であった。そのため、集計では、乾燥後の重量を計測している。樹皮については、完形か破損したものかを形状から判断することが困難であるため、破損・完形に関わらず、1片を1点として集計した。そのため、集計表（表1～3）の合計点数は、木羽と樹皮を含めず、それ以外での合計点数を示している。

木製品については、図化したものは、実測図の作成、写真撮影などの整理作業が終了後、図化しなかったものについては、分類・集計の作業が終わった後、順次、糖アルコール法によって、保存処理を行っている。漆塗製品については、整理作業が終了後、水没け状態のまま、冷蔵庫にて保管している。

今回の資料については、実測図、写真を掲載するものについて、登録番号を付している。登録番号は、漆塗製品にはWL-001から始まる通し番号を付している。木製品については、W-049から始まる通し番号を付している。図、図版では、WL、Wの表現は省略した。なお、木製品のうち、木簡と墨書ある木製品については、年報19第3分冊にまとめて掲載している。木分冊に掲載した木製品の集計表（表1～3）にも、木簡・墨書ある木製品の点数は含まれていない。また、木製品の登録番号は、墨書ある木製品に継続して番号を付したため、W-049から始まっている。

② 漆塗製品・木製品の出土傾向

漆塗製品・木製品は、II期に属する2号造構からの出土量が圧倒的に多い。2号造構に隣接し、同じくII期に属する1号造構、24号土坑からも、多くの漆塗製品・木製品が出土しているが、2号造構はその量をはるかに超

えている。また、量だけでなく、さまざまな種類の漆塗製品・木製品がみられることも特徴である。2号遺構は、埋土の場所によっては、箸などの木製品がびっしりと詰まり、土壌よりも木製品の量の方が多いような状況もみられた。

2号遺構と、2号遺構の西側に接する24号土坑は、ほぼ同時にごみ穴として使用されていたと考えられる。2号遺構、24号土坑は、漆塗製品・木製品だけでなく、陶磁器や木簡なども多数出土している遺構である。これらの遺構からは、廃材のような加工木も出土しているが、何らかの製品となる木製品の出土量が多いことが注目される。

他の遺構では、Ⅱ期の4号土坑、15号土坑、18号土坑、28号土坑、29号土坑、27号溝、1号井戸、4号井戸、Ⅲ期の2号土坑、池状遺構新段階などからも、ややまとまった出土がみられる。

③漆塗製品

【椀・蓋】(図1～7、表6・7、図版1～9)

漆塗製品の椀とその蓋は、Ⅱ期の遺構からの出土が多く、1号遺構、2号遺構、4号土坑、18号土坑、24号土坑などからまとめて出土している。中でも2号遺構からは167点と、非常に多くの漆椀が出土している。他の時期では、Ⅰ期では14号土坑、30号土坑、12号溝から各1点ずつ、Ⅲ期では2号土坑から4点が出土しているのみである。

漆椀と蓋については、残存状態のよいものを中心に図化をおこなっている。また、残存状態がよくないものでも、特徴的な文様については、写真を提示するなど、可能な限り図化して提示している。漆塗製品の椀や蓋は、破片や漆膜のみのものも含めて、276点が出土した。そのうち、126点を図化している(WL-1～126)。全体として、埋土の圧力によって、器形が歪んでいるものが多い。そのため、器形の特徴や変化を捉えることが困難なものも少なくない。

文様では、外面には家紋のみられるものが多い(WL-10、11、43、45、48～56、58～60、62、65～68、70～74、79～81、87、90、95、98、101、103～105、108、109、111、112、114、116、120、123)。残存状況の悪いものでは不確定のものも含まれるが、家紋は漆椀の3ヶ所に配されており、漆椀に配される家紋の基本的な配置であろうと考えられる。家紋は、一見すると同じように見えるものがいくつか確認された。例えば、WL-52、59、71、72の三つ巴や、WL-49、66の芦、WL-50、56、98の花菱、WL-67、101、105、116の三つ巴、WL-54、70の龟甲と菱などである。これらは同じ家紋であるが、家紋の葉や花の形など、細部の表現に違いがみられる場合が多かった。

その他の文様では、菊花文(WL-42)、格子に桜花文(WL-57)、扇文(WL-63、64、91)、紅葉文(WL-69)などがみられる。家紋や文様があるものは、地色が黒色で、朱色、金色、銀色などで文様が描かれている場合が多いが、地色が茶や墨茶のもの(WL-117、120)などもみられる。

WL-7～9は、内面が黒色で、見込みに朱色の丸文が共通して描かれている。WL-9についてのみ、外面に朱色で2条の線の文様が描かれている。2条の線による文様は、WL-12にもみられるが、見込みに丸文ではなく、朱色の地に黒色の線であり、高台内には線が延びないことなど、様相は異なる。

高台内の鉢は、黒色の地色に、朱色や金色で鉢が書かれたものが多い(WL-2、3、10～12、14、16～21、23～26、28～32、43、45、79、82～85、93、96、97、99、105、109、119、124、125)。また、朱色の地色に、黒色で書かれた鉢などもみられるが、点数は比較的少ない(WL-13、22、27)。高台内には、鉢以外にも、WL-69、114のように文様が描かれる場合もある。WL-69では、高台内に、外面と同様の紅葉の文様が描かれている。

外面の地色が朱色であるものは、文様がないものに多い傾向がみられる。また、内外面とも朱色であっても、口唇部のみが黒色になるもの(WL-2、13、14、23、24、29～31、33)なども存在する。

椀や蓋の中には、底部に穿孔があるものが存在した（WL-44～47、64、115）。特にWL-44では、底部の穿孔に箸が刺さった状態で出土している。また、WL-46では口縁部に、WL-115では体部にも穿孔がみられる。

【その他の漆塗製品】（図8～17、表8、図版10～17）

その他の漆塗製品は、皿、曲物、桶の天板や底板、側板、箸状木製品、栓、へら状製品、杓子、しゃもじ、折敷、箱状製品など、様々な製品が出土している。また、何らかの部材に漆塗りが認められるものも多数出土している。

その他の漆塗製品は、2号遺構、24号土坑などのⅡ期の遺構からの出土が多く、様々な漆塗製品が出土している。Ⅱ期の遺構では、他にも1号遺構、15号土坑、18号土坑、28号土坑、27号溝、1号井戸などからも出土がみられるが、2号遺構、24号土坑に比べると量・種類ともに少ない。他の時期では、Ⅲ期の2号土坑から、いくつかの漆塗製品が出土している。I期、IV期の遺構では、その他の漆塗製品がまとめて出土している遺構はみられない。

その他の漆塗製品については、残存状況がよく、種類がわかるものを中心に図化している。箱状製品や部材などは、類似した形状のものが多く、残存状況がよいものすべてを図化することができないため、その中から代表的なものを選択して、図化している（WL-127～186）。

皿は、11点出土しており、そのうち4点を図化した（WL-127～130）。WL-127は、比較的大型の皿である。外面黒色、内面朱色の漆が塗られており、内面には海老の文様が描かれている。WL-128は盤片であるが、内外面ともに朱色で、菊花の文様が描かれている。WL-129は、内面の中心が朱色、その外側が黒色に塗り分けられている。

曲物は、9点を図化した（WL-132～140）。WL-132・133は、曲物の天板もしくは底板で、内外面ともに黒色で、一面には朱色で「□部や」あるいは「□部屋」の文字がみられる。WL-133については、もう一面にも文字がみられるが、不明確であった。WL-136も同様に、内外面ともに黒色で、両面に朱色で文字が書かれているが、文字は不明確である。他の曲物では、天板、底板、側板のみが残存する状態であるが、いずれも内外面ともに黒色の漆が塗られている。WL-135は、内面の下部0.5cm程度の部分は漆が塗られておらず、底板が取まる部分と考えられる。

WL-141・142は、円板状木製品である。内外面に黒漆が塗られている。

桶は、天板4点を図化した（WL-143～146）。WL-143、145は、内外面ともに黒色である。WL-145では、天板の側面にも、わずかに漆が塗られていた痕跡が認められる。WL-144は、外面が朱色、内面は黒色である。WL-146は、外面にのみ黒色の漆が塗られている。WL-143～145は、漆が塗られていない箇所が線状に認められ、取手などの部品が付属していた部分と考えられる。図化していないが、桶の側板についても漆塗りのものが6点出土している。いずれも、側板の内外面ともに黒色である。外面の蓋の位置には、漆が塗られていない。

WL-147・148は、へら状製品である。WL-147は、漆が塗られた後でへら状に削られた痕跡が観察されるところから、何らかの漆塗製品を再加工して作られた可能性が考えられる。WL-149は杓子で、外面に黒色の漆が塗られているが、杓子の柄が付く部分には漆がみられない。WL-150は栓である。側面の一部に黒漆が残存している。WL-151はしゃもじで、内面朱色、外面黒色である。

折敷は14点を図化した（WL-152～165）。破損し、一部品が残るだけのものが多く、全体の形状がわかるものはなかった。側板や脚などの他の部品と組み合うと考えられる箇所には、漆が塗られておらず、木釘や釘穴などが観察される。WL-155、161は内面が朱色、外面が黒色である。WL-157は内外面ともに朱色である。これら以外は、黒色の漆が塗られている。WL-152は、漆が削られたような痕跡が観察され、漆塗りの折敷を再加工したものと考えられる。WL-158は、外面に無数の傷が観察される。

箱状製品は、5点を図化した（WL-166～170）。WL-166は、部材が組み合って、箱形の形状を示している。

他は箱状製品の一部である。WL-166は外面のみ黒色である。それ以外のものは、内外面ともに黒色であるが、他の部品と組み合つて考えられる箇所には漆はみられない。

WL-171～180は、何らかの部材に漆塗りが認められるものである。WL-173は、極の天板や蓋の摘み部分と推測されるが、詳細は不明である。

④木製品・竹製品

【下駄】(図18～25、表9、図版18～23)

下駄は、270点出土しており、45点を国化した(W-49～94)。出土点数が多いため、残存状態がよいものを中心に、代表的な形状のものに加えて、台部や歯の形状に特徴があるもの、刻みや焼印が認められるものなどを選択して、国化している。Ⅱ期の2号遺構からの出土が圧倒的に多い。他では、同じくⅡ期の1号遺構、18号上坑、24号土坑、28号土坑、Ⅲ期の2号土坑からも比較的まとまつた出土がみられる。Ⅰ期、Ⅳ期の遺構からは出土していない。

下駄の分類は、次のようにおこなった。大きくは、一本作りで台部と歯を作り出した連歯下駄、別材の台と歯を組み合わせた差歛下駄、一本作りで歯を持たない無歯下駄の3つに分類した。連歯下駄は、前後の歯が独立するもの(W-49)と、台部から歯が必ずしも独立しないものの(W-77、87)がみられ、後者を削り下駄とした。差歛下駄は、台部にある枘穴に歯を差し込んで接続する露卯差歛下駄と、枘穴がなく、台部裏の溝に歯を接続する陰卯差歛下駄がみられる。

連歯下駄では、丸型連歯下駄(W-49、71、73～75、89)と、角型連歯下駄(W-55～70、83、85、88)がみられる。丸型連歯下駄は全体で28点、角型連歯下駄は79点出土しており、角型連歯下駄の方が多い。また、残存状態により、丸型・角型の判別ができるない連歯下駄が、他に16点確認される。歯が磨り減り、比較的低くなつたものが多く、歯の凸部がほとんどない場合もみられる。横縫孔が後歯の前になるもの(W-67、69、70、88)と、後になるもの(W-49、55～66、68、71、73、83、85)とが確認される。また、歯の部分に鉄釘が残存するものも、いくつか確認される(W-58～60、63、73)。W-61は、裏側に焼印が確認される。また、W-62、64～67は、表面に刻みによる目印のようなものが確認される。W-62は、後端部分を切断し、意図的に短くしたような痕跡がみられる。W-85は、前後の歯の間が丸みを持って作り出される形状をしている。W-89は、一部に社表が残存している。

また、W-72、76～79、87、94は、連歯下駄の中でも「削り下駄」と呼ばれるものである。前後の歯は必ずしも独立せず、台端部から続いた形状をするものである。丸型削り下駄(W-72、76、87)と、角型削り下駄(W-77～79、94)がみられる。丸型削り下駄は全体で3点、角型削り下駄は全体で8点出土している。歯の作り方には、様々な形状がみられる。W-76～79、94は、前後の台端部から連続して歯が作られている。さらに、W-94は、前の歯がV字状に削り出されている。W-87は、後方の歯は独立するが、前方の歯は台部と連続しており、台端部から斜めに削られるものである。W-77～79は、前方にある孔に木材が残存している。鼻縫孔はなく、この木材に指を挟んで膠かれたものと考えられる。削り下駄は、2号遺構からの出土が多いが、15号土坑(W-87)、2号上坑からも出土している。

W-51～54、84、86は露卯差歛下駄である。下駄の差歛が抜けた状態で出土する場合も多く、差歛部分のみの出土も多くみられる。差歛下駄では、台部と差歛部分が分離して出土した場合、同一個体を識別することが困難なことも多い。そのため、分離し、同一固体を識別できないものについては、それぞれを1点として集計している。露卯差歛下駄の台部分(差歛が残存するものを含む)は41点、差歛部分のみのものは74点出土している。なお、差歛部分の点数については、残存状態によっては、差歛か、連歯下駄の歯部分かの判断がつかないものもわずかにみられるが、この点数に含まれている。W-51、84、86は角型、W-52～54は丸型に分類される。台部の

歯が差し込まれる部分の形状は、四角の孔が1つみられるもの（W-51、52、54、84、86）と、四角の小孔が3つみられるもの（W-53）との違いが認められる。図化しなかったものも含めて、前者の1つ孔のものが多い傾向にある。Ⅱ期の遺構から出土した差歯下駄は、すべて露卯差歯下駄であった。Ⅲ期の池状遺構から出土したものについては、露卯差歯下駄である。

W-93は陰卯差歯下駄である。陰卯差歯下駄は、この1点のみの出土である。Ⅲ期の2号土坑から出土している。

W-50、80～82、90～92は無歯下駄である。W-50は無歯中切下駄である。無歯中切下駄は、全体でこの1点のみの出土である。表側には釘穴がみられる。側面には1条の溝が刻まれている。W-80～82は、台が一枚板で作られており、表面や裏面に鉄釘・釘穴が多数みられる。このような無歯下駄は、全体で10点出土している。Ⅱ期では1号遺構、2号遺構、21号土坑、Ⅲ期では2号土坑から出土している。W-90～92は、「草履下駄」と呼ばれる形状のもので、底面の形状は、前方と中央の左右に倒り込みをもつものである。W-92は、豊衣が残存している。この豊衣は非常に脆弱であったため、図化することができず、写真のみの提示とした。このような無歯下駄は全体で6点出土しており、いずれもⅢ期の2号土坑からの出土である。

下駄全体を通して、表側には、使用による指の跡と考えられる凹みがみられる場合が多い。また、底面には小石が付着しているものが多くみられる。多数出土している下駄のうち、形状や大きさなどが似ており、左右一揃いかと推測されるものもわずかにみられたが、確定できるものはなかった。

【曲物】（図25、表10、図版24）

曲物は、70点出土している。そのほとんどが、2号遺構からの出土である。曲物の側板は、破損している場合が多く、同一個体を判断することが難しいため、一部だけ残存しているものも1点として集計している。そのため、実際の個体数は、これより少なくなるものと考えられる。曲物は、残存状態のよい6点を図化した（W-95～100）。

W-95～99は、天板（底板）と側板ともに残存している。W-95は、四角の小孔が穿たれ、小孔の脇には樹皮製の紐が付属している。その対角線上にも同様の小孔と樹皮がみられる。またW-100（図版24-100）には、四角の小孔の他に、内部に樹皮製の紐によって付けられた「こけし」状の部品が確認される。これらは、曲物の中でも柄杓と考えられる。この四角の小孔からは、柄杓の柄が差し込まれたものと考えられる。柄の先端は、内部でW-100のような部品に接続される場合と、W-95のように内部の部品ではなく、対角線上の側板に貫通して、樹皮製の紐などで固定される場合がある（岩井宏實1994）。柄杓の柄と考えられるものは、後述の柄状木製品にまとめてある（W-219～227）。柄杓内部の部品についても、その他の木製品としてまとめている（W-276）。

【箸状木製品】（図26・27、表11、図版24・25）

箸状木製品は、直径が5～6mm程度の箸状の形態をしたものとまとめた。箸状木製品は、両端が残存するもの（完形）5416点、一端が欠損したもの14320点、両端が欠損したもの9213点が出土している。1号遺構、2号遺構、24号土坑からの出土が多いが、中でも2号遺構が圧倒的に多い。箸状木製品は、先端形状や断面形状の特徴を表わしている代表的なものを選択して、39点を図化した（W-101～139）。

箸状木製品は、先端の形状により、A～Fに分類される。Aは特に加工を加えず、切断面を残す形のものである（W-101）。Bは、先端を作り出すが、切断面を残すものである（W-119下端）。Cは、切断面を残さないほど先端を尖らせたものである（W-121下端）。Dは、先端をへら状に作り出すものである（W-127上端）。Eは、先端を片側だけ削って尖らせたものである（W-125、126下端）。Fは、これら以外で特殊な形状のものをまとめたものである（W-128上端）。表11に示した観察表では、両端の形状を組み合わせて、AAやACのように示している。

先端形状で圧倒的に多いのは、W-101～104のようなAAの形状である。一端が尖る形状は、削り出しの形状

によってB～Eに分類されるが、W-105やW-109は、その削り出す途中の状態のものと考えられる。また、W-127～129、W-134～136のように、両端の形状が異なるものもみられる。

箸状木製品の断面の形状では、円形のもの、略円形のもの、角状のものなどがみられる。断面が略円形で、面取りの痕跡が残るものが多い。中には、W-107、W-108のように、面取りの痕跡がなくなるほど丁寧に表面が調整されているものもみられるが、量はごく少ない。また、W-116のように、断面角状のものもみられるが、これも量的には少ない。

箸状木製品の中には、先端が焦げているものも比較的多く存在する。中には、先端形状がわからなくなるくらい焦げているものもみられる。これらについては、食事用の箸だけではなく、調理用具などとして使われた可能性も考えられる。また、先端が尖るものの中には、箸として使うには先端が尖りすぎているものもみられる(W-134)。これらについては、食事用の箸ではなく、例えば串として料理に使用したものなどの可能性も考えられる。

【桶類】(図28～30、表12、図版26～28)

桶類の側板は、破損すると側板がばらばらになるため、完形品でない限り個体数を把握することは困難である。そのため、今回の集計では個体数ではなく、接合するものであっても側板一枚ずつの数を集計した。天板と底板については、判断の困難なものも存在するため、天板もしくは底板として区別せずに集計している。天板もしくは底板が41点、側板は147点出土している。Ⅱ期の2号遺構からの出土が最も多い。同じくⅡ期の遺構では18号土坑、24号土坑、28号土坑から、Ⅲ期の遺構では2号土坑から、比較的多くの桶類が出土している。側板については、焼印が認められるものや、取手部分など特殊なものについて図化している。天板もしくは底板については、残存状況がよいもの、焼印のあるもの、孔を有するなどの特徴があるものを掲載した(W-140～154)。

天板あるいは底板では、数枚の板材を釘などでつなぎ合わせて作られているものが多くみられる。接合部には木釘、鉄釘が残存している場合や、釘穴がみられる場合などが確認される。数枚の板材を組み合わせた天板・底板は、比較的径の大きいものに多いようである。天板・底板は、完形品よりも、接合部で分離し、一部材という状態での出土が多い。径の小さいものでは、一枚板を円形に加工している場合もみられる。W-142、144、149は、栓をするための円形の孔がみられる。W-147では、孔に栓が残った状態で出土している。W-146は、底板と各側板が分離した状態で出土している。底板、側板のいずれも2号遺構埋土2b層から出土しており、側板や底板の形状や、縫や内面の付着物の痕跡が類似している点などからも、同一個体であろうと考えられる。W-150は、桶型設置構造に、ほぼ完形の状態で埋設されていたものである。

側板では、「富」あるいは「冨」の文字の焼印が付けられたものがみられる(W-151・152)。この2点以外に、同様に「富」、「冨」の焼印がみられる側板は3点確認されている。いずれも2号土坑からの出土である。これらは、焼印の文字や蓋の痕跡が組み合うものではなく、同一個体ではなく、いずれも別々の桶ではないかと考えられる。W-153は、側板の上側に孔がみられ、栓の持ち手部分になるのではないかと推測される。W-154は、上端が波状の形状をしており、被熱の痕跡が認められる。

【栓】(図31、表13、図版29)

栓は、46点出土しており、そのうち代表的なものを選択して、17点を図化した(W-155～171)。ほとんどがⅡ期の2号遺構からの出土である。

栓は、様々な形状がみられた。最も多いのは、W-155～160、162・163のように、下端がやや細くなる円錐台のものである。栓の長さや太さなどは様々である。W-156のように比較的短いもの、W-158のように細めのもの、W-163のように上端と下端の径にほとんど差がないものもみられる。W-160は、上方は断面が四角形であるが、下方は略円形に削られている。

W-167～169、171は、逆L字状の形状をしている。長さや太さなどは一様ではないが、このような栓は計6点

出土している。

その他の栓では、それぞれ1、2点程度であるが、多様な形状がみられる。W-161は、差し込む部分が一段細くなる形状である。W-164は、断面が四角形の形状を示し、上端より下端が細くなるように削られている。W-165は、厚みのある「鍵」のような形状をしている。W-166、170は、芽状の形状である。

【円板状木製品】(図31~33、表14、図版29・30)

平面が円形を呈する木製品で、小型のものや、植類や曲物の天板・底板と断定できないものを、円板状木製品としてまとめる。そのため、円板状木製品には、様々な製品が含まれていると思われる。比較的大きいものでは、曲物、植類などの天板や底板の可能性のあるものが含まれている。小さいものでは、提灯の上下両端の板などが含まれていると考えられる。合計157点出土しており、特徴的なものを中心に、19点を図化した(W-172~190)。

円板状木製品は、Ⅱ期の2号遺構から92点と最も多く出土している。また、27号溝からも36点と、比較的多くが出土している。他では、Ⅱ期の1号遺構、4号土坑、15号土坑、24号土坑、Ⅲ期の2号土坑などからも、数点ずつの出土がみられる。

大きさは様々で、径3cm程度のものから、径25cm程度のものまでみられる。

円板状木製品では、中央に孔が確認される場合が多い。W-173~175、177~179、186・187には、中央に小孔がみられる。また、W-173・174、177、187、189には紐状の樹皮が通されている。この紐状の樹皮は、W-189のように円板の中心にある場合と、W-173・174、177、187のように中心から外れている場合とがみられる。

鉄釘や木釘が残存するものもいくつか確認された。W-176は、鉄釘が刺さった状態で残存している。W-180は側面に木釘が残存しており、W-181、185は側面に木釘と釘穴が残存している。W-183には鉄釘と釘穴があり、片面には木材が接合していたと考えられる痕跡がみられる。

円板の表面には、線刻が観察されるものがみられる。W-176は片面には1条の線刻が確認される。W-187も片面に刻みがみられる。W-179は、片面に、中心と同じくする四角形が5条重なって刻まれている。また、W-186は、側面の円周上に溝状の刻みがある。

その他、特徴的なものとしては、W-172は円形の中央部に焼印が認められる。W-175は、片面に無数の傷がみられる。W-190は、側面に取り加工のような痕跡がみられる。

【楔】(図33、表16、図版30)

楔は37点出土している。そのうち、代表的な形状のものを選択し、10点を図化した(W-191~200)。2号遺構、15号土坑、24号土坑、27号溝から出土しているのみである。2号遺構からの出土が最も多く、24号土坑からも比較的多く出土している。他は数点ずつの出土である。

楔は、様々な大きさのものが出土している。小さいものでは、長さ4.6cm(W-198)、大きいものでは長さ20.5cmのもの(W-199)が確認される。また、W-193、197のように、幅が広く薄手のものなどもみられる。楔は、農耕具や建具など、様々なものの固定に使用されていたと考えられ、固定するものの違いによって多様な大きさがみられるものと推測される。

【へら状木製品】(図34~36、表15、図版31・32)

へら状木製品としたものは、一端をへら状に作り出した木製品をまとめている。全体で90点出土している。そのうち、残存状態がよく、代表的な形状のものを中心に、18点を図化した(W-201~218)。Ⅱ期の2号遺構と24号土坑からの出土が大半である。

へら状木製品は、大まかな形態の違いによってA~Cの3種類に分類される。Aは、厚さ0.2~0.4cm程度の板材の一端を削ってへら状に加工したものである(W-201~206、216・217)。もう一方の持ち手側にあたる端は、持ちやすい程度にやや細く加工される場合が多い。また、持ち手側に孔が穿たれる場合もみられる(W-206、217)。

Bは、持ち手部分が柄状に伸び、全体的に細長い形態をしたものである（W-207～213・215）。へら部分が、片側に張り出するもの（W-207～210、212、215）が多いが、W-211のようにへら部分が下端全体のものもみられる。へら部分の張り出しは、個々によって違いがみられ、W-207、212のように丸みを帯びるもの、W-208、209のように角が付くもの、W-215のように直線的に伸びるものなどがある。W-210のように、ナイフ状の形態のものもみられる。

Cは、おたま状の形態のものである（W-214、218）。おたま部分は削り抜いて作られている。そのため、埋土の圧力などによって破損している場合が多く、図化できるものは少なかった。W-214のようにおたまに近い形態のものと、へらとの中间的な形態のものとがみられる。W-218のように、大型のものもみられる。

【柄状木製品】（図36・37、表17、図版33）

柄状の木製品をまとめている。62点出土しており、そのうち大きさや断面形状が代表的なものを中心に、9点を図化した（W-219～227）。2号遺構からの出土が中心である。

柄状木製品は、形態によりA～Fの6種類に分類される。A類は、柄の一端が細くなり、断面の形状が長方形のもののうち、比較的大きめのものである（W-219・220、226）。幅2.5～3.0cm程度、厚さ1.0～1.5cm程度で、長さは40～55cm程度のものが多いが、60cmを超えるものも出土している。細くなる側には釘穴がみられる。釘穴は貫通している場合と貫通していない場合があり、木釘が残存しているものもみられた。全体のうち、21点がA類であり、6種類の分類のうち最も多い形態である。

B類は、一端が細くなる形態はAと同じであるが、全体的にAより小さいものである（W-221・222）。大きさは、幅1.0～2.0cm程度、厚さ0.6～1.2cm程度、長さ25～35cm程度である。大きさ以外の、釘穴などの特徴はA類と同じである。17点がB類である。

C類は、一端が細くなり、断面形状が丸みを帯びるもので、比較的大きめのものである（W-227）。大きさは、幅3cm程度、厚さ2.0～3.0cm程度と、Aに近い。A、Bと同じように、釘穴が確認される。C類は6点確認された。

D類は、断面形状が丸みを帯びるものうち、比較的小さいものである（W-224・225）。幅、厚さは1cm程度、もしくは1cm以下である。D類としたもののうち、釘穴が確認されるものはなかったが、破損しているものも多いため断定することは難しい。D類は、13点みられた。

E類は、一端が細くなり、断面形状が正方形に近いものである。この形態のものは、あまり大型のものはみられない。幅、厚さは0.9～1.3cm程度である。釘穴はみられない。F類は、2点確認された。

【F類】

F類は、断面形状が長方形であるが、一端が細くならないものである（W-223）。F類は、3点みられる。A、B、C類の形態の柄は、柄杓の柄になるものと考えられる。前述のように、曲物の中には、側板に四角の孔がみられるものがあり（図25～95、図版24～95、100）、この孔から柄が差し込まれるものと考えられる。柄は、柄杓の内側で木釘を打って固定される。柄に残る釘穴や木釘は、この痕跡であると推測される。差し込まれた柄の先端は、そのまま対角線上に側板を貫通して、外側で樹皮製の紐によって固定される場合と、柄杓の内側で、W-100にみられるような部品と接続して固定される場合とがみられる（岩井宏實1994）。用途や柄杓の大きさなどにより、柄にもA～Cのような大きさの違いがみられるのではないかと推測される。D、E、Fは、釘穴や木釘の痕跡がないことから、柄杓の柄になるものかは不明である。他の様々な製品の柄である可能性も考えられる。

【その他の木製品】（図38～48、表19・20、図版34～42）

今回の調査では、上記以外にも様々な種類の木製品が出土している（W-228～305）。それらをまとめて、その他の木製品として、その特徴を述べていく。形状から、何の木製品であるかが推測されるものを中心図化したが、中には完形品でもどういう用途の木製品かわからないものもあった。それらは不明木製品として、図化している。

その他の木製品は、II期の2号遺構から最も多く出土している。2号遺構は、量だけでなく、木製品の種類も様々なものがみられた。形状から何であるかが判明するものだけでなく、部材、加工木、不明木製品なども多数出土している。その他の遺構では、II期の1号遺構、15号土坑、24号土坑、III期の2号土坑からも、様々な木製品が出土しているが、2号遺構に比べると、量・種類ともに多くはない。

W-228~230は鍼である。W-228は、鍼台部分のみの出土である。W-229は、鍼柄と鍼台が一体で作られている。W-230は、鍼柄と鍼台部分からなり、楔などで柄を鍼台に固定して使用するものと考えられる。柄は形状から、図の下方部分が鍼台に固定されていたのではないかと推測される。いずれも、鉄製の鍼先が付属するものと考えられるが、鍼先は出土していない。

W-231~234は、刷物である。大小さまざまな大きさのものがみられるが、木を削り取って作られた木製容器を示している。W-231、234は、大型の槽である。W-232は、形状から、捏ね鉢などの用途が推測される。

W-236~238は、釣瓶桶と考えられる。W-236、237は、角状の釣瓶桶に、W-238は釣瓶桶の持ち手になるものと考えられる。

W-239・240は、形状からみて、扉の取手などが推測されるが、詳細な用途は不明である。同様の形状のものが、合計8点出土している。上下の端部には、鉄釘が残存している。W-239では、別の木材が鉄釘で留められた状態で残存している。

W-241~245は、駒形の木製品である。W-241は馬の立像である。尾には金属が埋め込まれている。W-242・244は馬の上半身部分を模っている。下部は、他に差し込めるような形状になっている。W-243は馬の下半身部分のみで、上半身は欠損している。W-245は、馬の上半身部分のみで、下半身は欠損している。W-241・242、244・245は、たてがみ部分に孔がみられる。この孔は、何らかのものを差し込んで、たてがみを表現したものと考えられるが、残存していない。W-241、243、245では、背にあたる部分に木材が差し込まれており、鞍を表現していることが観察される。また、W-246は、水鳥を模した木製品とみられる。

W-247~249は、コマ状の木製品である。同様の形状のものが合計6点出土している。W-250はミニチュアの連歯下駄である。鼻緒部分には穿孔がみられる。W-251、252は竹とんぼである。竹とんぼは、同様のものが合計10点出土している。W-253は、羽子板である。持ち手部分は欠損している。

W-254、255は耳かきである。箸状木製品を再加工して作ったような形状をしている。W-256は扇子の裏部分である。扇子は8点出土しているが、W-256以外は要が破損し、骨がばらばらになっている。W-257は团扇である。团扇は、1点のみの出土である。W-258は物差である。目盛の刻みには黒の痕が観察される。物差は他に竹製のものが出土している（W-310）。W-259・260は櫛で、これら2点のみの出土である。いずれも白木の櫛で、装飾はみられない。

W-261~263は、刷毛である。先端に毛が装着されていたものと考えられるが、すでに欠損している。W-261・262は、毛を装着する部分が柄に対して垂直である。W-263は、毛を装着する部分が、柄に対して斜めになっている。W-264は錐と推測され、内部には金属が残存している。

W-265~268は、灯明台の一部である。W-265~267は、灯明皿などを置いて、灯火具として使用したものと推測される。W-265には煤のような付着物が、266には、炭化の痕跡が観察される。3点とも底面に釘穴がみられることから、下部に軸や台などの付属があるものと考えられる。また、W-268は、灯明台の底部と考えられる。中心には釘が残存しており、棒状の軸が接続するものと推測される。W-265~268は、様々な灯火具の中で、「切灯台」と呼ばれるものに形状が類似している（小林克2000）。

W-269は、砥石台である。沙留遺跡に類例がみられる（小林博範2003）。W-271・272は、串状製品としたものである。箸状木製品（W-101~139）とは、断面形状が異なる。全体で62点みられることから、串状製品として区別した。W-271・272のように、断面が長方形で、一端は串状に尖り、他端は斜めに加工されている場合

が多い。また、同様の断面形状で、一端は単状に尖り、他端はまっすぐなものや、両端とも尖らないものなどもみられる。

W-273は、折たたみ枕の一部と推測される。合計3点が出上している。同様の形状のものが2つ組み合って、携帯用に折りたためる構造になっていたものと推測される。W-275は、傘の手元ろくろ部分であると考えられる。類似したものは竹製品で出土している（図49-312）。

W-276・277は、柄杓の内部部品で、柄杓の曲物部分と柄を接続するための部品と考えられる。同様のものは合計8点出土しており、W-276の形状のものが多い。図版24-100のように、柄杓に付けられるものと考えられる。

W-282は、棟木を隠すために使われた懸魚と推測される。W-283は、形状から何らかの台座になるものと考えられる。中心には溝があり、その中には四角の枘穴があることから、上部に何らかの部材が組み合うものと考えられる。類似したものは、汐留遺跡において出土している（小林博範他2003）。

W-296は、不明木製品としたものであるが、汐留遺跡（小林博範他2003）において、同様のものが出土しており、糸巻きの可能性も考えられる。W-297は、陽物形木製品と考えられる。墨書きある木製品（年報19第3分冊 図101、図版43）に類似したものがみられるが、W-297には文字の痕跡は確認されなかった。W-299～304は、刻みによって文字や文様が表現されているものである。W-305は、焼け焦げた痕跡が観察され、焼印であろうと考えられる。片面には、反転した「寛永通寶」の文字が観察される。裏面にも、明確ではないが、古銭の輪郭と思われる焼印の痕がみられる。

【竹製品】（図49、表18、図版42）

竹製品は、全体で11162点出土している。竹の性質上、横縦方向に割れやすいため、破損し、何であったかは不明のものが多い。また、破損した場合、同一個体を判断することは不可能なため、破片1つを1点として集計しており、不明のものの点数が多くなっている。不明の中には、竹製の柄なども多数含まれていると考えられる。Ⅱ期の1号遺構、2号遺構、15号土坑、18号土坑、24号土坑、Ⅲ期の2号土坑などで出土量が多い。そのうち、残存状態がよく、形状がわかるものを中心に、8点を図化した（W-310～317）。

W-310は物差である。1目盛が1寸を示している。W-312は、傘の手元ろくろ部分である。W-313・314は不明としたが、形状から、何らかの柄になる可能性が考えられる。W-315～317は、縄籠である。W-315・316は、竹ひごの状態が類似しているが、W-317はやや様子が異なる。

（2）金属製品（図50～56、表4・5、21～27、図版43～48）

金属製品は、古銭、煙管などの第1製品、釘、火箸などの鉄製品、弾丸などの鉛製品に分類して、集計している（表4、5）。全般的な出土状況では、2層と2号遺構からまとまった出土がみられる。2層では、和釘を中心とした鉄製品の出土が多い。2号遺構では、古銭や和釘の出土が多いことに加えて、様々な種類の金属製品が出土している。

図化にあたっては、古銭については、全点を登録し、その特徴を観察表にまとめ、可能な限り図化している。その他の金属製品については、残存状況のよいものや特徴的な形状のものを中心に登録・図化し、観察表にまとめている。

【古銭】（図50～52、表21・22、図版43～46）

古銭は、80点出土している（MC-1～80）。基本層では、2層から8点、3a層から1点が出土している。遺構では、Ⅱ期の2号遺構で33点と最も多く出土している。Ⅲ期では、他にも、1号遺構、15号土坑、24号土坑、5号溝、9号溝、22号溝から数点ずつの出土がみられる。他の時期では、Ⅰ期の13号土坑、12号溝、28号溝、Ⅲ期の7号溝、池状遺構新段階、Ⅳ期の1号土坑からも1、2点ずつの出土がみられる。

古銭の種類では、寛永通寶が最も多く出土している（MC-1、6、8~11、13~24、27~48、50~58、60~65、68~75、78、79）。寛永通寶65点のうち、古寛永18点、新寛永38点（うち文銭5点）、不明9点の種類がみられる。また、寛永通寶以外にも、さまざまな種類の古銭が出上している。享保一分金（MC-5）、天保通寶（MC-2）、熙寧元寶（MC-67）、元豊通寶（MC-77）、元祐通寶（MC-76）、洪武通寶（MC-4、49）、永樂通寶（MC-7）、四文銭（MC-58）、1セントコイン（MC-80）、不明3点（MC-12、59、66）がみられた。寛永通寶や四文銭の鉄錢については、集計表、観察表において、鉄錢であることを表記している。寛永通寶と四文銭以外の種類は、主にⅠ期、Ⅱ期の遺構からの出上である。

最も出上の多い2号遺構では、新寛永が23点（うち文銭4点）、古寛永が8点と寛永通寶の数が多いが、永樂通寶も1点出土している。また、MC-26は不明瞭な文字があるため、観察表では渡米銭としているが、「■宋通寶」の文字が確認できることから、皇宋通寶の可能性が考えられる。13号土坑からは天聖元寶が、28号溝、15号土坑からは洪武通寶が出土している。1号遺構からは、永楽通寶1点のほかに、享保一分金も1点出土している。2号土坑からは熙寧元寶が出土している。また、1層・擾乱からは、1セントコインが1点発見された。これは、戦後、調査地点がアメリカ軍の駐留地であった頃のものではないかと推測される。

【煙管】（図53、表23・24、図版46）

煙管は、雁首20点、吸口33点の合計53点が出土している。そのうち、雁首7点、吸口11点を図化した（MO-1~18）。

Ⅱ期の2号遺構からは、雁首・吸口合わせて22点が出土しており、最も出土点数が多い。その他では、2層、2層下部、1号遺構、池状遺構、4号土坑、20号土坑、28号土坑、4号溝、11号溝から数点の出土が確認される。

煙管の形態分類は、年報6に従っておこなった。分類の模式図は、年報18に掲載しているので参照されたい。雁首の形状は、図化したもの、しなかったものを合わせて、ⅡB類が13点と多い。ⅡC類は、首部が一本の管で製作されており、肩の接合されない型式で、中でも、脂返しが上方に大きく湾曲し河骨形になるものである。2号遺構、16号土坑、池状遺構の雁首については、いずれもⅡB類である。

雁首の他の形状では、図化していないが、4号溝でⅠC類が1点、1層・擾乱でⅠB類、ⅡC類がそれぞれ1点確認されるのみと非常に少ない。ⅠC類は、首部に肩がつき、脂返しの部分が極端に短く屈曲がない型式である。ⅠB類は、首部に肩がつき、脂返しが下方へ大きく湾曲しない型式である。ⅡC類は、首部が一本の管で製作され、脂返しが上方へ湾曲しない型式である。

火皿の形状は、形状が判明するものは、すべて1a類であった。1a類は、火皿の深さが口径の半分以上で、火皿後方に小孔をもつものである。

今回出土した雁首では、全体形状がⅡB類、火皿形状が1a類のものが多く、長さに多少の違いはあるものの、全体として類似した形態のものが多い傾向にある。

吸口の形状では、図化したもの、しなかったものを合わせて、ⅡB類が26点と最も多い。ⅡB類は、一本の管から製作され、肩のない形状のものである。

吸口の他の形状は、ⅠB類が1号遺構で1点、ⅡA類が2号遺構で2点、20号土坑で1点みられる程度である。ⅠB類は、径の異なる二本の管から肩と吸口を個別に作り、肩の後方をすばめて緩やかに吸口を接合した型式である。ⅡA類は、一本の管から作り、形態上は肩と吸口が分離する型式である。

【その他の金属製品】（図54~56、表25~27、図版46~48）

古銭、煙管以外の金属製品を、その他の金属製品としてまとめて、その特質を述べていく。その他の金属製品には、銅製品、鉄製品、鉛製品が含まれている。

銅製品では、物差、火箸、鉄鑿坏、鉤、飾り金具、水滴、櫛、匙、鏡、雁首銭などが出土している。そのうち、21点を図化した（MO-19~39）。物差（MO-19）は、一方が留められており、くの字状に可動する。一日鑑は

一分で、十目盛で一寸を示している。櫛（MO-34）は、峰の部分が銅製で、歯部分は木製である。鉄漿壺（MO-23）は、線刻による文様がみられる。MO-29は、携帯用の筆と墨壺からなる矢立の蓋部分ではないかと考えられる。鉄漿壺、矢立の蓋、鉤（MO-25）、水滴（MO-31）、杓子（MO-35）、匙（MO-36）、不明鉄製品（MO-30）は、汐留遺跡（福田敏一他1997、小林博範他2003）に類例がみられる。

鉄製品では、和釘、錐、火箸、小柄、鎧などがみられる。そのうち、10点を図化した（MO-40～49）。鎧（MO-42）は、柄の部分は木製で、鉄製の鎧が接続している。火箸は2点出土している（MO-43、45）。MO-43は、持ち手側に捻りの加工がなされている。上下端は欠損している可能性があるが、明確ではなかった。MO-45は、上端が紐通し穴状の加工がされている。鎧製品でも火箸が1点出土しているが（MO-21）、いずれも細部の形状に違いがみられる。MO-48・49は、刀の鞘に刺した小柄ではないかと考えられる。刃部は鉄製で、柄部分は銅製とみられる。腐食により明確ではないが、いずれも柄部分には、彫金により魚子地や線刻などの文様がみられる。

鉛製品は、弾丸、鍾などが出土している。そのうち、3点を図化した（MO-50～52）。MO-52は、投網用の鍾かと推測される。同様のものは、武家屋敷地区第4地点の調査（年報13）や、汐留遺跡（小林博範他2000）においても出土している。MO-50、51は、不明である。

（3）石器・石製品（図57・58、表4・5、28、図版49・50。）

出土した石器・石製品のうち、20点を図示している（S-1～20）。近世の石器・石製品は、基本層では、2層、2層下部、3a層から、遺構では、Ⅱ期の2号遺構、4号土坑、27号溝、Ⅲ期の池状遺構から、やや多く出土している。しかし、特に出土が集中するような、遺構・層序は認められない。近世以前と考えられる石器も2点出土しており、それぞれ2層下部と2号遺構からの出土である。

S-1は、頁岩製の石歯である。S-2は、頁岩製の石匙であるが、一部に欠損がみられる。それぞれ、2層下部、2号遺構からの出土であるが、縄文時代の石器であろうと考えられる。

S-4～12は火打石である。S-10が水晶製である以外は、いずれもメノウ製である。S-4、6～8、12では、核部分に磨耗痕が明瞭に観察され、使用された痕跡が確認される。

S-13は粘板岩製の砥石である。

S-14～20は硯である。S-19以外は粘板岩製である。S-19は、灰白色の斑紋が入る凝灰質粘板岩製である。この石材は、紫雲石と呼ばれ、現在でも硯として利用されているものである。この石材を用いた硯は、仙台城跡二の丸第10地点、第17地点においても出土している（年報9、年報17）。S-14、16、17には墨汁の痕跡が残っている。S-18は、背面に「宝永七年大□□村三月十八日」の文字が刻まれている。宝永七年は1710年であるが、1層・攪乱からの出土であるため、詳細は不明である。

（4）その他の遺物（表4・5、29、図版50）

その他の遺物としては、ガラス製品のほか、材質不明の遺物が出土している。そのうち、ガラス製品2点と材質不明の遺物1点を写真図版で示している（OT-1、G-1・2）。G-1は、ガラス製で、何らかの容器の一部と考えられる。G-2は、ガラス製の箸や簪などの先端部分ではないかと推測されるが、残存部分が少ないとから詳細は不明である。OT-1は、材質不明の遺物である。極小さい正方形の形状をしており、半分は欠損している。欠損面には、穿孔された痕跡がみられる。

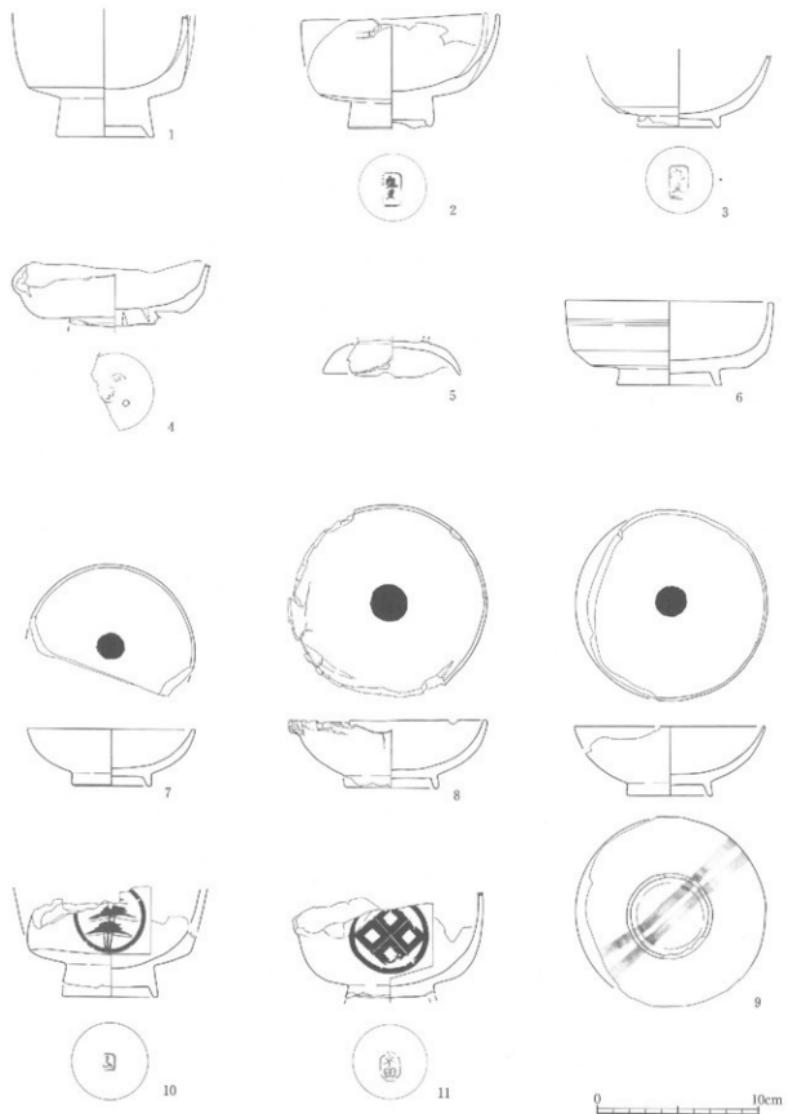


圖1 武家屋敷地区第7地点出土漆椀 (1)
Fig.1 Bowls with lacquer from BK7 (1)

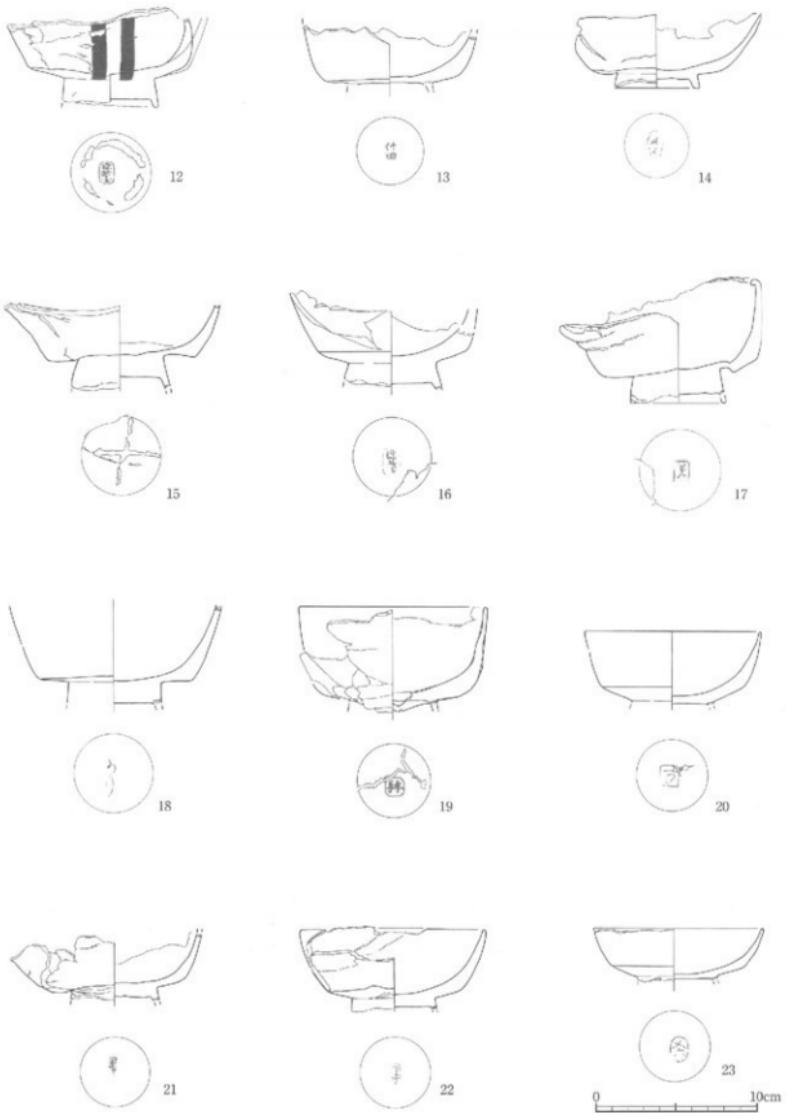


图2 武家屋敷地区第7地点出土漆碗 (2)
Fig.2 Bowls with lacquer from BK7 (2)

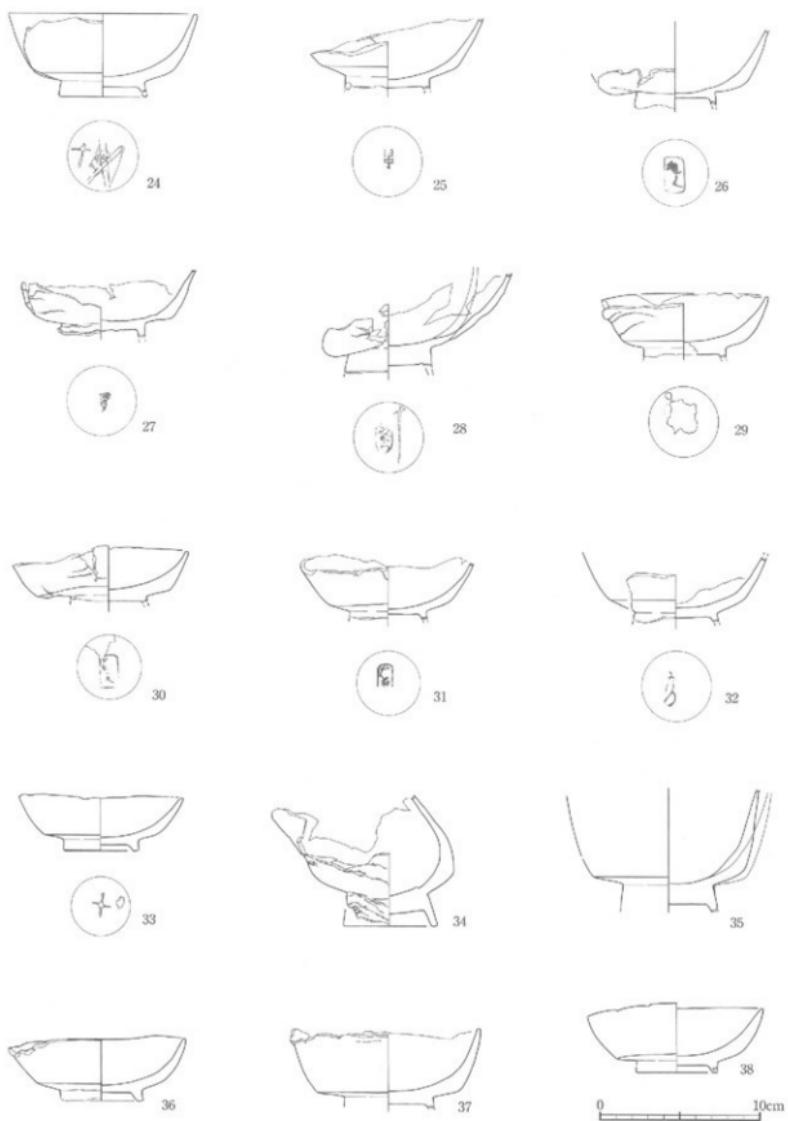


图3 武家屋敷地区第7地点出土漆碗 (3)
Fig.3 Bowls with lacquer from BK7 (3)

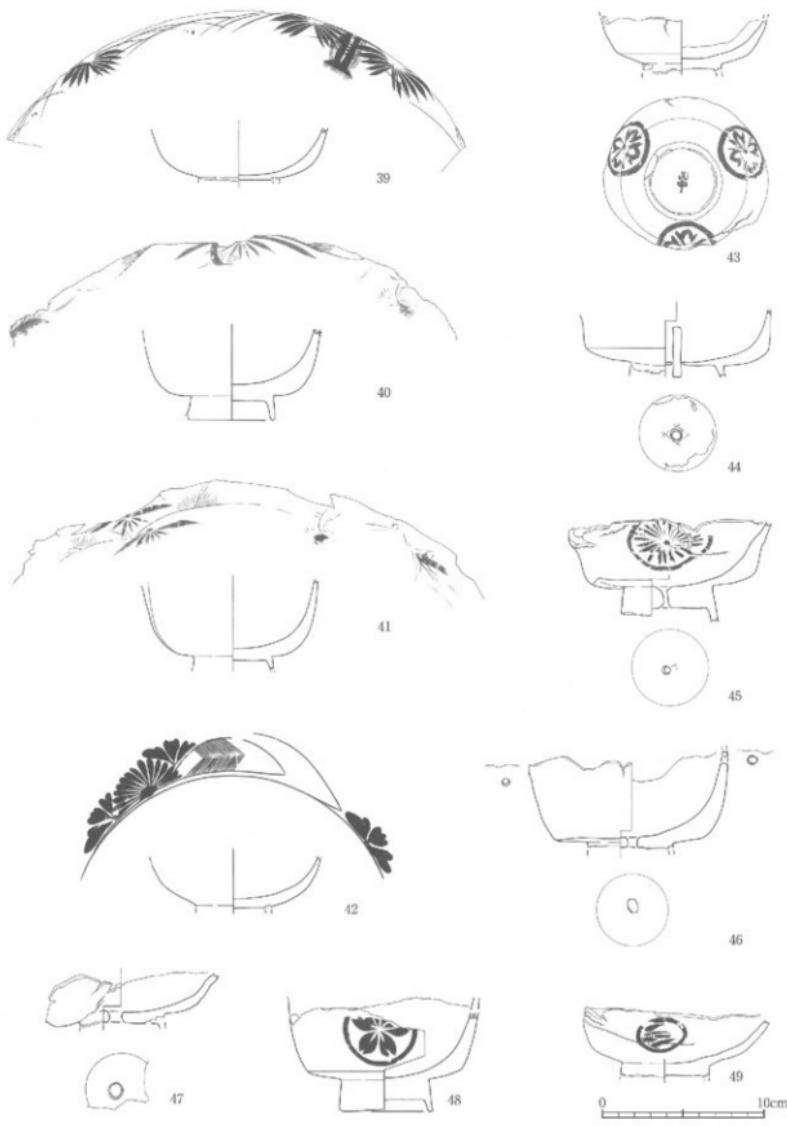


圖4 武家屋敷地区第7地点出土漆碗 (4)
Fig.4 Bowls with lacquer from BK7 (4)

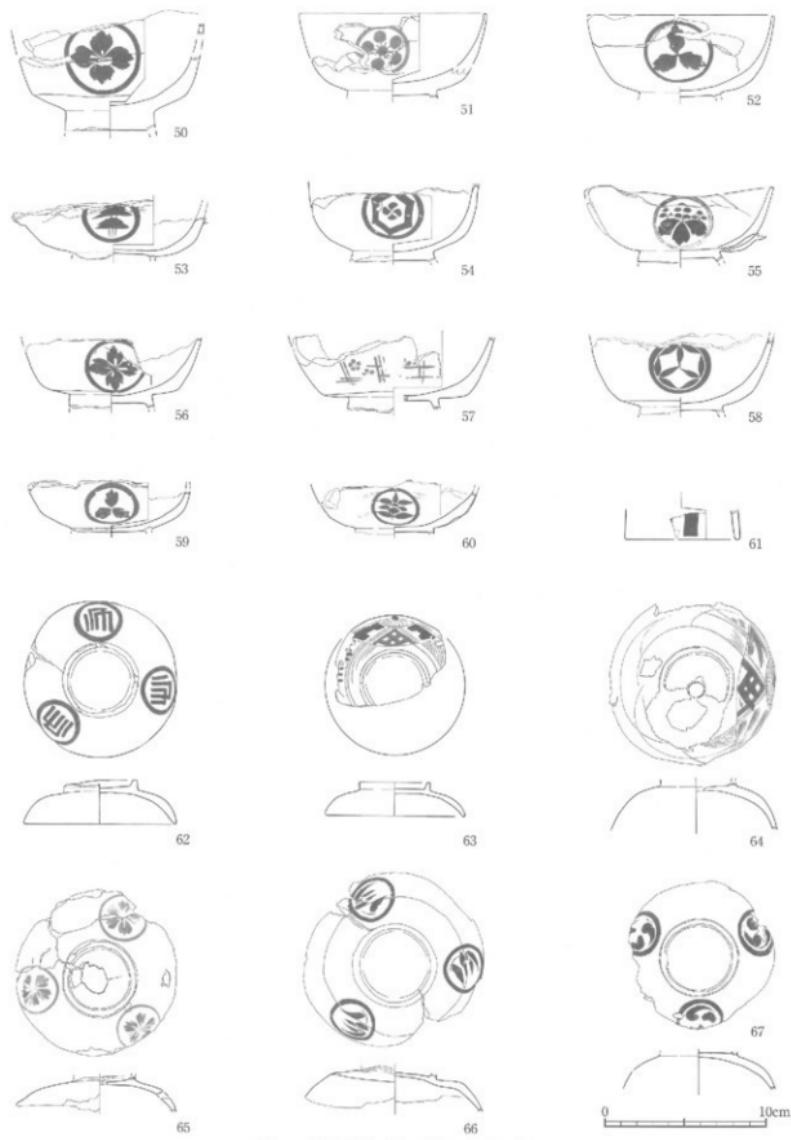


图 5 武家屋敷地区第 7 地点出土漆碗 (5)
Fig.5 Bowls with lacquer from BK7 (5)

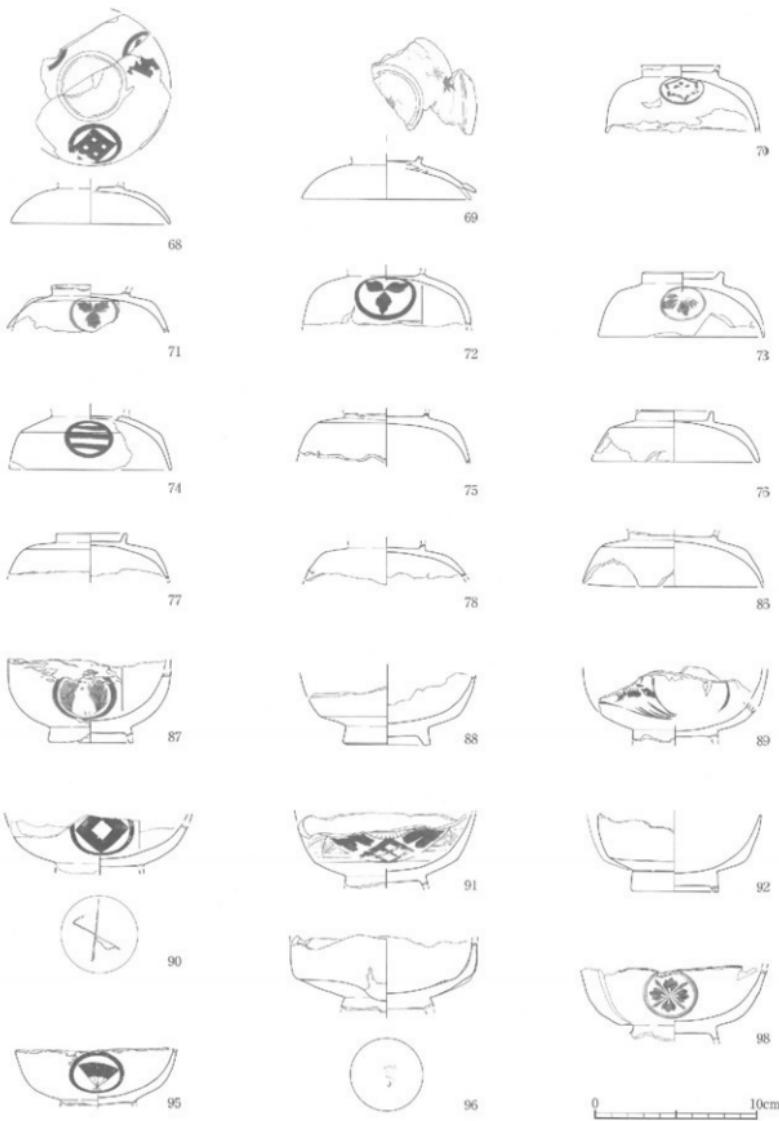


圖 6 武家屋敷地区第 7 地点出土漆碗 (6)
Fig.6 Bowls with lacquer from BK7 (6)

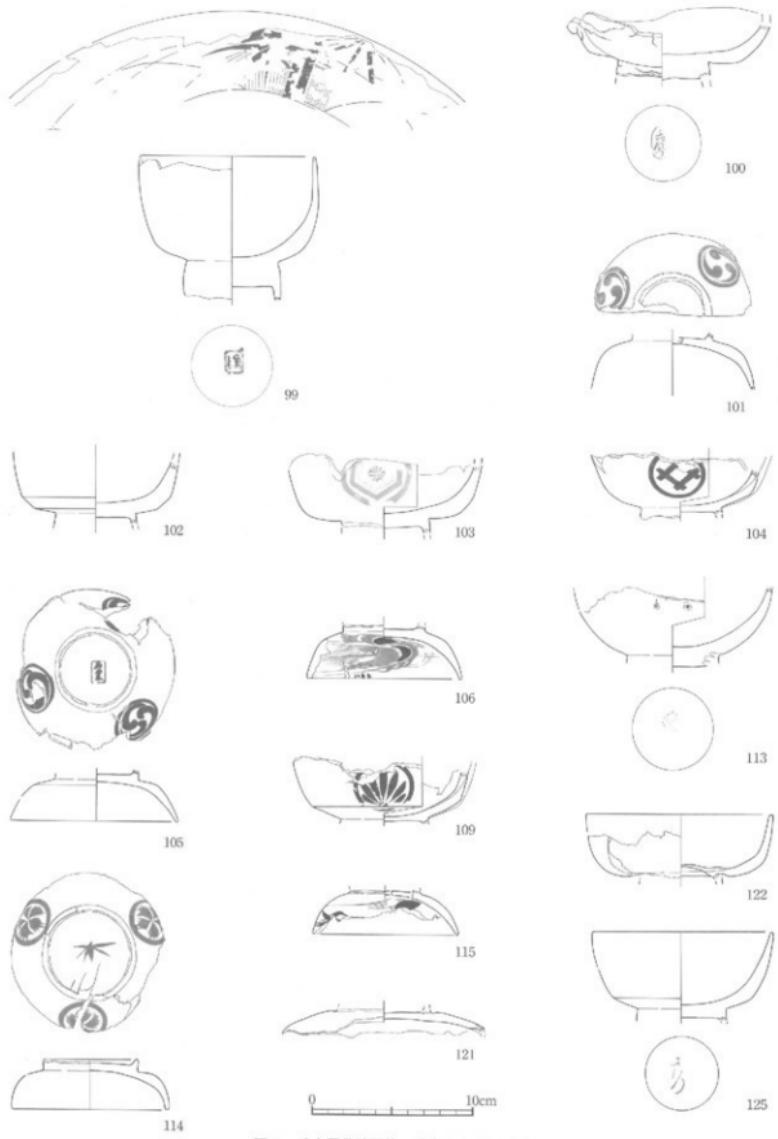


图7 武家屋敷地区第7地点出土漆椀 (7)
Fig.7 Bowls with lacquer from BK7 (7)

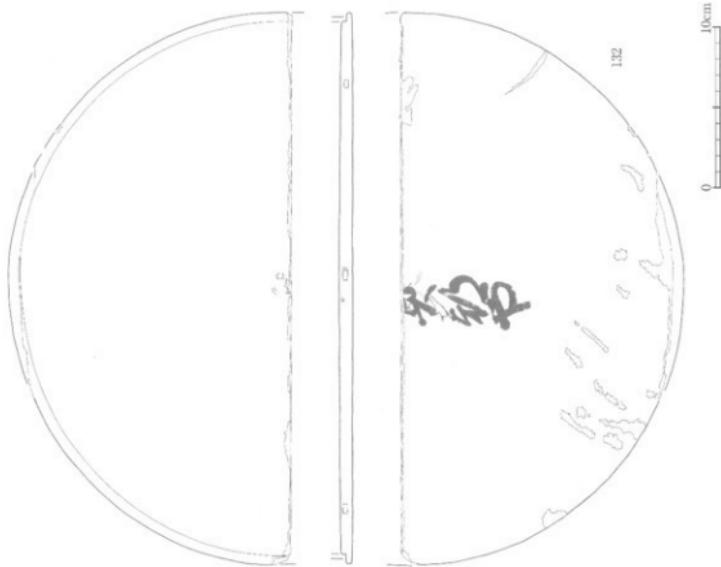
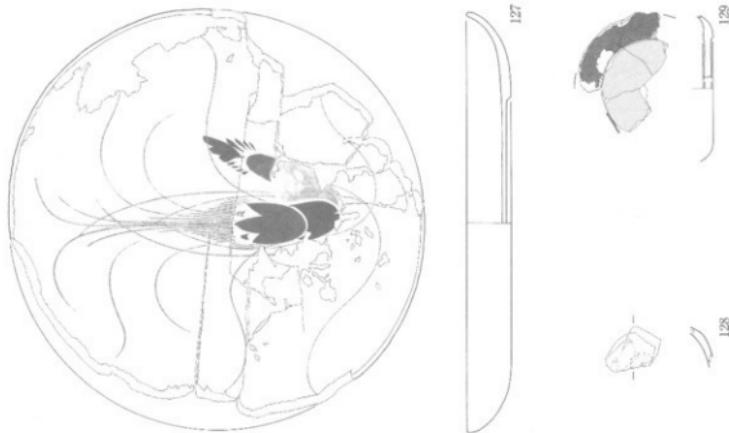


図8 武家屋敷地区第7地点出土その他の漆塗製品(1)
Fig.8 Various wooden implements with lacquer from BK7 (1)



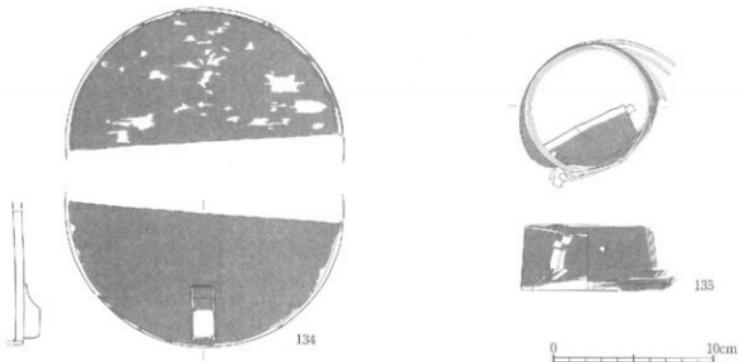
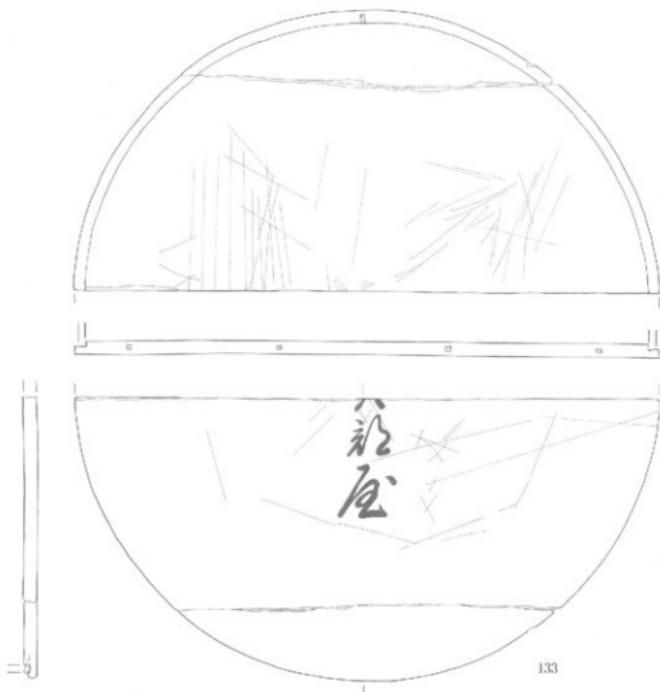
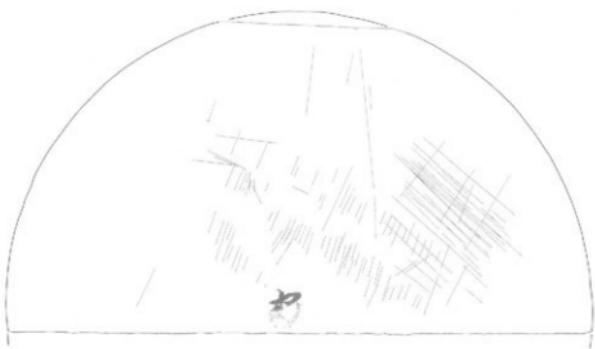


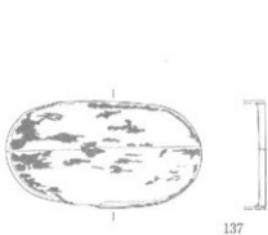
図9 武家屋敷地区第7地点出土その他の漆塗製品 (2)
Fig.9 Various wooden implements with lacquer from BK7 (2)



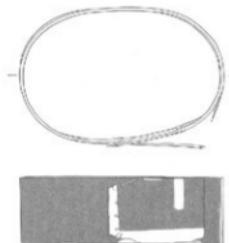
136



136



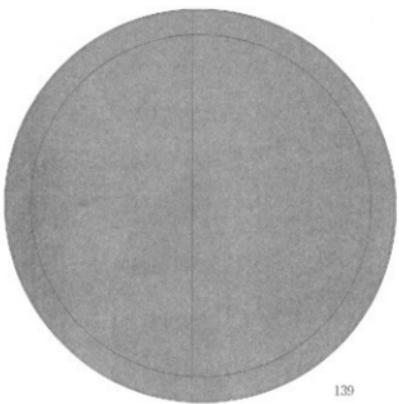
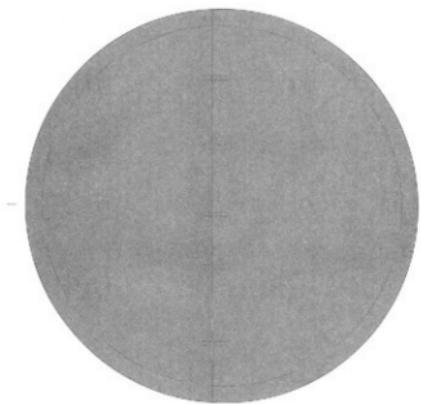
137



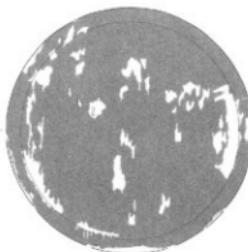
138

0 10cm

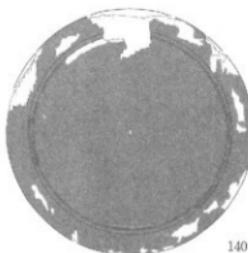
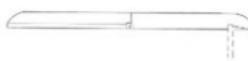
図10 武家屋敷地区第7地点出土その他の漆塗製品(3)
Fig.10 Various wooden implements with lacquer from BK7 (3)



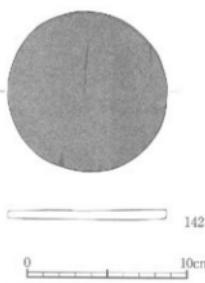
139



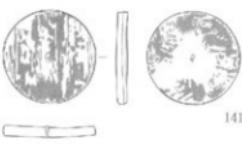
140



139

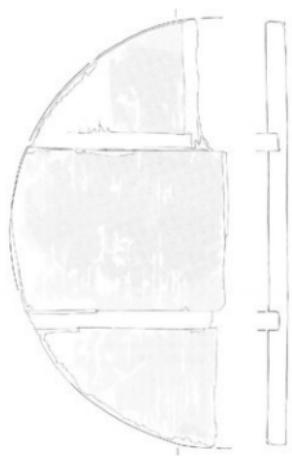
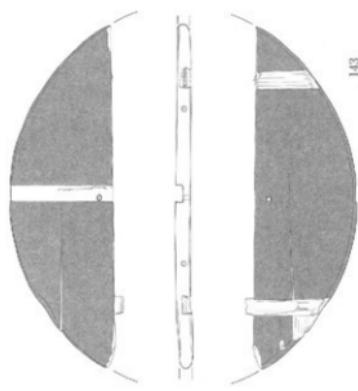


142



141

図11 武家屋敷地区第7地点出土その他の漆塗製品 (4)
Fig.11 various wooden implements with lacquer from BK7 (4)



143

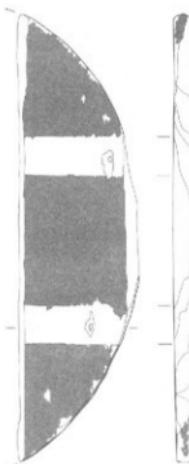


図12 義家駁動地区第7地点出土その他漆器製品(5)
Fig.12 Various wooden implements with lacquer from BI7 (5)

0 10cm

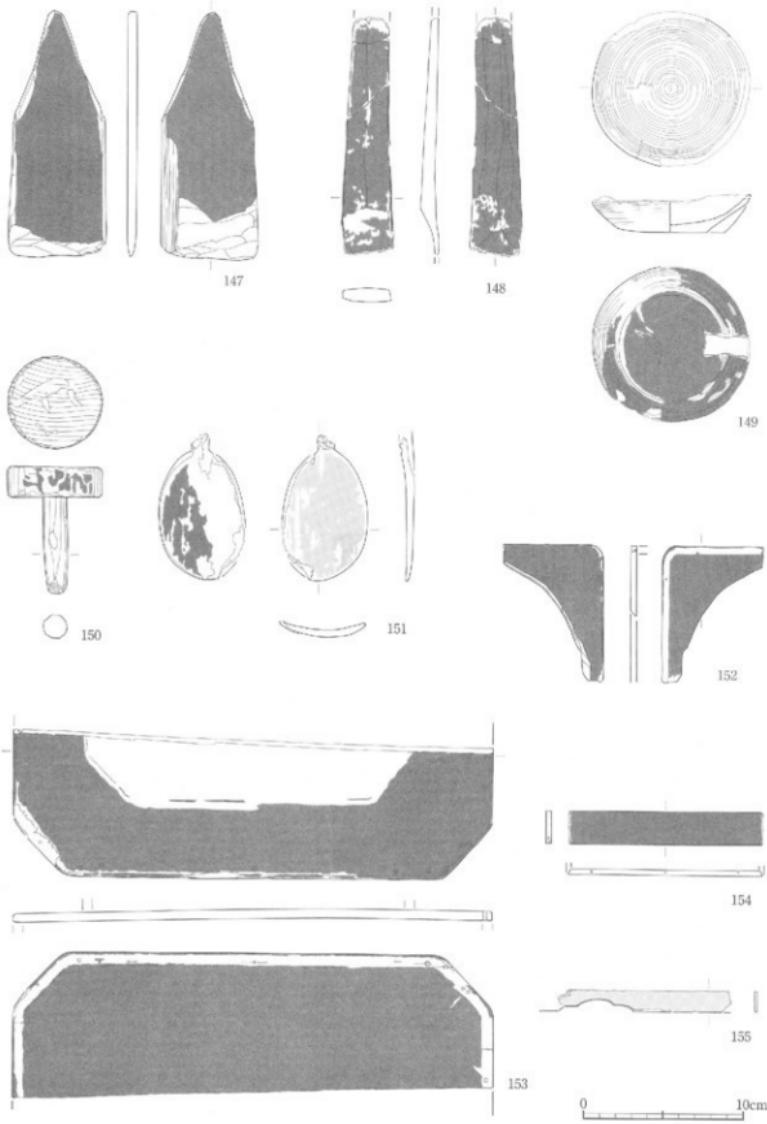
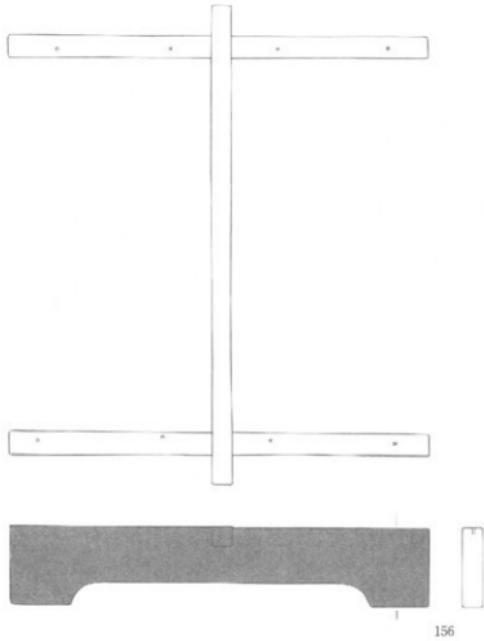
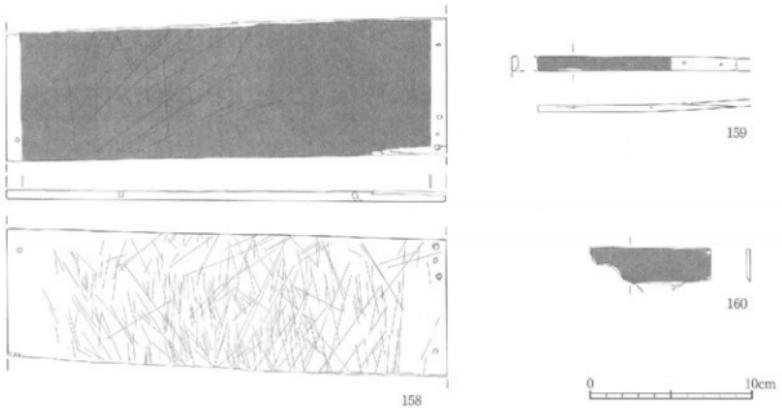


図13 武家屋敷地区第7地点出土その他の漆塗製品 (6)
Fig.13 Various wooden implements with lacquer from BK7 (6)



156

157



10cm

160

159

図14 武家屋敷地区第7地点出土その他の漆塗製品(7)
Fig.14 Various wooden implements with lacquer from BK7 (7)

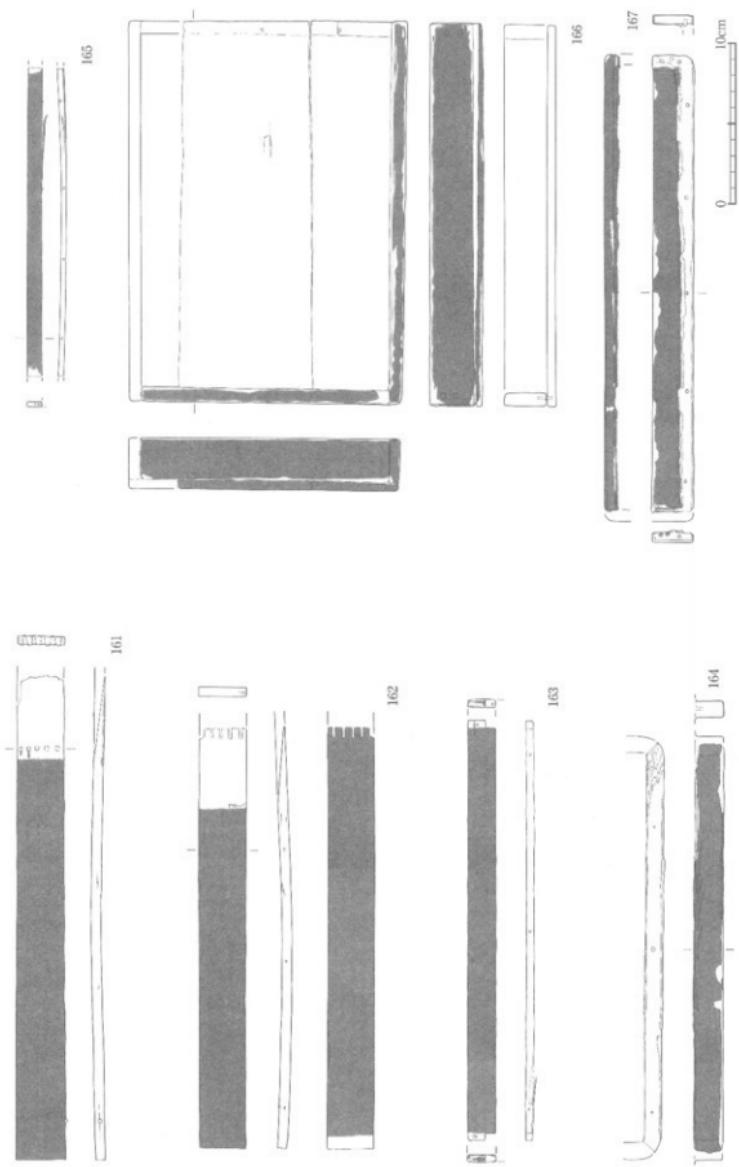
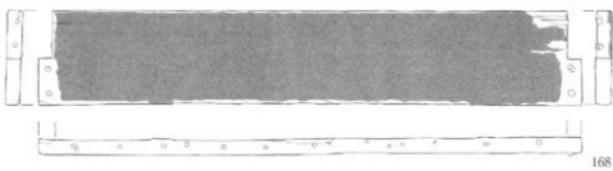


図15 武家屋敷地区第7地点出土その他の漆塗製品 (8)



168

171

169

170

172

173

174

175

0 10cm

図16 武家屋敷地区第7地点出土その他の漆塗製品(9)
Fig.16 Various wooden implements with lacquer from BK7 (9)

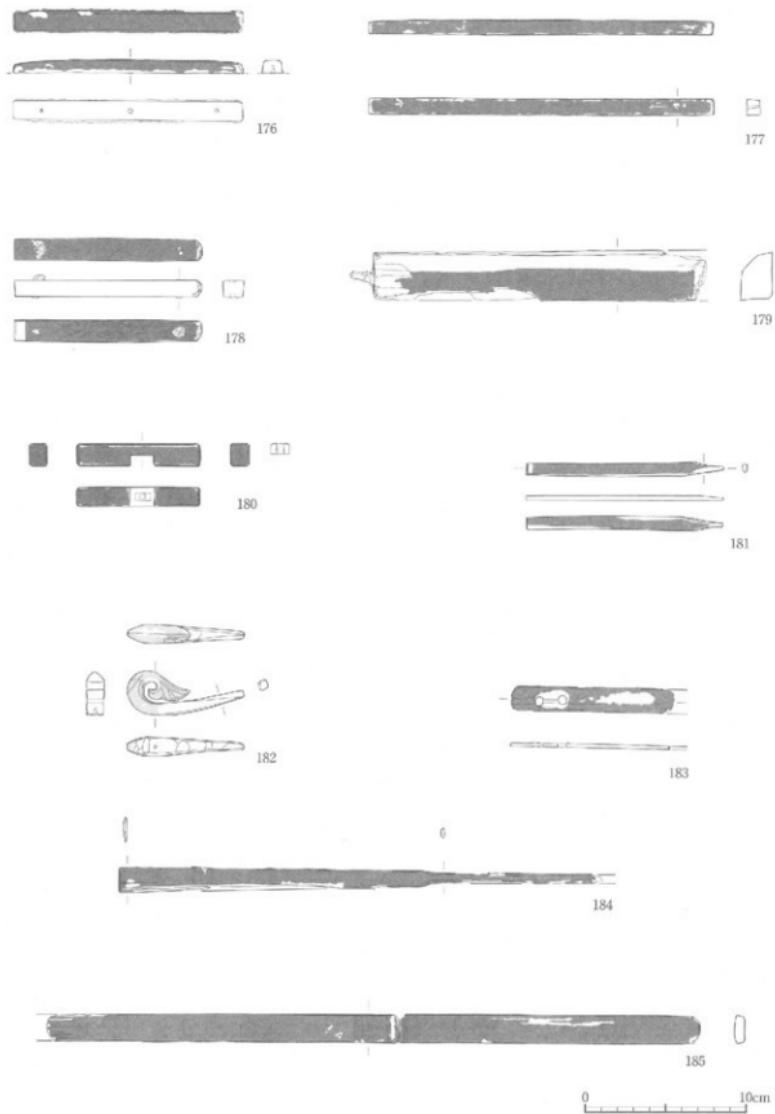
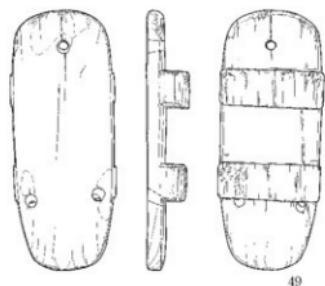
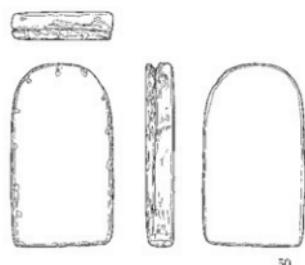


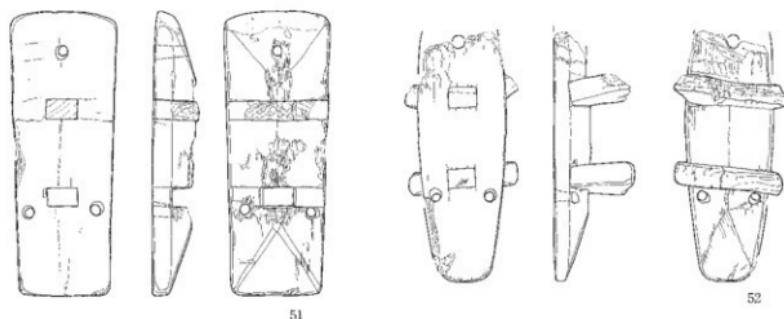
図17 武家屋敷地区第7地点出土その他の漆塗製品(10)
Fig.17 Various wooden implements with lacquer from BK7 (10)



49

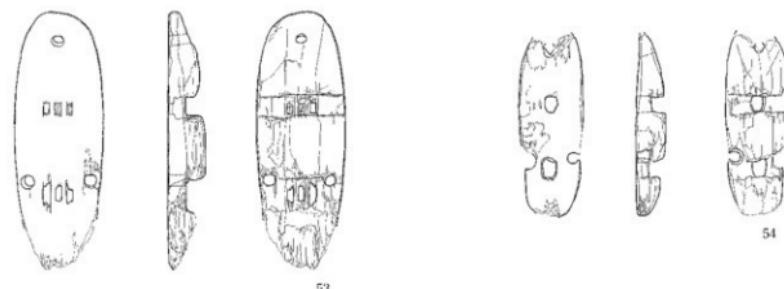


50



51

52



53

54

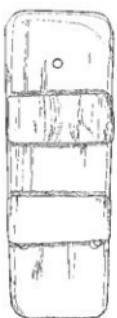
0 10cm

图18 武家屋敷地区第7地点出土下肢 (1)
Fig.18 Clogs from BK7 (1)



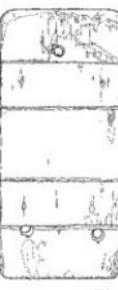
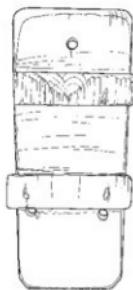
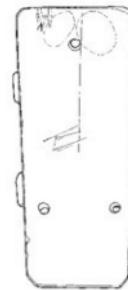
56

35



58

57



60

59

0 10cm

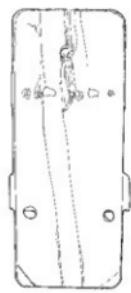
圖19 武家屋敷地区第7地点出土下駄 (2)
Fig.19 Clogs from BK7 (2)



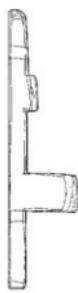
61



62



63



64



65



6



图20 武家屋敷地区第7地点出土下駄 (3)
Fig.20 Clogs from BK7 (3)



67



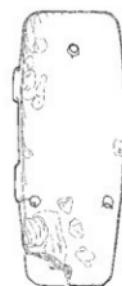
68



69



70



71



72

0 10cm

图21 武家屋敷地区第7地点出土下駁 (4)
Fig.21 Clogs from BK7 (4)



73



74



75



76



77



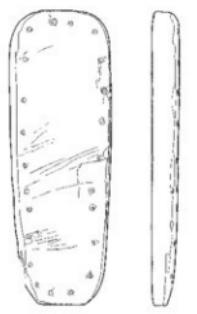
78



79

0 10cm

图22 武家屋敷地区第7地点出土下肢 (5)
 Fig.22 Clogs from BK7 (5)



80



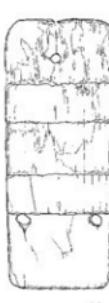
81



82



83



84



85

0 10cm

圖23 武家屋敷地区第7地点出土下肢 (6)
Fig.23 Clogs from BK7 (6)

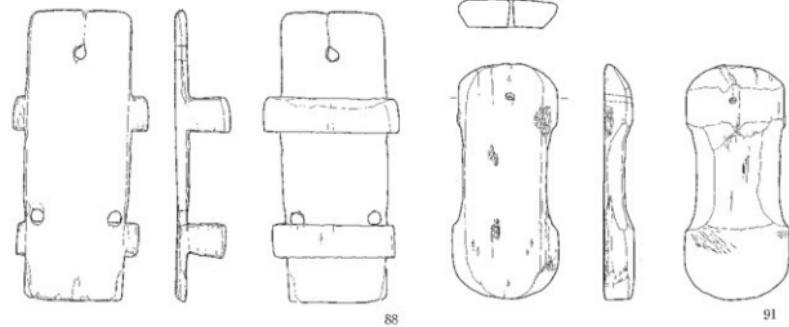
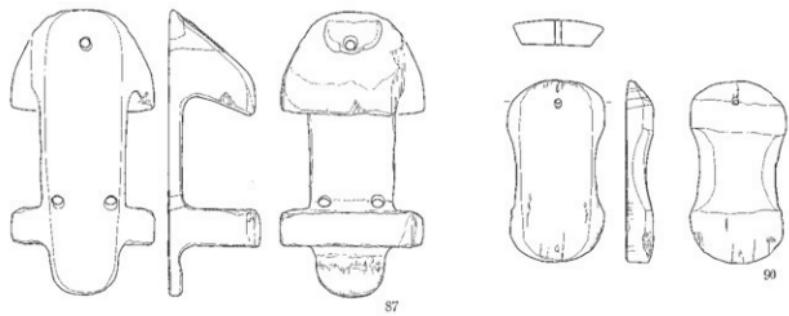
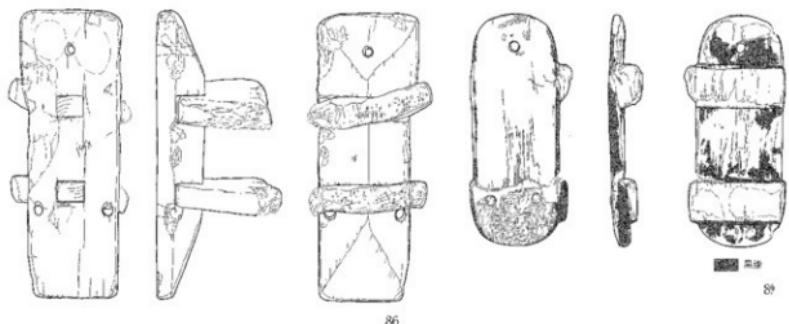


图24 武家庄地区第7地点出土下肢 (7)
Fig.24 Clogs from BK7 (7)

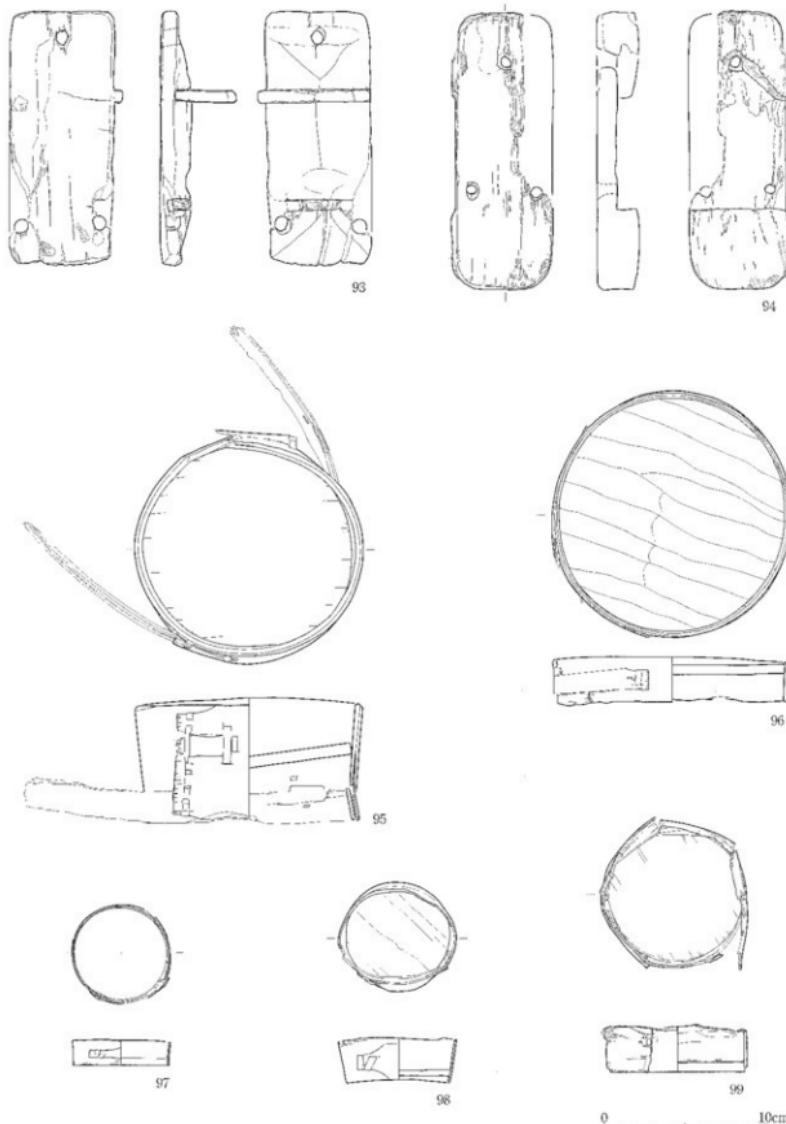


图25 武家屋敷地区第7地点出土下牘(8)·曲物
Fig.25 Clogs and round vessels by bending and securing a thin sheet of cypress wood from BK7

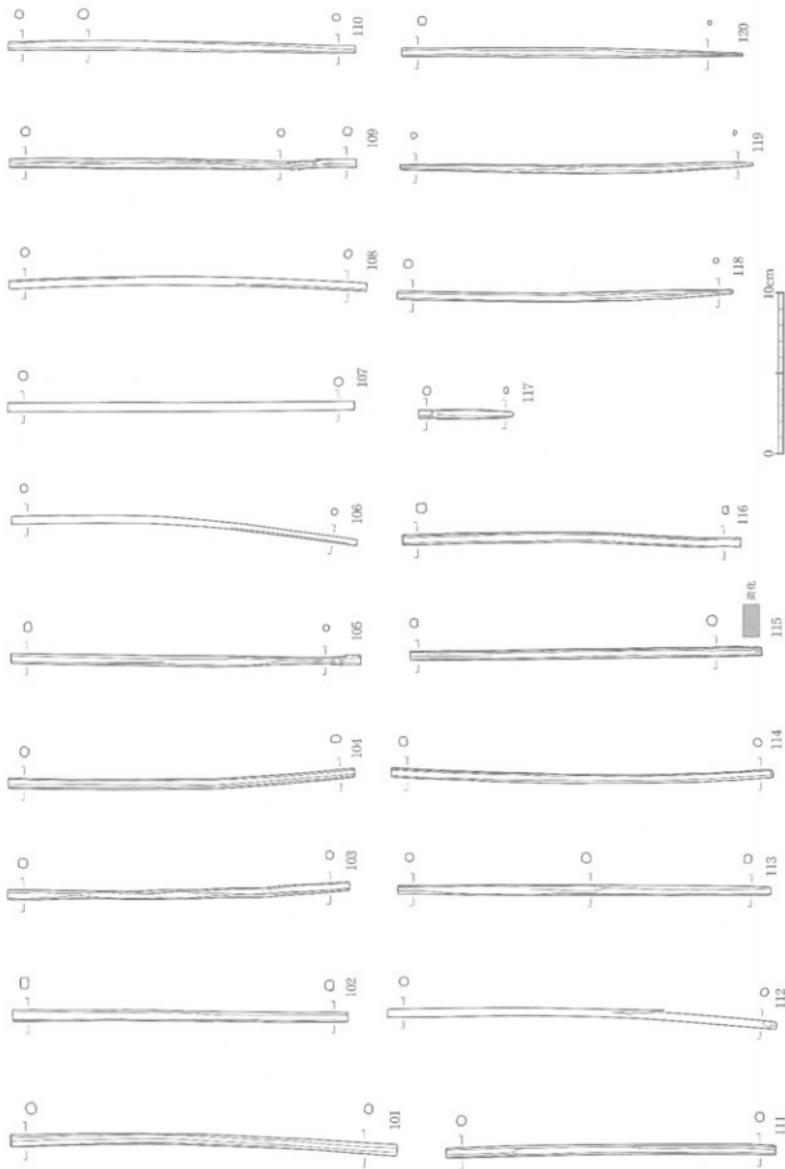


图26 武家屋敷地区第7地点出土箸状木制品(1)
Fig.26 Wooden chopsticks from BK7 (1)

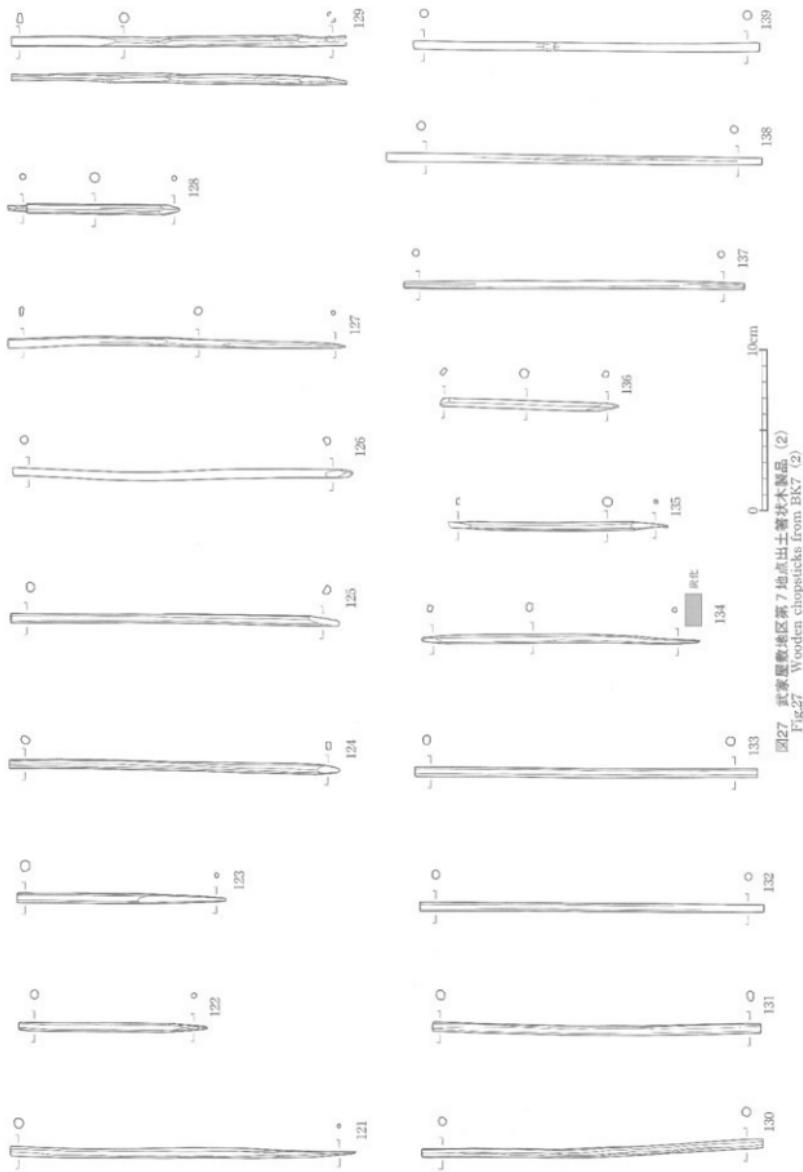


Fig.27 此家屋敷地区第7地层出土箸状木制品
(2)

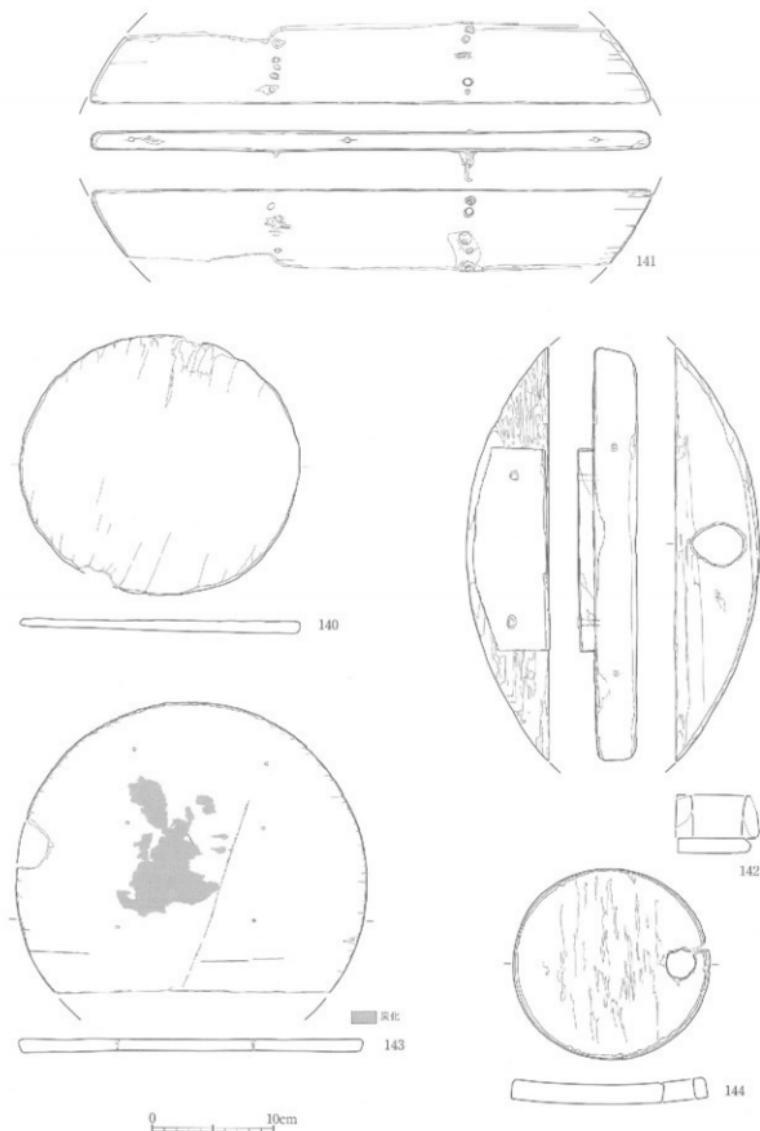
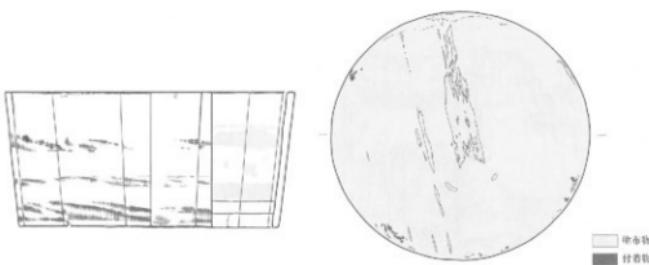
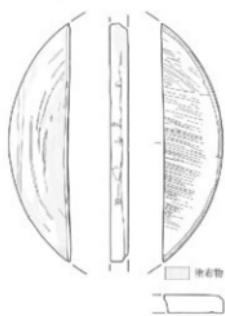


圖28 武家屋敷地区第7地点出土桶類 (1)
Fig.28 Wooden buckets from BK7 (1)



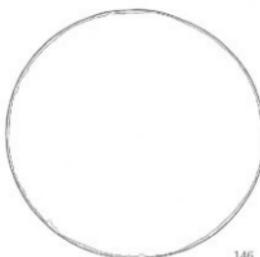
非朽物
朽物



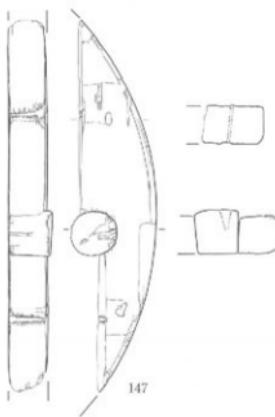
146



148



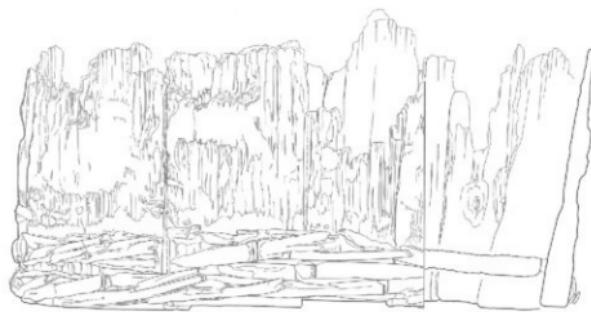
146



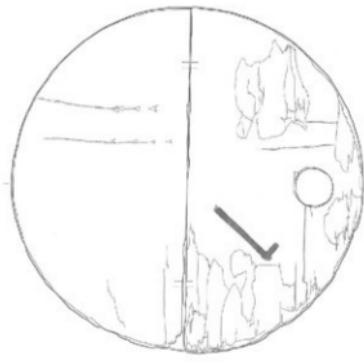
147

0 10cm

圖29 武家屋敷地区第7地点出土桶類 (2)
Fig.29 Wooden buckets from BK7 (2)



150



149



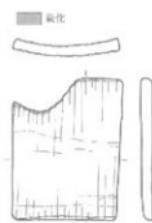
151



152



153



154

0 10cm

圖30 武家屋敷地区第7地点出土桶類 (3)
Fig.30 Wooden buckets from BK7 (3)

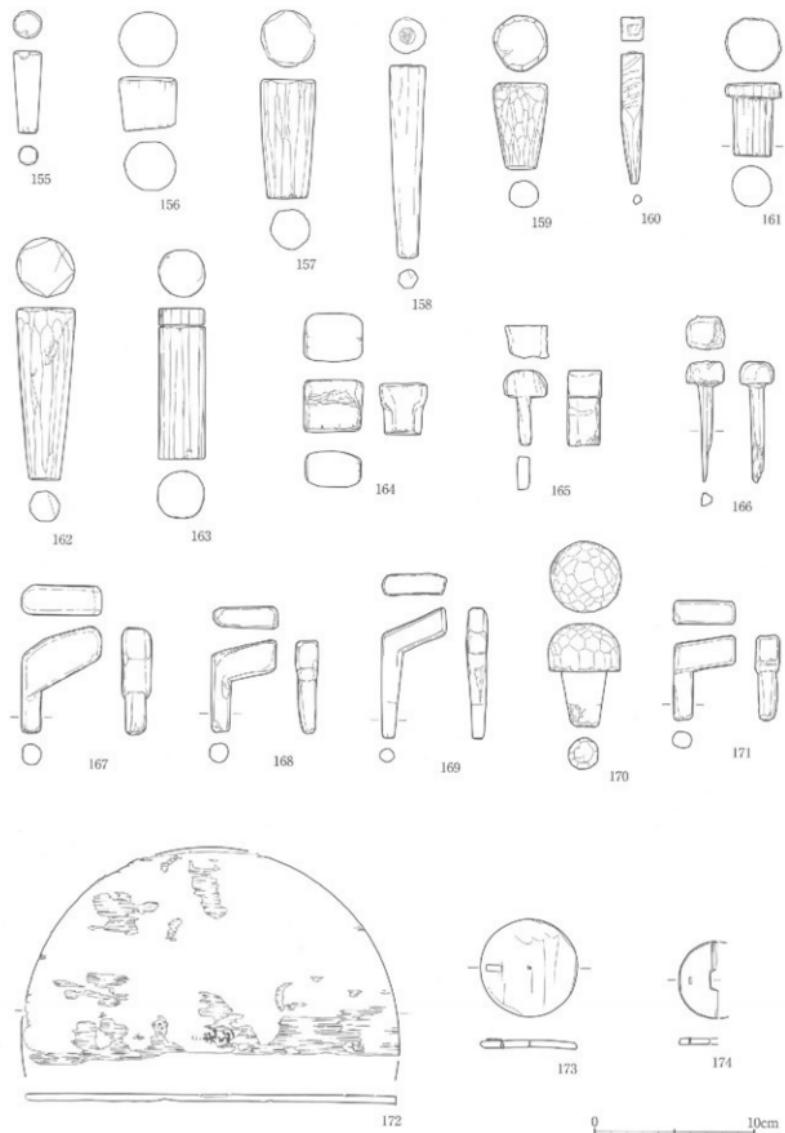


Fig.31 武家屋敷地区第7地点出土栓・円板状木製品 (1)
Fig.31 Wooden plugs and wooden implements shaped round plate from BK7 (1)

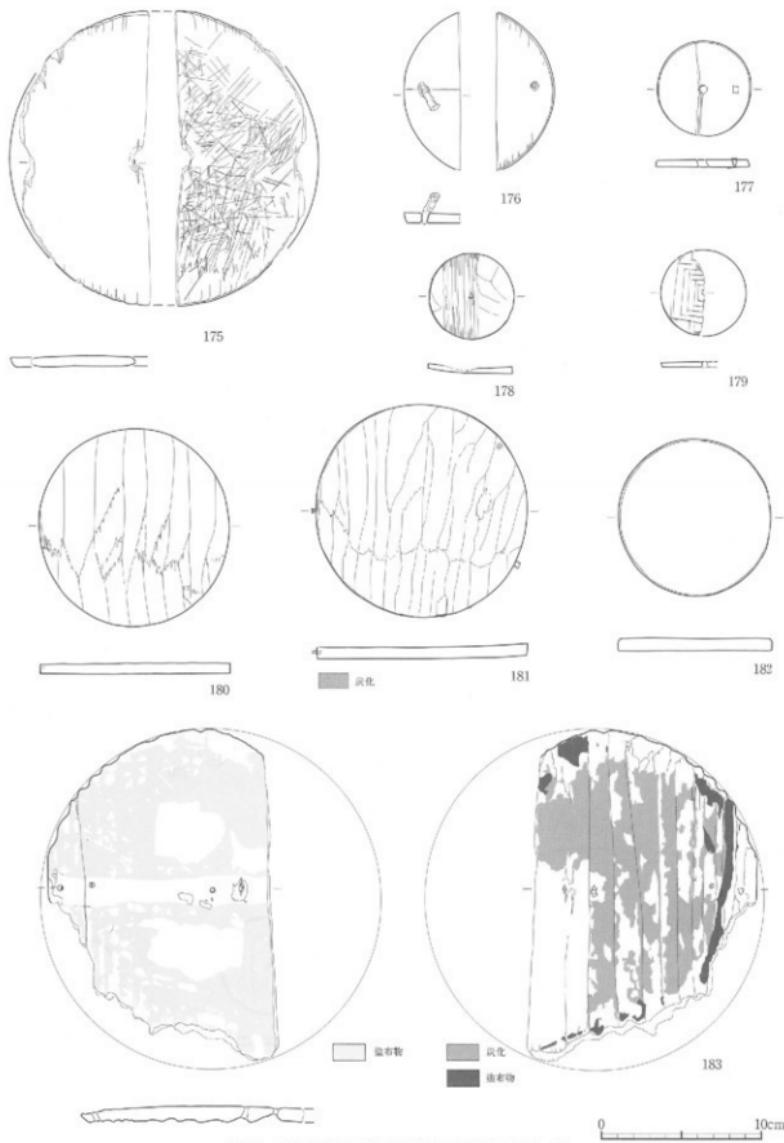


图32 武家屋敷地区第7地点出土円板状木製品 (2)
Fig.32 Wooden implements shaped round plate from BK7 (2)

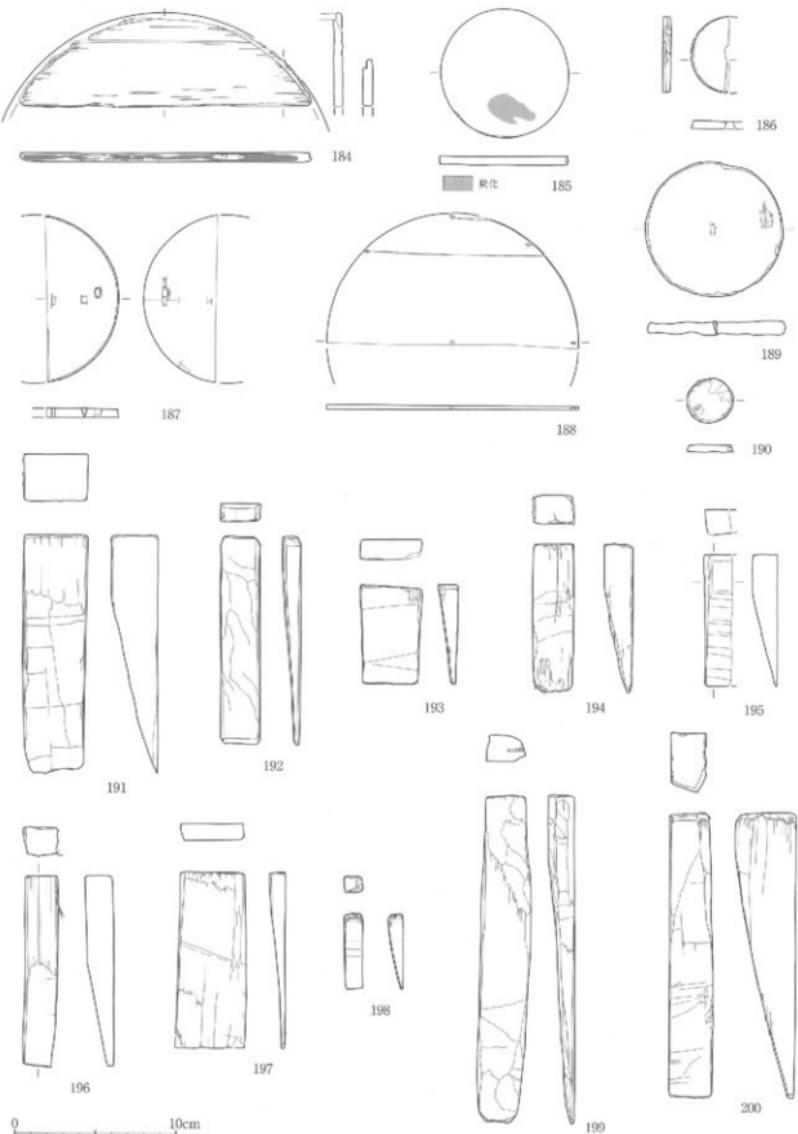


图33 武家屋敷地区第7地点出土円板状木製品(3)・楔
Fig.33 Wooden implements shaped round plate and wooden implements shaped wedge from BK7

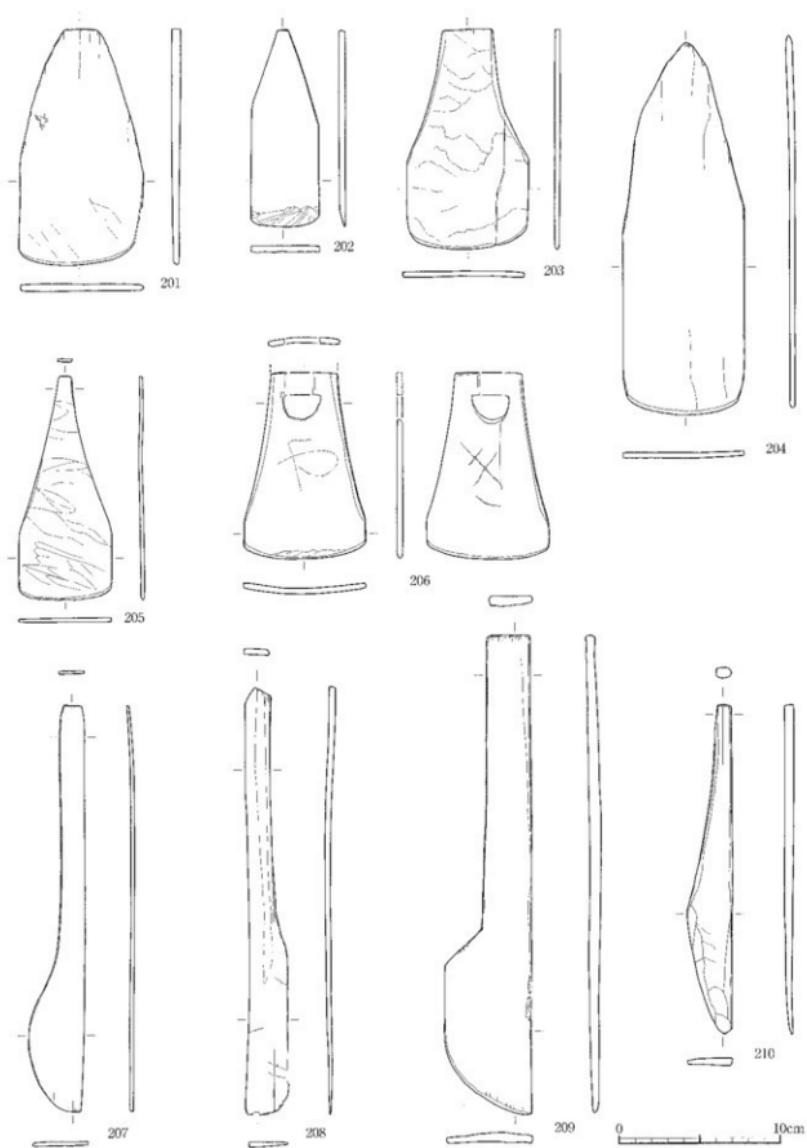


图34 武家屋敷地区第7地点出土へら状木製品 (1)
Fig.34 Wooden spatulas from BK7 (1)

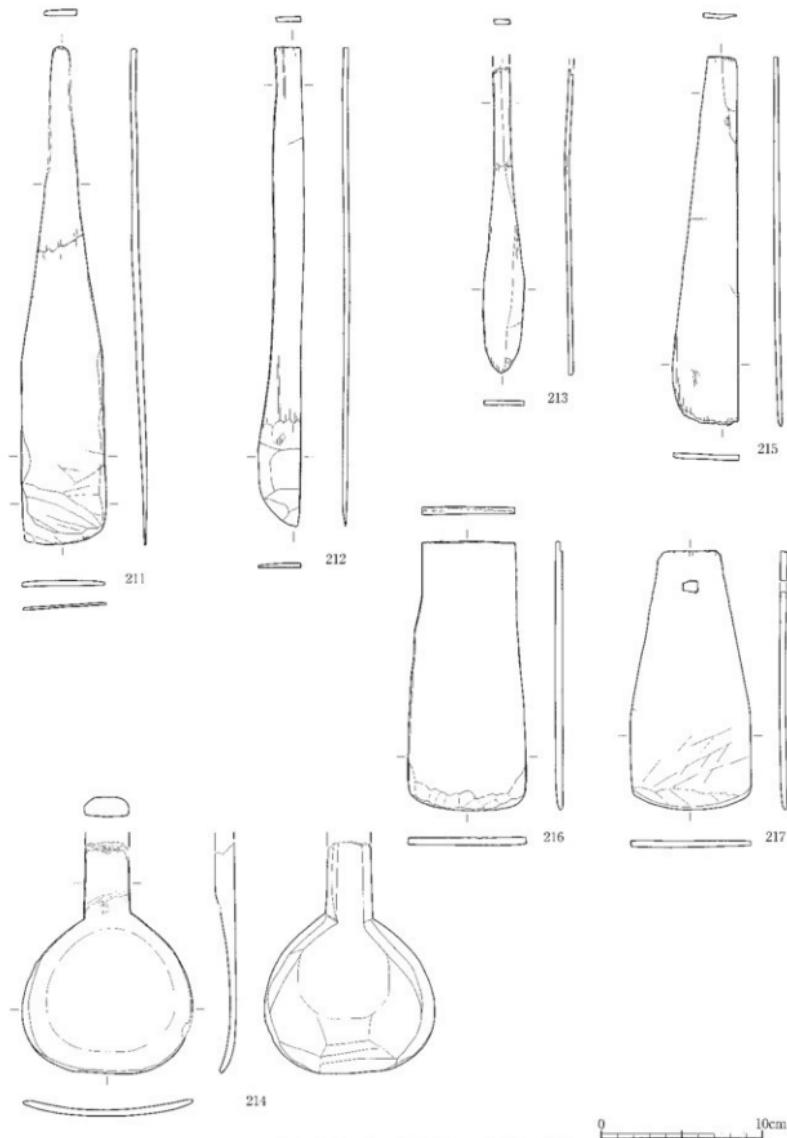


図35 武家屋敷地区第7地点出土へら状木製品 (2)
 Fig.35 Wooden spatulas from BK7 (2)

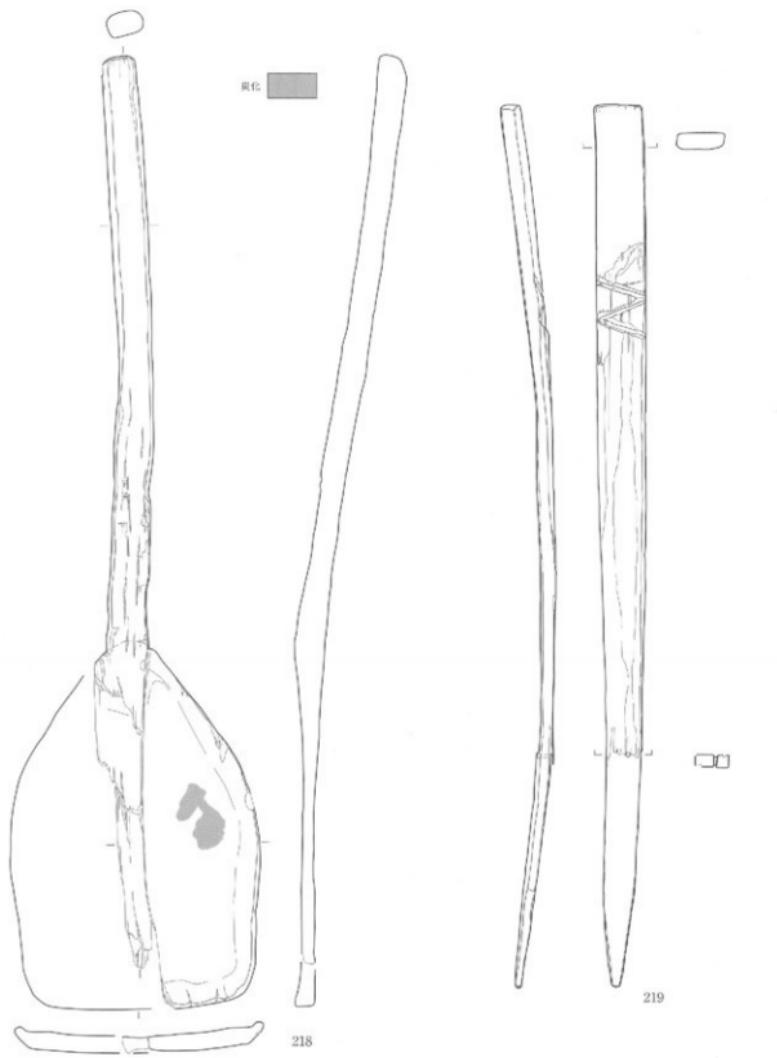


図36 武家屋敷地区第7地点出土へら状木製品(3)・柄状木製品(1)
Fig.36 Wooden spatulas and wooden handles from BK7 (1)

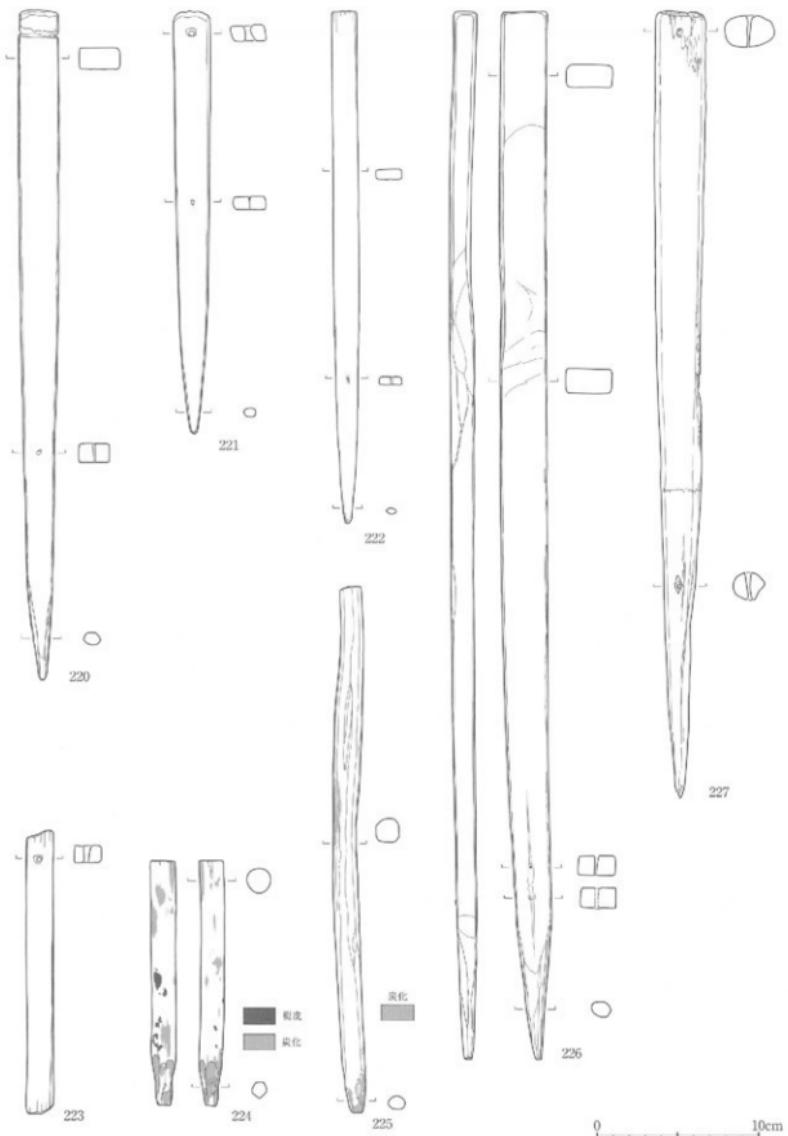
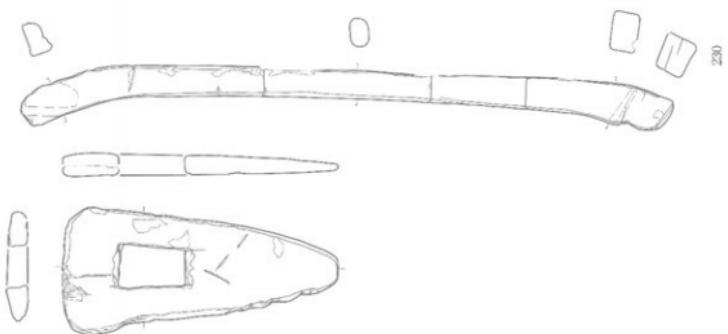
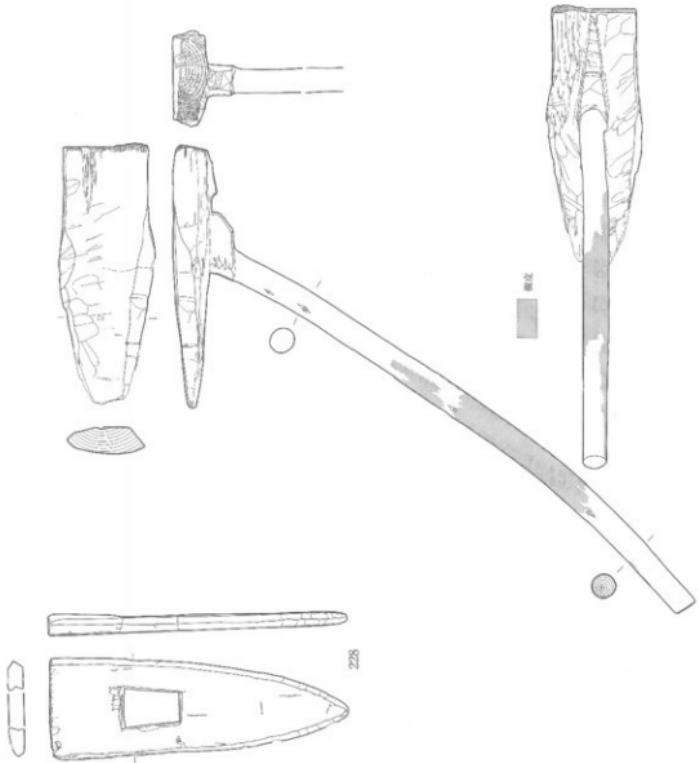


图37 武家屋敷地区第7地点出土柄状木制品 (2)
Fig.37 Wooden handles from BK7 (2)

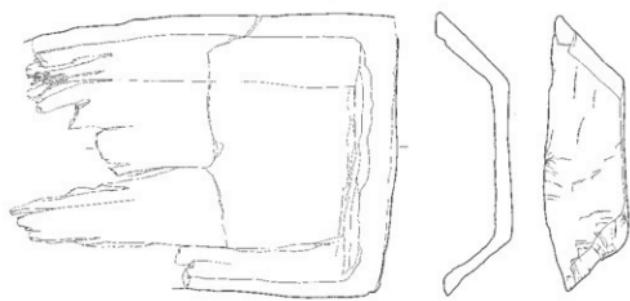


229

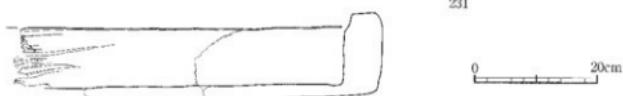
图38 武家庄遗址第7地点出土木
Fig.38 Wooden hoes from BK7



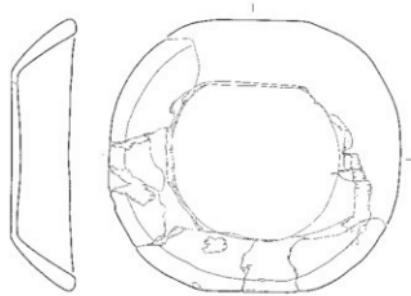
228



231



0 20cm



232

0 20cm



233

0 10cm

図39 武家屋敷地区第7地点出土槽・鉢物
Fig.39 Wooden troughs from BK7

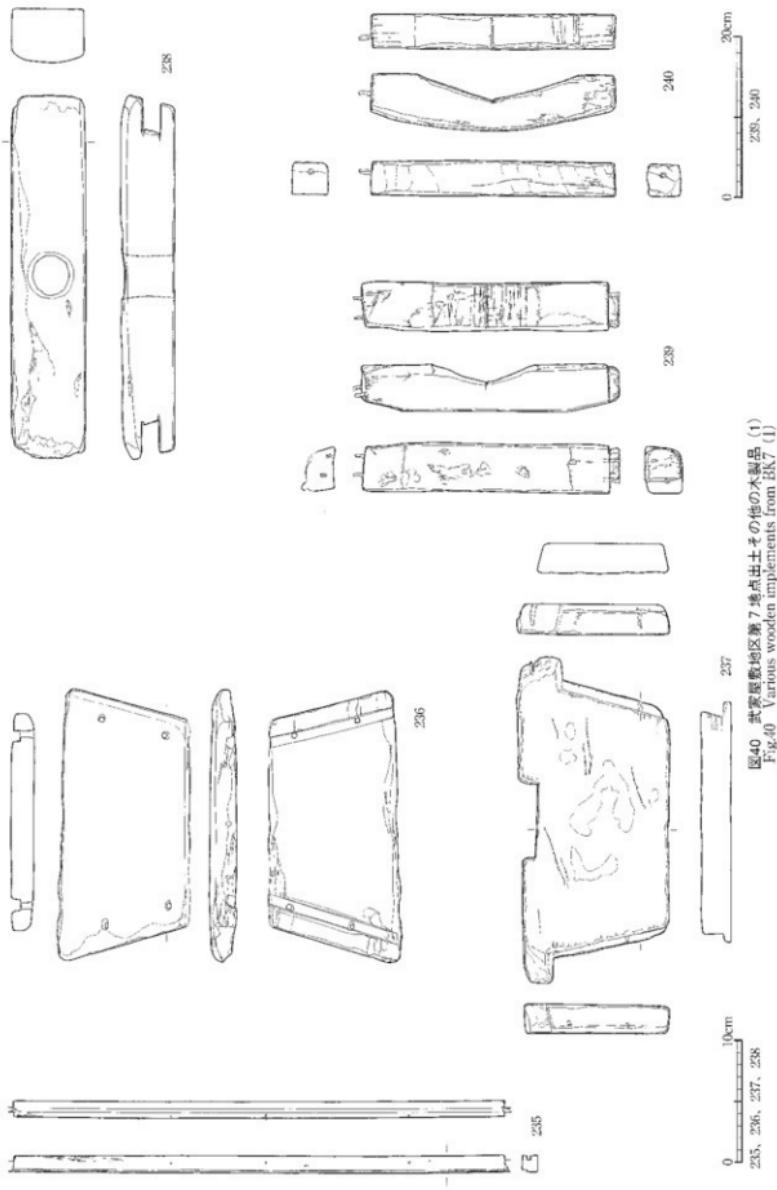
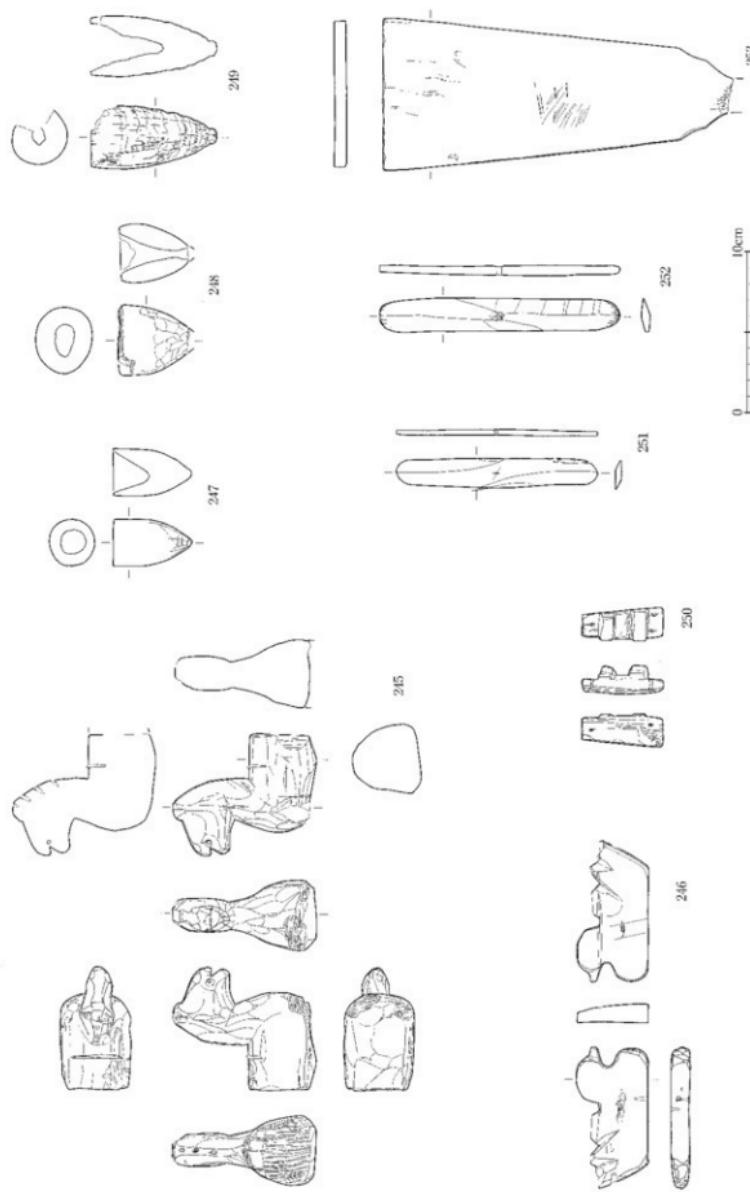


Fig.40 猿室屋敷地区第7地点出土その他の木製品 (1)
Fig.40 Various wooden implements from BK.7 (1)



図41 武家屋敷地区第7地点出土 その他の木製品
Fig.41 Various wooden implements from BK7 (2)

図42 試家遺跡第7地点出土その他の木製品(3)
Fig.42 Various wooden implements from BK7 (3)



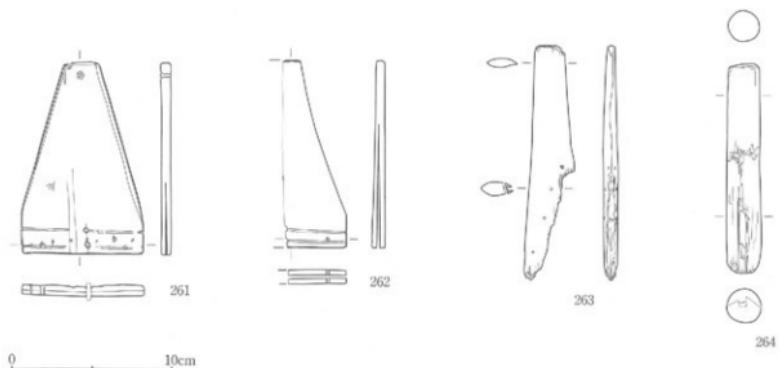
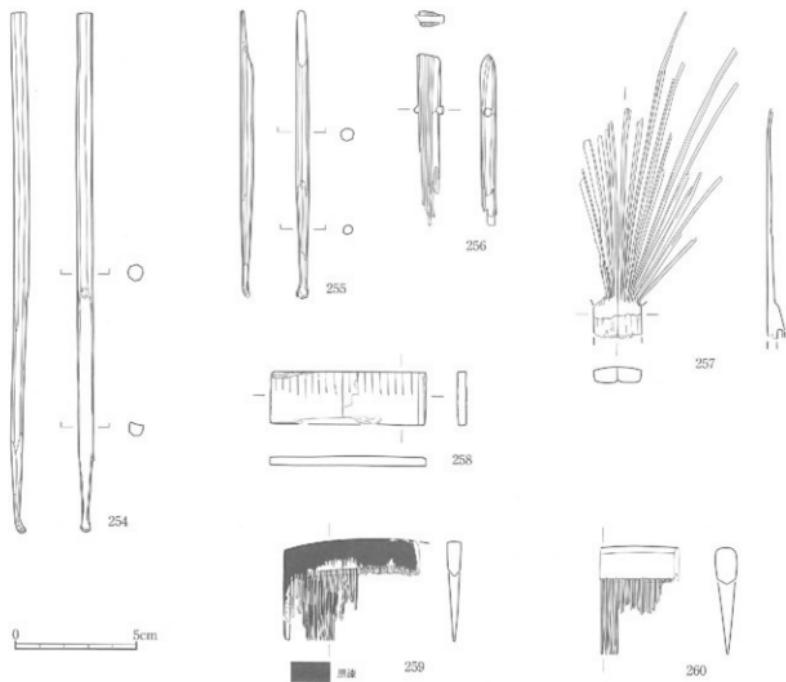
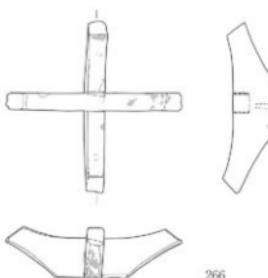


図43 武家屋敷地区第7地点出土その他の木製品 (4)
Fig.43 Various wooden implements from BK7 (4)



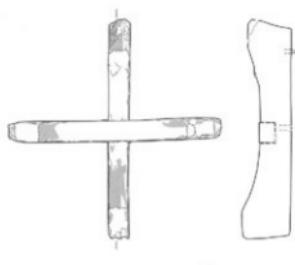
265

■ 黄化



266

■ 黄化

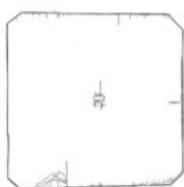


267

■ 黄化



268

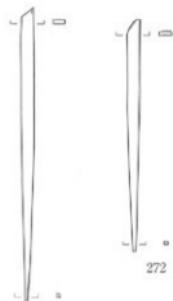


269

図44 武家屋敷地区第7地点出土その他の木製品(5)
Fig.44 Various wooden implements from BK7 (5)

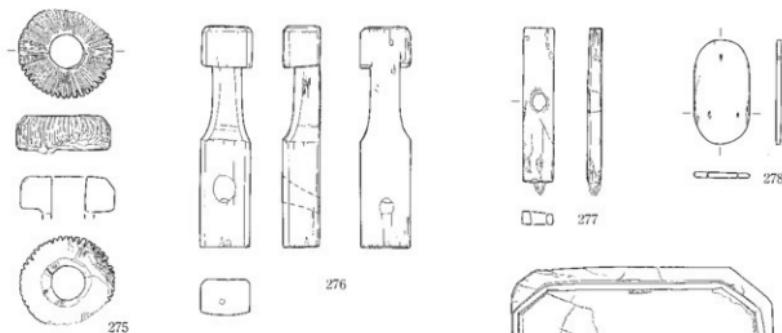
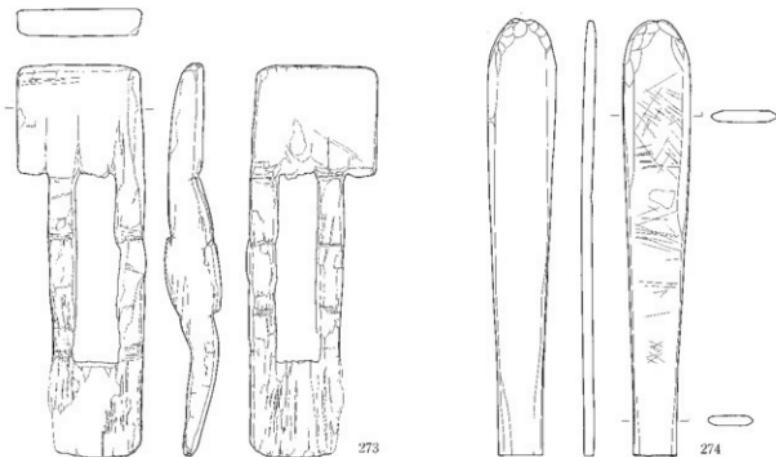
270

0 10cm



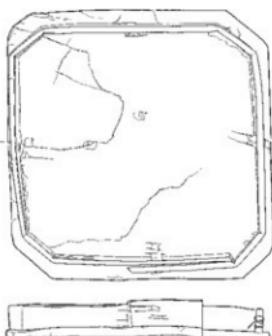
271

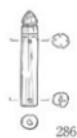
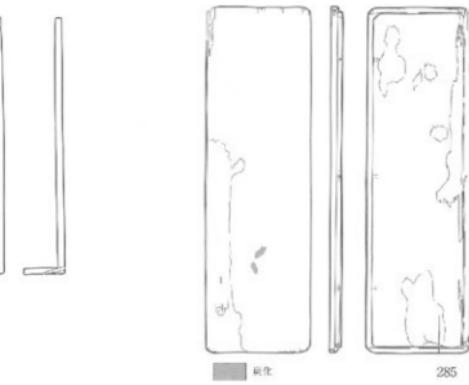
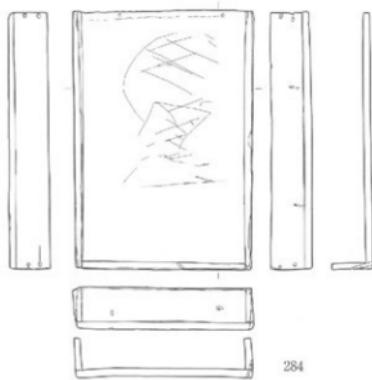
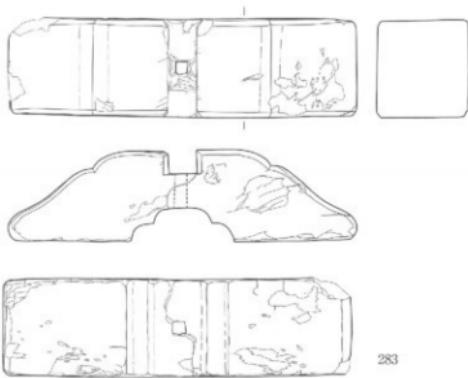
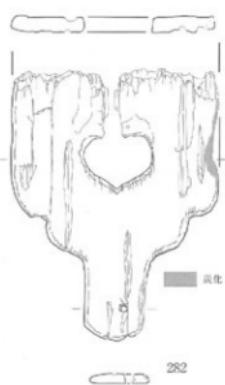
272



0 10cm

図45 武家屋敷地区第7地点出土その他の木製品 (6)
Fig.45 Various wooden implements from BK7 (6)





0 10cm

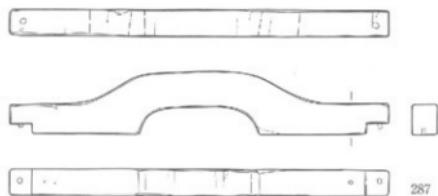


図46 武家屋敷地区第7地点出土その他の木製品(7)
Fig.46 Various wooden implements from BK7 (7)

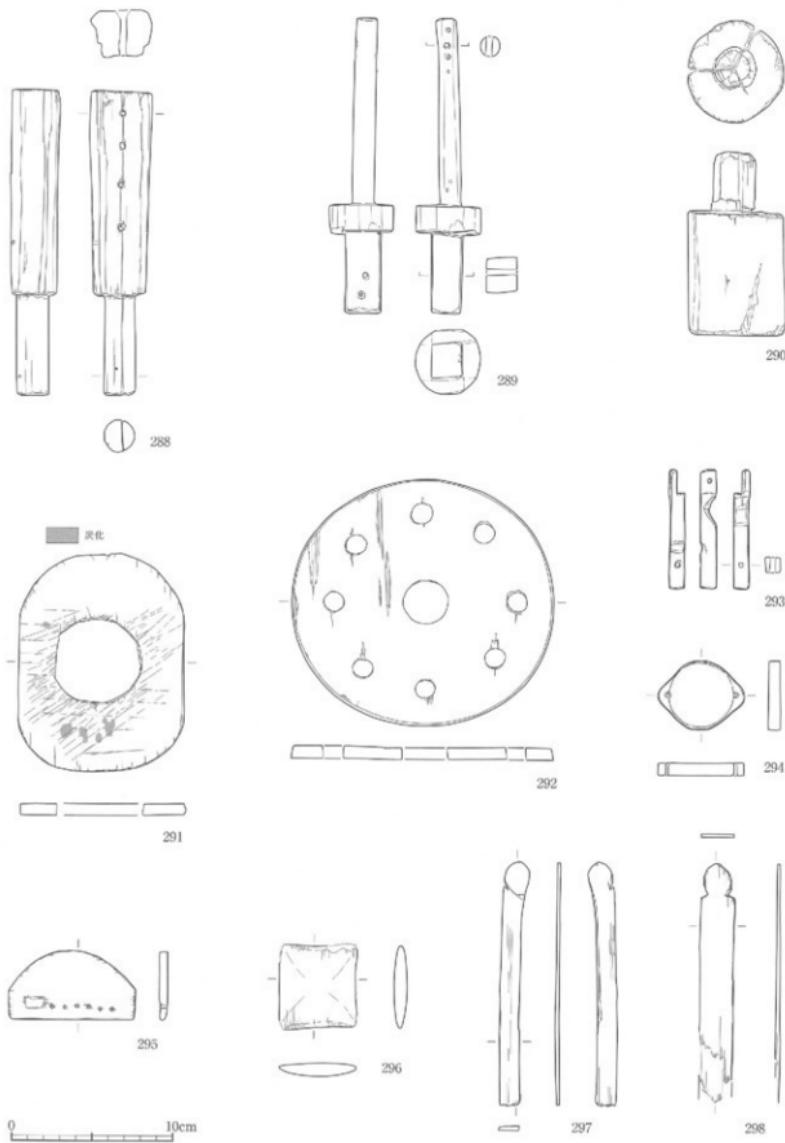


図47 武家屋敷地区第7地点出土その他の木製品(8)
Fig.47 Various wooden implements from BK7 (8)



299



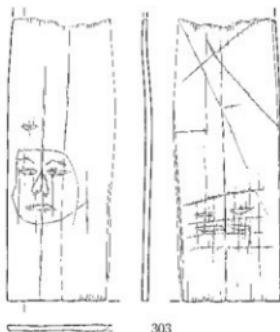
300



301



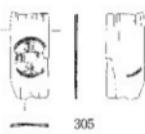
302



303



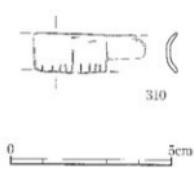
304



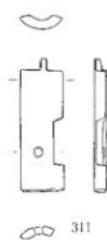
305



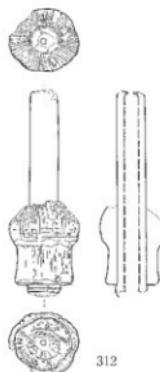
図48 武家屋敷地区第7地点出土その他の木製品 (9)
Fig.48 Various wooden implements from BK7 (9)



310



311



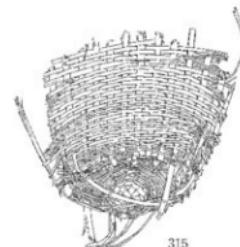
312



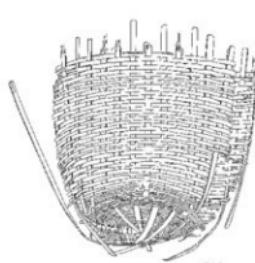
313



314



315



316



317

0 10cm

图49 武家屋敷地区第7地点出土竹制品
Fig.49 Various bamboo implements from BK7

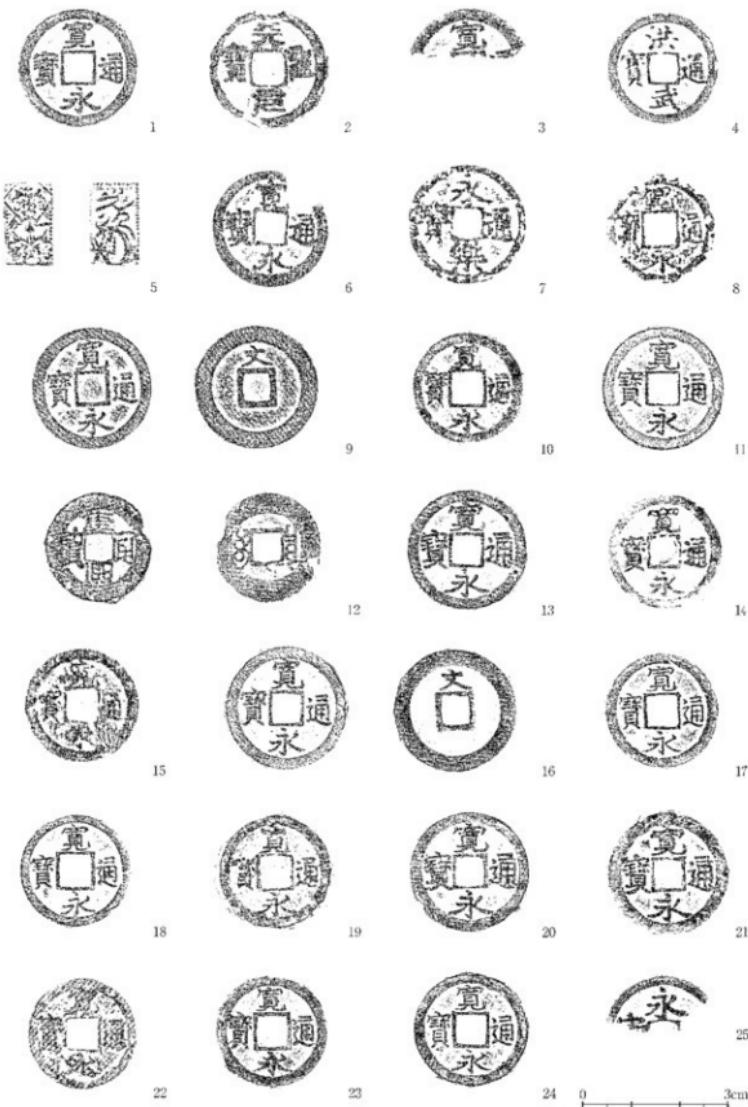


图50 武家庄地区第7地点出土古钱 (1)
Fig.50 Coins from BK7 (1)

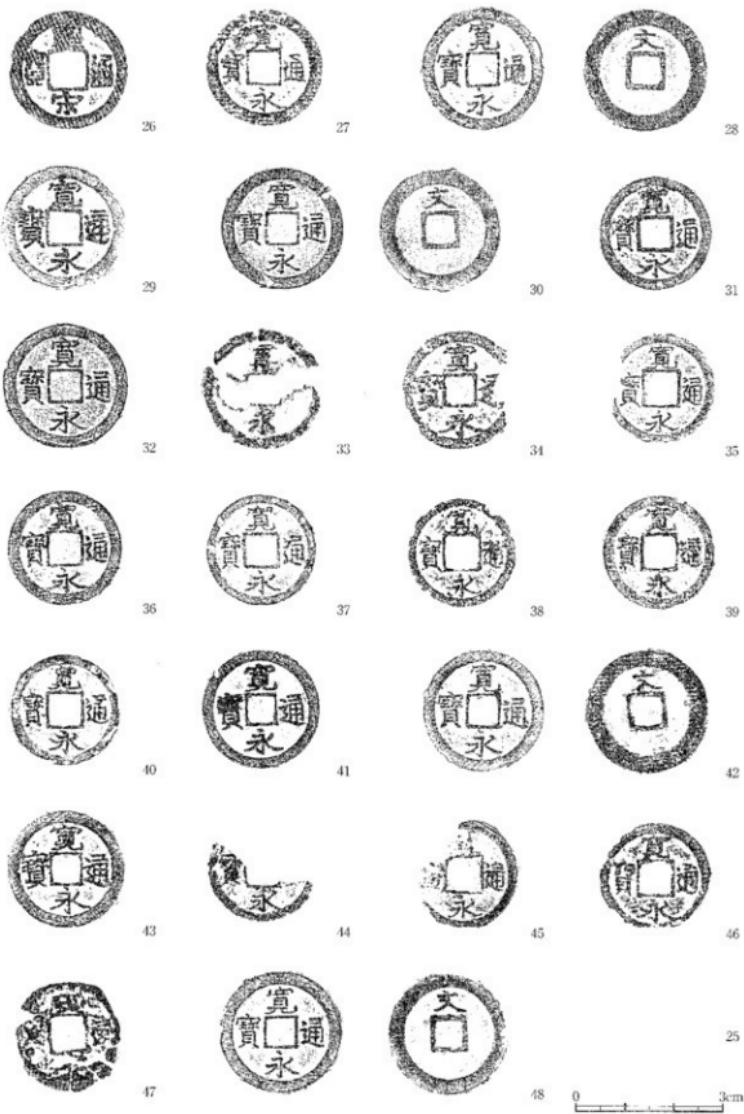


图51 武家屋敷地区第7地点出土古钱(2)
Fig.51 Coins from BK7 (2)

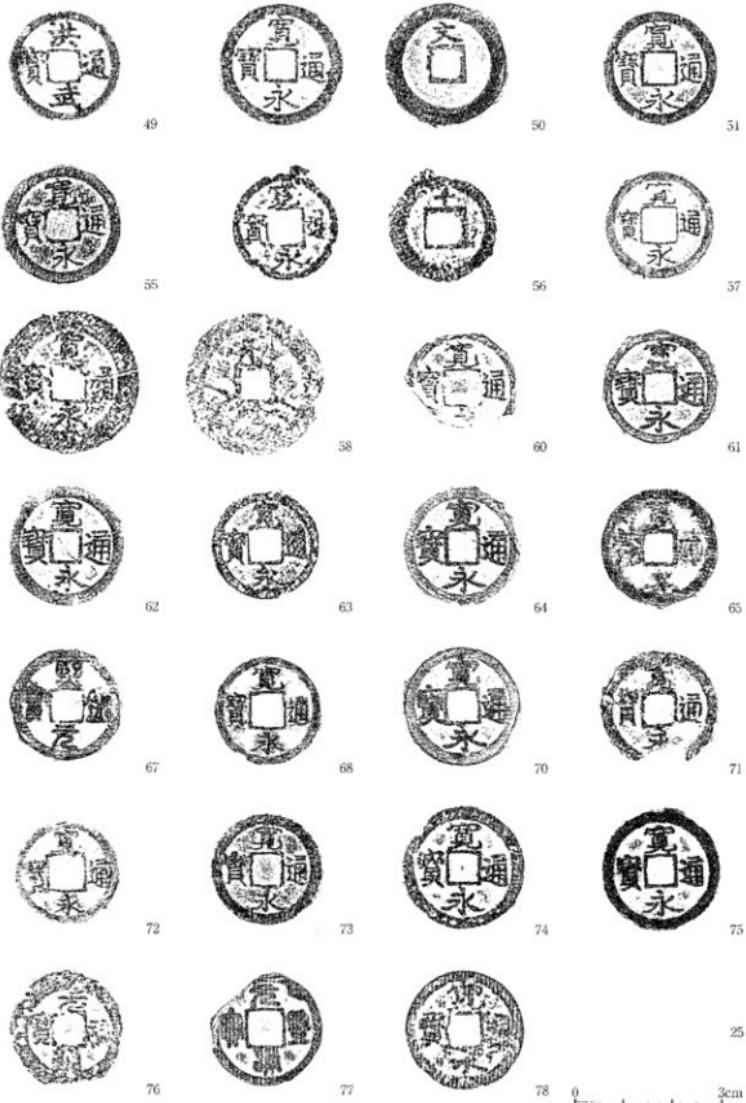


图52 武家屋敷地区第7地点出土古钱(3)
Fig.52 Coins from BK7 (3)

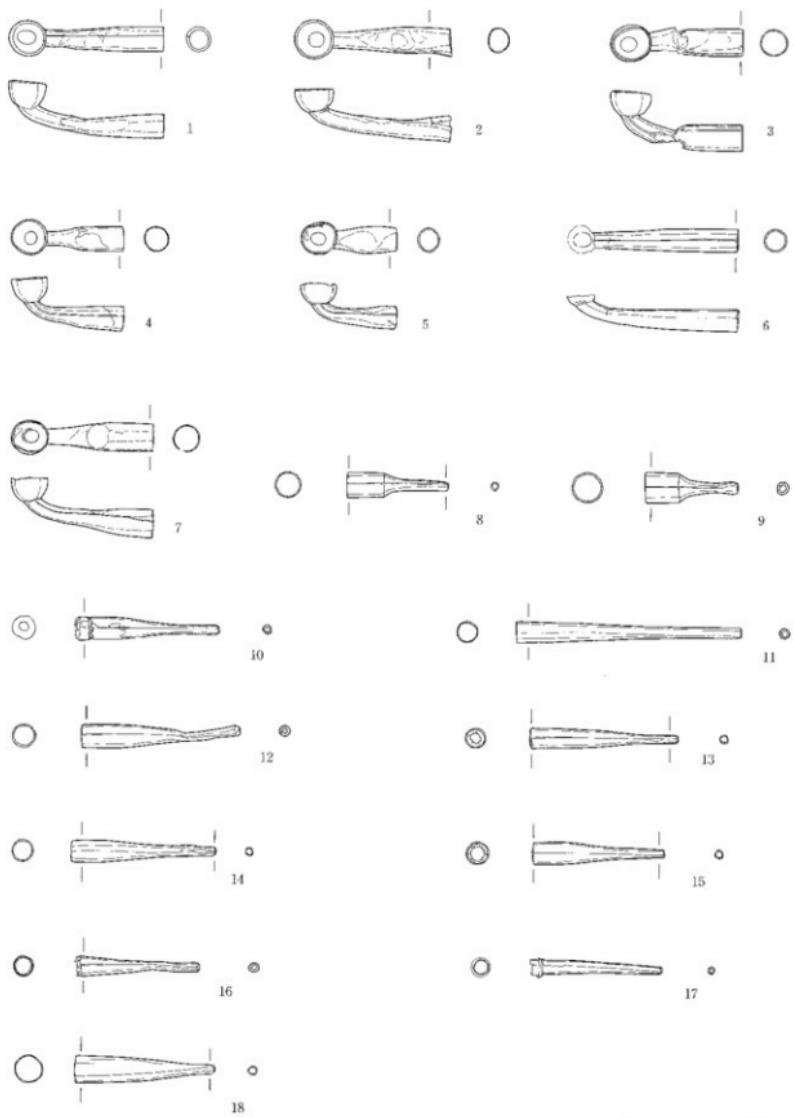


图53 武家庄地区第7地点出土烟管
Fig.53 Pipes from BK7

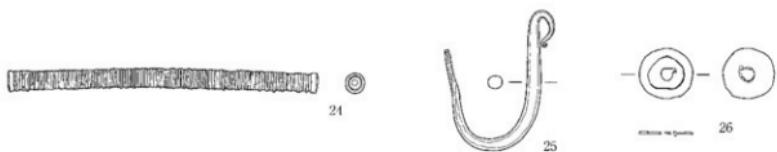
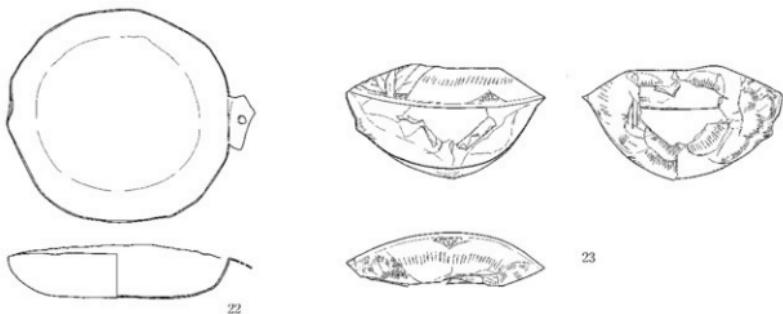
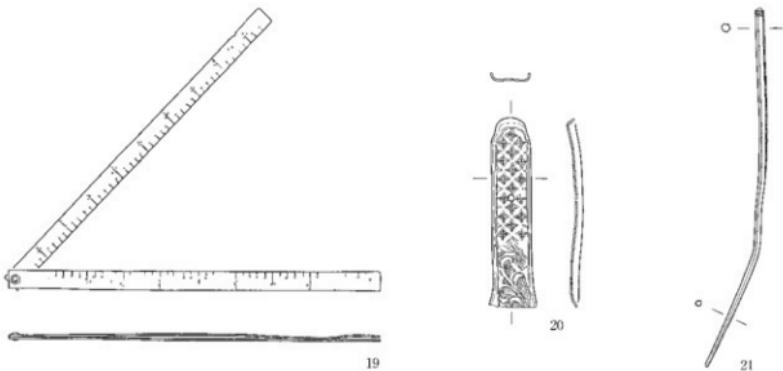


図54 武家屋敷地区第7地点出土その他の金属製品 (1)
Fig.54 Various metal implements from BK7 (1)

0 5cm

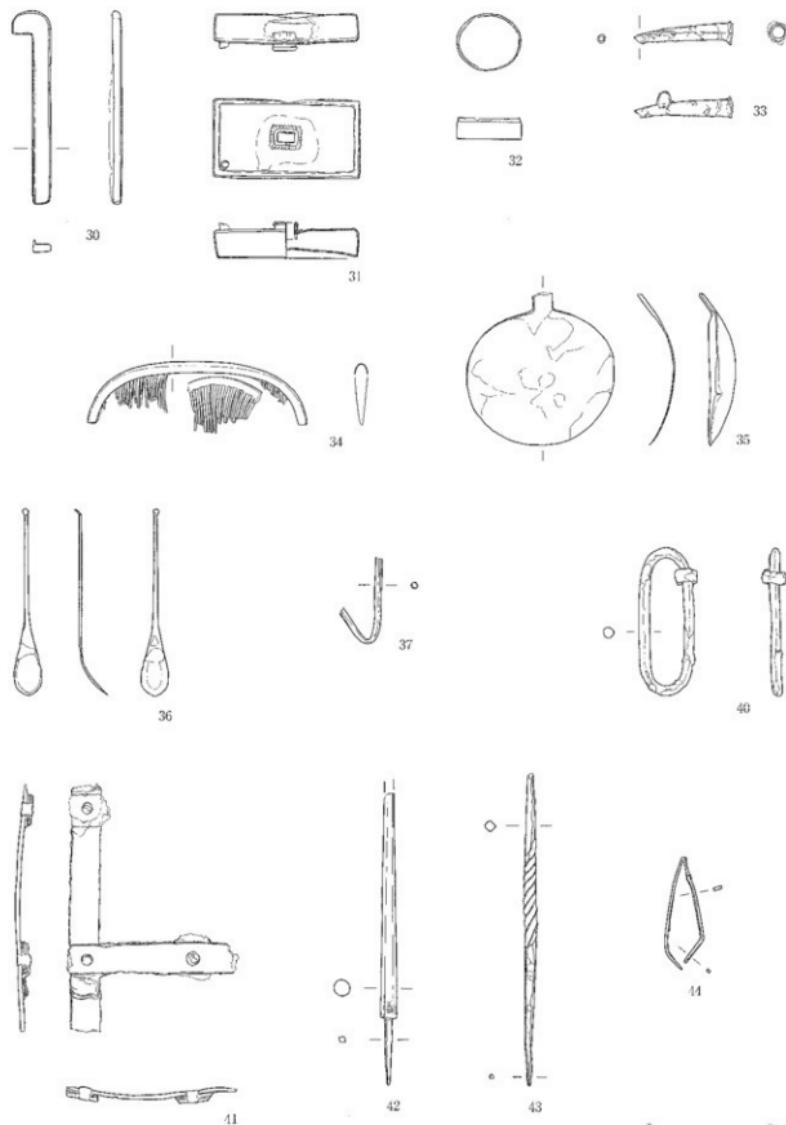


図55 武家屋敷地区第7地点出土その他の金属製品 (2)
Fig.55 Various metal implements from BK7 (2)

0 5cm

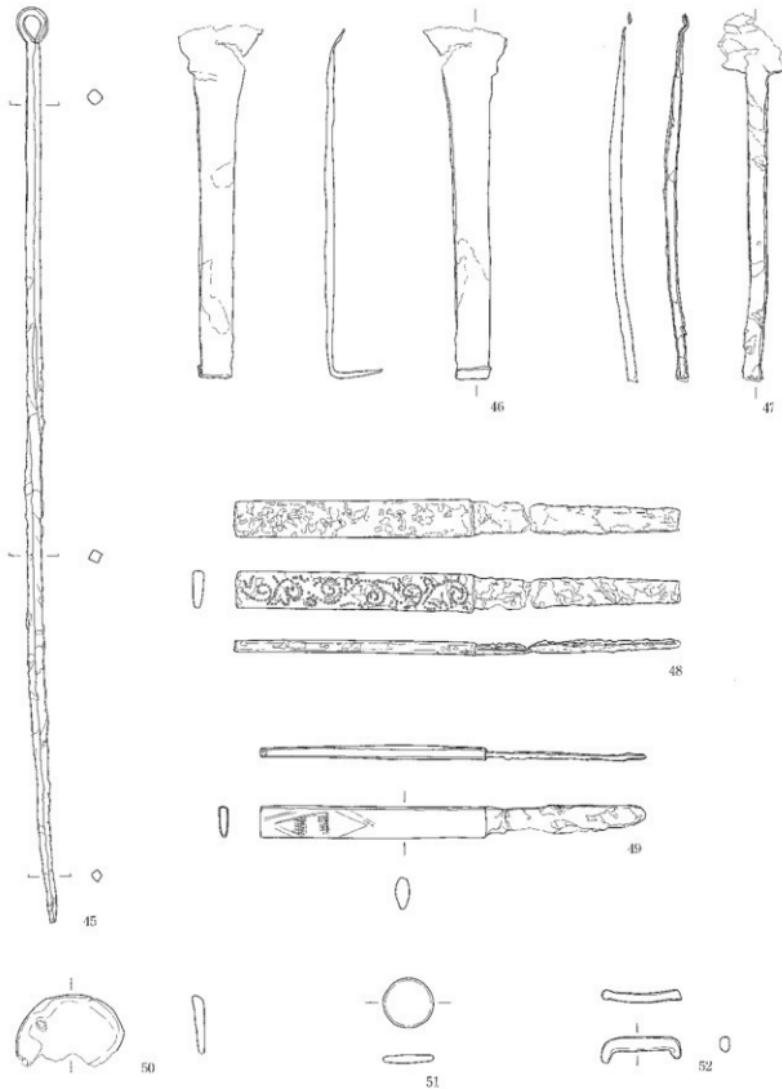


図56 武家屋敷地区第7地点出土その他の金属製品 (3)
Fig.56 Various metal implements from BK7 (3)



圖57 武家屋敷地區第7地點出土石器・石製品 (1)
Fig.57 Stone tools, stone-made objects from BK7 (1)



圖58 武家屋敷地区第7地点出土石製品 (2)
Fig.58 Stone-made objects from BK7 (2)

表1 武家屋敷地区第7地点出土漆製品・木製品集計表
Tab.1 Distribution of wooden implements from BK7 (1)

Tab.1 武家屋敷地区第7地点出土漆塗製品・木製品集計表 (1)
Distribution of wooden implements from BK7 (1)

表2 武家屋敷地区第7地点出土漆塗製品・木製品集計表 (2)
Tab.2 Description of woodern implements from BK7 (2)

2 武家屋敷地区第1尾黒山主原遺跡：木製器具類 (2)

表3 球磨屋敷地区第7地点出土漆器製品・木製品集計表(3)
Tab.3 Distribution of wooden implements from 3K7(3)

遺 墓	漆器木製品			漆器																												
	元形:漆器	漆器:漆器																														
直筒のビット																																
1號の直筒小鉢	5578	10000	9019	251	12	182	48	251	40	60	258	49	60	115	88	37	116	10154	10827	54919	2254	154	3									
1号直筒	2																															
1号運動																																
2号運動																																
3号運動																																
4号運動																																
1号柱列																																
2号柱列																																
3号柱列																																
4号柱列																																
5号柱列																																
6号柱列																																
2号土壙																																
17号土壙																																
2号土壙																																
3号土壙																																
6号土壙																																
7号土壙																																
14号土壙																																
18号土壙																																
19号土壙																																
20号土壙																																
2号斗笠																																
松乳樹漆器																																
石器漆器																																
桶形漆器																																
瓶形漆器																																
III期のビット																																
III期の漆桶																																
1号坑																																
5号坑																																
1号墓																																
11号墓																																
1号之列																																
薪灰漆器																																
H-1漆器																																
B-C-S-10番うち3点																																
H期のビット																																
H期の漆桶																																
食合	1646	16520	9213	276	42	190	75	270	46	70	261	137	62	120	90	41	147	1650	11162	56114	24633	161	52961	6								

表4 武家屋敷地区第7地点出土その他の遺物集計表(1)
Tab.4 Distribution of various implements from BK7 (1)

出土地所	古文			鉄		漆器			その他の漆器品			鉄製品			金・銀・銅			石器			骨器			その他			合計		
	銅	鐵	不銹	その他の	漆器	漆器	漆器	漆器	漆器	漆器	漆器	漆器	漆器	漆器	漆器	漆器	漆器	漆器	漆器	漆器	漆器	漆器	漆器	漆器	漆器	漆器	漆器	漆器	漆器
2層	2	3	1	黒字元寶1 不明1		3	小玉1	7	121	1					6	不明3 刀身1 刀身1		破片8、帆石2 剥片2、帆石1 石錐1、印鑑1 火打石23 不明19									299		
2層下部						1	幕背火皿1			2									剥片1、不明4 石錐1									10	
3層			1							1	3								不明2、帆1 火打石1		龜甲1?							10	
4層																												0	
不明						1	3																					19	
1層・擾乱	5	3		ミントコイン1 元慶通寶1 元慶通寶1	4	5	ペロト1、金月1 把手1、合釘1 ボタン2 飾金具1	7	30	10	小柄1、範6 櫛1、棒状2 把手3、把手1	11	不明2					火打石5 帆12、剥片2 帆石2、不明3									125		
5分建物																												0	
9号土坑																												0	
13号土坑	1			天聖元寶1																帆石1								3	
14号土坑																				帆1								0	
25号土坑																												0	
26号土坑																												0	
30号土坑																												0	
31号土坑																												0	
12号溝			1								1	1				鷺1?	1	不明1									5		
24号溝																												0	
25号溝																												0	
28号溝							洪武通寶1																				1		
29号溝																												1	
30号溝																												0	
32号溝																												0	
33号溝																												0	
I期のピット																												0	
I期の漆桶小計	1		1	2					1	2						1	2									11			
9号柱列																												0	
9号柱列																												0	
I・Ⅱ期のピット																	1										1		
I・Ⅱ期の漆桶小計																	1										1		
I・Ⅱ・Ⅲ期のピット																												1	
1号漆桶	1	1		永慶通寶1 季候一分金1		3	物差1 針金1?										2									11			
2号漆桶	8	4	19	1	永慶通寶1 波瀾金1 不明1	10	12	墨貢1、鈎1 金1 金1 火差1	5	81								12	鈎金具1? 羅1、火差2 羅2、毛拔1 小柄2、墨1		帆1、火打石4 石1、帆石1 剥片2、不明7						184		
7号柱列																												0	
3号土坑																												0	
4号土坑																	2	和釘1	1	6							火打石4、帆2 剥片1、不明2	ガラス板1	21
6号土坑																												0	
7号土坑																												0	
8号土坑																												0	
11号土坑																												0	
12号土坑																												0	
15号土坑	1			洪武通寶1			不明1			1									帆1、帆石1	ギョウモク1								7	
16号土坑							1																					1	
18号土坑																		1	1									3	
19号土坑																												1	
20号土坑																	1	矢立の蓋?	1	2								6	
21号土坑																												0	
22号土坑																												0	
23号土坑																												0	
24号土坑			23	(缺)														2	1								火打石1	ギョウモク2	11
27号土坑																													0

表5 武家屋敷地区第7地点出土その他の遺物集計表(2)
Tab.5 Distribution of various implements from BR7 (2)

出土場所	古銭			櫛管	その他の銅製品		鉄製品			鉈	石器 石製品	その他	合計	
	古 文	新 通寶	不明		他	鉢	吸口	その他	不明					
28号土坑					1			水滴1	6					8
29号土坑														0
32号土坑														0
4号溝					1	1								2
5号溝		1												1
8号溝														0
9号溝		2							2					4
10号溝												銚1		1
13号溝														0
15号溝														0
16号溝														0
17号溝														0
21号溝														0
22号溝		1										銚1		2
23号溝														0
27号溝								飾金具?1					銚片1,火打石4	6
31号溝														0
1号井戸								角金具1,銚1	2					4
3号井戸														0
4号井戸														0
池状遺構・古段跡														0
Ⅷ期のピット														0
Ⅸ期の遺構小計	9	5	25	5	6	13	19	13	10	102	11	14	37	4273
Ⅹ・Ⅺ期のピット													冠1,不明1	2
1号建物									1	1				2
2号建物														0
3号建物														0
4号建物														1
1号柱列													0	0
2号柱列														0
3号柱列														0
4号柱列														0
5号柱列														0
6号柱列														0
2号土坑					不明1			銚1	3					5
17号土坑														9
2号溝														0
3号溝														0
6号溝														0
7号溝		1												1
14号溝														0
18号溝														0
19号溝									1					1
26号溝														0
2号井戸														0
池状遺構・古段跡					2(鉢)	四文銅1(鉢)	1	2	銚1	1	3	銚1	1	19
石敷道橋														0
桟廻式道橋														0
桟廻式渡橋														0
直徑式渡橋														0
Ⅷ期のピット														6
Ⅸ期の遺構小計		2	1	1	2	1	2	2	5	11	1	2	2	37
1号七坑	1									1			銚2	4
5号土坑														0
1号溝									2	1				3
11号溝						1							銚1	2
1号石列														0
帆状蓋板														0
B-16落ち込み									1	1			不明1	3
B-C-9-10落ち込み													不明1	1
IV期のピット														0
IV期の遺構小計	1					1			3	3				5
合計	18	5	33	9	15	20	33	25	37	276	18	27	35	1044
														711

表 6 武家屋敷地区第7地点出土漆碗觀察表 (1)
Tab.6 Notes on wooden bowls with lacquer at BK7 (1)

登録番号	出土場所	種類	法量 cm			漆の色			文様等	萬台(拂み) 内館	備考	国 開放
			口径	底径(拂み)	高台高(拂み)	内面	外面	高台内				
WL001	3号上坑 墓上	身	-	-	2.4	朱	朱	黒				1 -
WL002	1号遺構 墓土2層	身	-	5.4	7.2	1.7	朱	朱	黒	跡あり(朱)	口部部は黒	1 -
WL003	2号遺構 墓土3層	身	-	5.5	-	-	朱	朱	黒	前あり(朱)		1 -
WL004	1号遺構 墓土3層	身	-	-	-	朱	朱	朱				1 -
WL005	1号遺構 墓土3層	蓋	-	-	-	朱	黒	黒				1 -
WL006	2号遺構 墓土2層	身	13.0	6.5	5.3	1.0	黒	黒	黒			1 -
WL007	2号遺構 墓土2層	身	10.5	5.0	3.6	0.7	黒	黒	黒	見込:丸(朱)		1 -
WL008	2号遺構 墓土2層	身	12.0	5.9	4.3	7.5	黒	黒	黒	見込:丸(朱)		1 -
WL009	2号遺構 墓土2層	身	11.9	5.3	4.3	0.9	黒	黒	黒			1 -
WL100	2号遺構 墓土3層	身	-	6.0	-	-	朱	黒	黒	家紋・潛龍(朱)	轟あり(朱)	1 -
WL101	2号遺構 墓土2層	身	-	-	-	-	朱	黒	黒	家紋・潜龍(朱)	本州(朱)	家紋3ヶ所
WL102	2号遺構 墓土2層	身	-	6.0	-	1.8	朱	朱	黒	駕籠の支權(黒)	轟あり(朱)	2 -
WL103	2号遺構 墓土2層	身	-	-	-	-	朱	朱	黒	竹田(黒)	山呑部は黒	2 -
WL104	2号遺構 墓土2層	身	-	-	-	-	朱	朱	黒	桃(朱)	山呑部は黒	2 -
WL105	2号遺構 墓土2層	身	-	-	-	-	朱	朱	黒	萬葉内に飾あり		2 -
WL106	2号遺構 墓土3層	身	-	-	-	-	朱	朱	黒	鶴あり(朱)		2 -
WL107	2号遺構 墓土2層	身	10.5	5.9	7.7	2.1	朱	朱	黒	鶴あり(朱)		2 -
WL108	2号遺構 墓土2層	身	-	-	-	-	朱	朱	黒	鶴あり(朱)		2 -
WL109	2号遺構 墓土2層	身	-	-	-	-	黒	黒	黒	鶴あり(朱)		2 -
WL110	2号遺構 墓土2層	身	11.9	-	-	-	朱	朱	黒	鶴あり(朱)		2 -
WL121	2号遺構 墓土2層	身	-	-	-	-	朱	朱	黒	出田?	(朱)	2 -
WL122	2号遺構 墓土2層	身	-	-	-	-	朱	朱	黒	出田(黒)		2 -
WL123	2号遺構 墓土2層	身	? 10.6	-	-	-	朱	朱	黒	鶴あり(朱)	口部部は黒	2 -
WL124	2号遺構 墓土2層	身	11.7	5.5	5.2	0.9	朱	朱	黒	鶴あり(朱)	口部部は黒	2 -
WL125	2号遺構 墓土2層	身	-	-	-	-	朱	朱	黒	鶴あり(朱)	口部部は黒	2 -
WL126	2号遺構 墓土2層	身	-	-	-	-	朱	朱	黒	田中(朱)	田中(朱)	3 -
WL127	2号遺構 墓土2層	身	-	-	-	-	朱	朱	黒	鶴あり(朱)	田中(朱)	3 -
WL128	2号遺構 墓土2層	身	-	-	-	-	茶	茶	黒	鶴あり(朱)	田中(朱)	3 -
WL129	2号遺構 墓土2層	身	10.5	-	-	-	朱	朱	黒	鶴あり(金)	山呑部は黒	3 -
WL130	2号遺構 墓土2層	身	-	-	-	-	朱	朱	黒	鶴あり(朱)	口部部は黒	3 -
WL131	2号遺構 墓土2層	身	-	-	-	-	朱	朱	黒	鶴あり(朱)	口部部は黒	3 -
WL132	2号遺構 墓土2層	身	-	-	-	-	朱	朱	黒	鶴あり(朱)		3 -
WL133	2号遺構 墓土2層	身	10.3	4.7	3.5	0.6	朱	朱	黒		山呑部は黒 前台内蔵あり	3 -
WL134	2号遺構 墓土2層	身	-	-	-	-	朱	朱	黒			3 -
WL135	2号遺構 墓土2層	身	-	-	-	-	朱	朱	黒			3 -
WL136	2号遺構 墓土2層	身	-	-	-	-	朱	朱	黒			3 -
WL137	2号遺構 墓土2層	身	-	-	-	-	朱	朱	黒			3 -
WL138	2号遺構 墓土2層	身	-	-	-	-	朱	朱	黒			3 -
WL139	2号遺構 墓土2層	身	-	-	-	-	朱	朱	黒	文様あり(黒)		4 -
WL140	2号遺構 墓土2層	身	-	-	-	-	朱	黒	黒	文様あり(黒?)		4 -
WL141	2号遺構 墓土2層	身	-	-	-	-	朱	黒	黒	文様あり(金?)		4 -
WL142	2号遺構 墓土2層	身	-	-	-	-	朱	黒	黒	文様(花菊) (朱)		4 -
WL143	2号遺構 墓土2層	身	-	-	-	-	朱	黒	黒	文様・花菱(黒)	田中? (朱)	4 -
WL144	2号遺構 墓土2層	身	-	-	-	-	朱	朱	朱	文様(朱)	家紋3ヶ所	4 -
WL145	2号遺構 墓土2層	身	-	-	-	-	朱	黒	黒	文様あり(朱?)	家紋3ヶ所	4 -
WL146	2号遺構 墓土2層	身	-	-	-	-	朱	朱	黒	文様(朱)	家紋3ヶ所	4 -
WL147	2号遺構 墓土2層	身	-	-	-	-	朱	朱	黒	掌孔あり(L17種、底部?)	4 -	
WL148	2号遺構 墓土2層	身	-	-	-	-	朱	朱	黒	掌孔あり(底部)	4 -	
WL149	2号遺構 墓土2層	身	-	-	-	-	朱	朱	黒	掌孔あり(L17種、底部?)	4 -	
WL150	2号遺構 墓土2層	身	-	-	-	-	朱	朱	黒	受光斑あり		4 -
WL151	2号遺構 墓土2層	身	-	-	-	-	朱	朱	黒	家紋3ヶ所		5 -
WL152	2号遺構 墓土2層	身	-	-	-	-	朱	朱	黒	家紋3ヶ所		5 -
WL153	2号遺構 墓土2層	身	-	-	-	-	朱	朱	黒	家紋3ヶ所		5 -
WL154	2号遺構 墓土2層	身	-	-	-	-	朱	朱	黒	家紋・龜甲(朱)		5 -
WL155	2号遺構 墓土2層	身	-	-	-	-	朱	朱	黒	家紋・花菱(朱)		5 -
WL156	2号遺構 墓土2層	身	-	-	-	-	朱	朱	黒	家紋・梅(黒?)		5 -
WL157	2号遺構 墓土2層	身	-	-	-	-	朱	朱	黒	家紋・梅(黒?)		5 -
WL158	2号遺構 墓土2層	身	-	-	-	-	朱	朱	黒	家紋・梅(黒?)		5 -
WL159	2号遺構 墓土2層	身	-	-	-	-	朱	黒	黒	家紋・二つ菊(朱)		5 -
WL160	2号遺構 墓土2層	身	-	-	-	-	朱	黒	黒	家紋・三つ菊(朱)		5 -
WL161	2号遺構 墓土2層	身	-	-	-	-	朱	黒	黒	家紋・三つ菊(朱)		5 -
WL162	2号遺構 墓土2層	身	-	-	-	-	朱	黒	黒	家紋・三つ菊(朱)		5 -
WL163	2号遺構 墓土2層	身	-	-	-	-	朱	黒	黒	家紋・花菱(朱)		5 -
WL164	2号遺構 墓土2層	身	-	-	-	-	朱	黒	黒	文様(格子) (朱)		5 -
WL165	2号遺構 墓土2層	身	-	-	-	-	朱	黒	黒	文様(格子) (朱)		5 -
WL166	2号遺構 墓土2層	身	-	-	-	-	朱	黒	黒	文様(格子) (朱)		5 -

表7 武家屋敷地区第7地点出土漆椀觀察表(2)
Tab.7 Notes on wooden bowls with lacquer at BK7 (2)

登録 番号	出土地所	種類	計 約 cm			漆の色	文様等	高台(摘み) 内路	備 考	回	回数		
			口径	底径 (摘み)	器高 (高台高 (摘み))								
WL065	2号造拂 地+2層	蓋	-	-	-	朱	黒	黒	家紋・桜花(金?)	家紋3ヶ所	5	6	
WL066	2号造拂 地+2層	蓋	-	-	-	朱	黒	黒	家紋、印(朱)	家紋3ヶ所	5	6	
WL067	2号造拂 地+2層	蓋	-	-	-	朱	黒	黒	家紋、三つ巴(金?)	家紋3ヶ所	5	6	
WL068	2号造拂 地+2層	蓋	10.0	-	-	朱	黒	黒	家紋、四つ目(朱)	家紋3ヶ所	6	6	
WL069	2号造拂 地+2層	蓋	-	-	-	黒	黒	黒	文様(もみじ) 支板(もみじ) (朱・金・緑)	支板(もみじ) (朱・金・緑)	6	6	
WL070	2号造拂 地+3層	蓋	-	-	-	朱	黒	黒	家紋、金平と書(?)	家紋3ヶ所	6	6	
WL071	2号造拂 地+3層	蓋	-	-	-	朱	黒	黒	家紋、一つ船(?)	家紋3ヶ所	6	6	
WL072	2号造拂 地+3層	蓋	-	-	-	朱	黒	黒	家紋、二つ巴(金?)	家紋3ヶ所	6	6	
WL073	2号造拂 地+3層下附	蓋	10.5	5.4	4.0	0.7	朱	黒	黒	家紋、萬(銀?)	家紋3ヶ所	6	6
WL074	2号造拂 地+2層	蓋	10.2	-	-	朱	黒	黒	家紋、三引(朱)	家紋3ヶ所	6	6	
WL075	2号造拂 地+2層	蓋	-	-	-	朱	黒	黒	家紋	家紋	6	6	
WL076	2号造拂 地+2層	身	10.4	4.8	3.2	0.7	黒	黒	黒	家紋	家紋	6	6
WL077	2号造拂 地+2層	身?	-	-	-	朱	朱	朱	家紋	家紋	6	6	
WL078	2号造拂 地+2層	身	-	-	-	朱	朱	朱	家紋	家紋	6	6	
WL079	2号造拂 地+2層	身	-	-	-	朱	黒	黒	家紋、泡(朱) 振あり(朱)	家紋あり(朱)	-	7	
WL080	2号造拂 地+1層	身	-	-	-	朱	黒	黒	家紋、梅花(銀?)	家紋	-	7	
WL081	2号造拂 地+1層	身	-	-	-	朱	黒	黒	家紋、三つ折(金?)	家紋	-	7	
WL082	2号造拂 地+1層	身	-	-	-	朱	朱	朱	家紋	家紋	-	7	
WL083	2号造拂 地+1層	身	-	-	-	茶	茶	茶	家紋、泡(朱) 振あり(朱)	山形部は黒	-	7	
WL084	2号造拂 地+1層	身?	-	-	-	朱	朱	朱	文様あり(朱・銀?) 振あり(朱?)	山形部は黒	-	7	
WL085	2号造拂 地+1層	身?	-	-	-	不	黒	黒	家紋あり(朱)	家紋あり(朱)	-	7	
WL086	2号造拂 地+1層	蓋	11.2	-	-	黒	黒	黒	家紋	家紋	6	7	
WL087	1号井戸 中部付十	身	-	-	1.0	朱	黒	黒	家紋、菊の唐(?)	家紋3ヶ所	6	7	
WL088	1号井戸 地上附	身	-	5.5	1.1	朱	黒	黒	家紋、野坂(朱)	家紋3ヶ所	6	7	
WL089	1号井戸 地+1層	身	-	-	-	木	黒	黒	文様あり(朱)	家紋3ヶ所	6	7	
WL090	1号井戸 地+1層	身	-	-	-	木	黒	黒	文様あり(朱)	家紋3ヶ所	6	7	
WL091	1号井戸 地+1層	身	-	-	-	木	黒	黒	文様、野坂(朱)	家紋3ヶ所	6	7	
WL092	1号井戸 地+1層	身	-	-	1.3	朱	朱	朱	文様(福)(朱)	家紋3ヶ所	6	7	
WL093	1号井戸 地+1層	身	-	-	-	木	黒	黒	家紋	家紋	-	7	
WL094	1号井戸 地+1層	身	-	-	-	木	朱	朱	文様	文様	-	7	
WL095	20号土坑 壁面	身	-	-	-	朱	黒	黒	家紋、菊の唐(朱)	家紋3ヶ所	6	7	
WL096	20号土坑 壁面	身	-	-	-	朱	黒	黒	家紋、菊の唐(朱)	家紋3ヶ所	6	7	
WL097	H10.03附	身?	-	-	-	朱	黒	黒	家紋(朱) 振あり(朱)	家紋あり(朱)	6	8	
WL098	24号土坑 壁+2層	身?	-	-	-	朱	黒	黒	家紋、花菱(銀?) 振あり(朱)	家紋あり(朱)	6	8	
WL099	24号土坑 壁+2層	身?	-	-	-	朱	黒	黒	文様あり(朱)	家紋あり(朱)	6	8	
WL100	24号土坑 壁+2層	身?	-	-	-	朱	黒	黒	家紋	家紋	7	8	
WL101	24号土坑 壁+2層	漆?	-	-	-	朱	朱	朱	家紋?	家紋?	7	8	
WL102	24号土坑 壁+2層	身?	-	-	-	不	黒	黒	家紋、三つ巴(?)	家紋	7	8	
WL103	24号土坑 壁+2層	身?	-	-	-	朱	黒	黒	家紋、丸(金?)	家紋	7	8	
WL104	24号土坑 壁+2層	身?	-	-	-	朱	黒	黒	家紋、丸(金?)	家紋	7	8	
WL105	24号土坑 壁+2層	身?	-	-	-	朱	黒	黒	家紋、丸(金?)	家紋	7	8	
WL106	24号土坑 壁+2層	蓋?	10.5	-	-	朱	黒	黒	家紋、丸(金?)	家紋3ヶ所	7	8	
WL107	24号土坑 壁+2層	蓋?	9.7	-	-	不	黒	黒	家紋あり(朱・銀?)	家紋あり(朱)	7	8	
WL108	24号土坑 壁+2層	身?	-	-	-	朱	黒	黒	文様(菊)(金?)	家紋	-	8	
WL109	28号土坑 壁+1層	身	-	-	-	朱	黒	黒	家紋、菊(朱)	家紋	-	8	
WL110	28号土坑 壁+2層	身	-	-	-	朱	黒	黒	家紋、菊(朱) 文様あり(朱)	家紋3ヶ所	7	8	
WL111	28号土坑 壁+2層	身?	-	-	-	朱	黒	黒	文様あり(朱)	家紋	-	9	
WL112	28号土坑 壁+2層	身?	-	-	-	朱	黒	黒	家紋、柄(朱)	家紋	-	9	
WL113	28号土坑 壁+2層	身?	-	-	-	朱	黒	黒	家紋、山形(朱)	家紋	-	9	
WL114	28号土坑 壁+2層	身?	9.8	5.9	3.1	0.8	朱	黒	黒	家紋、鳥(金?) 文様(金?)	家紋3ヶ所	7	9
WL115	28号土坑 壁+2層	蓋?	9.1	-	-	朱	黒	黒	文様あり(朱)	空孔あり(体部2、近部1)	7	9	
WL116	28号土坑 壁+2層	蓋?	-	-	-	朱	黒	黒	文様	空孔あり(朱)	7	9	
WL117	15号土坑 壁+2層	蓋	-	-	-	黒	茶	茶	文様(茶) 文様あり(茶)	文様あり(茶)	-	9	
WL118	15号土坑 壁+2層	身?	-	-	-	一	黒	一	金(朱・黒)	金(朱・黒)	-	9	
WL119	12号土坑 壁+2層	身?	-	-	-	朱	黒	黒	文様あり(朱)	文様あり(朱)	-	9	
WL120	池底遺構新設段 壁+底下附	身?	-	-	-	朱	黒	黒	家紋、萬(朱)	家紋	-	9	
WL121	12号土坑 壁+2層	蓋?	-	-	-	朱	黒	黒	家紋、泡(朱)	家紋	7	9	
WL122	12号土坑 壁+2層	身?	11.7	-	-	黒	黒	黒	家紋	家紋	7	9	
WL123	ビット2号上	身?	-	-	-	黒	黒	黒	家紋	家紋	-	9	
WL124	ビット2号上	身?	-	-	-	一	黒	一	銀(朱)	銀(朱)	-	9	
WL125	1号桃丸	身?	11.3	5.6	-	朱	黒	黒	文様あり(朱)	文様あり(朱)	7	9	
WL126	小明	身?	-	-	-	木	黒	一	文様あり(朱)	文様あり(朱)	-	9	

表3 武家屋敷地区第7地点出土その他の漆塗製品観察表
Tab.3 Notes on wooden implements with lacquer at BK7

登録番号	出土場所	器種	外寸(表)	内寸(裏)	備考	回	回数
WL127	2号造構 墓上25号	鉢	黒	木	高台内: 黒漆 文様: 金・星・緑 口径26.2cm 高さ13.6cm 器高2.8cm	8	1
WL128	2号造構 墓土3号	鉢?	朱	木	文様: 金	8	1
WL129	2号造構 墓土1号	鉢	黒・朱	黒	高台内: 黒 内面: 中心が朱、その外側が黒 漆透5.4cm	8	1
WL130	18号土坑 墓上2号	鉢	黒	朱?	高台内: 黒 文様: 木・金 高台内所あり?	-	1
WL131	2号造構 墓上25号	鉢	朱	木	内面: 黒漆の1つに付蓋あり	-	1
WL132	2号造構 墓土2号	曲物(大版)	黒	黒	文字: 朱 (「ル」部略) ? 最大幅34.5cm 厚さ0.9cm	8	1
WL133	2号造構 墓土2号	角物(大版)	黒	黒	文字: 朱 (「ム」部略) ? 最大幅36.7cm 厚さ0.9cm	9	1
WL134	2号造構 墓土2号	曲物(底板)	黒	黒	底板16.8cmの円板に、厚さ0.3cmの側板が付く	9	1
WL135	2号造構 墓土2号	曲物	黒	黒	とじ紐(糊交) 番号 複数11ヶ所所あり	9	1
WL136	2号造構 墓土2号	曲物	黒	黒	文字: 朱 最大幅36.7cm 厚さ0.8cm	10	1
WL137	2号造構 墓土2号	曲物	黒	黒	長幅12.3cm 幅6.6cm 厚さ3.4cm 桶内面: 漆透が薄い	10	1
WL138	24号土坑 墓土3号	曲物	黒	黒	長幅12.8cm 幅8.5cm 器高4.3cm とじ紐(糊交) 残存 漆の剥落箇所あり	10	1
WL139	24号土坑 墓土3号	曲物(大版)	黒	黒	底板16.8cmの円板に、厚さ0.3cmの側板を合わせて人板を作っている	11	1
WL140	15号土坑 墓土2号	曲物(大版)	黒	黒	底板15.4cm 幅5.0cm 内面に漆があり	11	1
WL141	2号造構 墓上2号	中間底板	黒?	黒	底5.8cm 厚さ3.0cm 壁残存 漆面に穴あり 塵の剥落が薄い	11	1
WL142	2号造構 墓土2号	中間底板	黒	黒	底径10.0cm 厚さ0.6cm	11	1
WL143	2号造構 墓上2号	桶	黒?	黒	底5.0cm 一画面に漆の跡あり 漆の内部に木片が残存	12	1
WL144	2号造構 墓上2号	桶(大版)	朱	黒	底内: 最大幅26.7cm 厚さ12cm 外面に漆の跡あり 取っ手があったか? 刺穴あり	12	1
WL145	2号造構 墓土2号	桶(天板)	黒	黒	底12.1cm 外面: 漆面に漆のない箇所あり 取っ手があったか? 刺穴あり	12	1
WL146	2号造構 墓土2号	桶(天板)	黒	黒	最大幅26.7cm 厚さ0.8cm 上面と舞面に穴?あり 漆の剥落が薄い	12	1
WL147	2号造構 墓土2号	へら	黒	黒	長さ15.5cm 幅6.1cm 厚さ0.2cm 漆を塗った跡で面取りの加工をしている	13	1
WL148	2号造構 墓上2号	へら?	黒	黒	幅3.0cm 厚さ0.9cm	13	1
WL149	2号造構 墓土2号	杓子	黒	黒	口径10.0cm 高さ6.7cm 壁厚2.6cm 外面に漆あり	13	1
WL150	2号造構 墓土2号	栓	黒?	黒	上6.5cm 下径1.5cm 長さ7.3cm むずかしに漆付付	13	1
WL151	2号造構 墓土2号	しゃもじ	黒?	朱	漆の剥落が薄い	13	1
WL152	2号造構 墓土2号	折敷	黒	黒	厚さ0.4cm 折敷を加工している 斧穴あり	13	1
WL153	2号造構 墓土2号	折敷	黒	黒	無人底板1.3cm 厚さ0.6cm 木釘あり 外面中心部・内縫線部分は漆なし	13	1
WL154	2号造構 墓土2号	折敷	黒	黒	高さ2.1cm 厚さ0.3cm 木釘あり	13	1
WL155	2号造構 墓土2号	折敷	黒	黒	高さ1.1cm 厚さ0.2cm 脚の跡か	13	1
WL156	2号造構 墓土2号	折敷	黒	黒	共幅30.0cm 幅幅26.2cm 高さ5.8cm 厚さ1.3cm 横の脚か	14	1
WL157	2号造構 墓上2号	折敷	朱	黒	長さ31.8cm 幅30.0cm 厚さ0.7cm 木釘あり	14	1
WL158	2号造構 墓土2号	折敷	一	黒	厚さ27.5cm 厚さ0.7cm 内面に漆は無数の跡あり 刺穴あり	14	1
WL159	2号造構 墓土2号	折敷	黒	黒	高さ0.8cm 厚さ0.4cm 木釘あり	14	1
WL160	28号土坑 墓土2号	脚	黒	黒	厚さ0.3cm 脚の跡か	14	1
WL161	2号造構 墓土2号	脚	黒	黒	高さ3.1cm 厚さ0.6cm 木釘あり とじ紐(糊交) あり	15	1
WL162	2号造構 墓土2号	脚	黒	黒	高さ3.0cm 厚さ0.6cm 木釘あり	15	1
WL163	2号造構 墓土2号	脚	黒	黒	高さ3.1cm 厚さ0.5cm 木釘あり	15	1
WL164	18号土坑 墓土2号	脚	黒	黒	高さ1.8cm 厚さ1.0cm 脚の跡か 木釘あり	15	1
WL165	2号造構 墓土2号	脚	黒	黒	高さ1.8cm 厚さ1.0cm 脚の跡か 木釘あり	15	1
WL166	2号造構 墓土2号	箱状製品	黒	一	高さ3.2cm 刺穴あり	15	1
WL167	2号造構 墓土2号	箱状製品	黒	黒	高さ2.5cm 厚さ0.6cm 箱状製品の一基(糊板) 刺穴あり	15	1
WL168	2号造構 墓土2号	箱状製品	黒	黒	高さ3.9cm 厚さ1.0cm 箱状製品の一基(糊板) 刺穴あり	16	1
WL169	2号造構 墓土2号	箱状製品	黒	黒	高さ2.4cm 厚さ0.6cm 箱状製品の一基(糊板) 刺穴あり	16	1
WL170	2号造構 墓土2号	箱状製品	黒	黒	高さ2.6cm 厚さ0.7cm 箱状製品の一基(糊板) 刺穴あり	16	1
WL171	2号造構 墓土2号	部材	黒	黒	高さ1.8cm 厚さ1.9cm はぞあり 下端は後に切削されたか?	16	1
WL172	2号造構 墓土2号	部材	黒	黒	高さ1.0cm 厚さ1.2cm	16	1
WL173	2号造構 墓土2号	部材	黒	黒	長さ32.3cm 厚さ1.2cm 高さ2.7cm 取っ手か?	16	1
WL174	2号造構 墓土2号	部材	黒	黒	刺あり	16	1
WL175	2号造構 墓土2号	部材	黒	黒	長さ9.2cm 幅1.2cm 厚さ0.8cm 中心に孔あり 刺穴あり	16	1
WL176	2号造構 墓土2号	部材	黒	黒	長さ11.3cm 幅1.2cm 高さ3.0cm 取っ手か? 木釘あり	17	1
WL177	2号造構 墓土2号	部材	黒	黒	長さ21.5cm 幅1.0cm 厚さ0.9cm 刺穴あり	17	1
WL178	2号造構 墓土2号	部材	黒	黒	長さ11.6cm 幅1.4cm 厚さ1.0cm 取っ手か? 刺あり	17	1
WL179	2号造構 墓土2号	部材	黒	黒	幅3.0cm 厚さ2.0cm 刺穴あり	17	1
WL180	2号造構 墓土2号	部材	黒	黒	長さ7.7cm 幅1.3cm 厚さ1.2cm 刺穴あり	17	1
WL181	2号造構 墓土2号	不明	黒	黒	長さ12.3cm 幅0.8cm 厚さ0.3cm	17	1
WL182	24号土坑 墓土2号	不明	朱	一	長さ3.2cm 1ヶ所所あり 茶色の漆品か?	17	1
WL183	2号造構 墓土2号	不明	黒	黒	漆製品 幅1.3cm 厚さ0.2cm 亂2ヶ所所あり	17	1
WL184	24号土坑 墓土2号	不明	黒	黒	漆製品 幅1.6cm	17	1
WL185	2号造構 墓土2号	不明	黒	黒	漆製品 幅1.8cm 厚さ0.7cm	17	1
WL186	2号造構 墓土2号	部材	朱	一	文字: 黒 厚さ0.2cm	-	17

表9 武家屋敷地区第7地点出土下駄觀察表
Tab9 Notes on wooden clogs at BK7

登録番号	出土場所	種類	長 cm	幅 cm	高 cm	備考	図	図版
W019	1号造構 墓土3層	丸型連曲下駄	21.3	8.2	3.5	表面に使用による指の凹み	18	18
W050	1号造構 墓上	無駄卯切下駄	15.0	8.3	2.3	釘穴あり 頭面に溝あり	18	18
W051	2号造構 墓土2層	角型露卯差曲下駄	23.3	8.6	3.9	頭面に小石付着	18	18
W052	2号造構 墓土2層	丸型露卯差曲下駄	20.5	7.2	6.7	底面に小石付着	18	18
W053	2号造構 墓土2層	丸型露卯差曲下駄	21.1	7.2	3.1		18	18
W054	2号造構 墓土2層	丸型露卯差曲下駄	14.8	5.2	2.5		18	18
W055	2号造構 墓土2層	角型連曲下駄	24.0	9.5	4.2	底に小石付着	19	18
W056	2号造構 墓土2層	角型連曲下駄	22.0	8.6	3.7		19	18
W057	2号造構 墓土2層	角型連曲下駄	23.2	8.9	3.6	表面に使用による指の凹み 底に小石付着	19	18
W058	2号造構 墓土2層	角型連曲下駄	24.0	9.4	4.8	底面に釘あり	19	19
W059	2号造構 墓土2層	角型連曲下駄	23.0	9.7	5.3	表面に使用による指の凹み 底面に釘あり 底に小石付着	19	19
W060	2号造構 墓土2層	角型連曲下駄	22.0	10.2	3.3	表面に使用による指の凹み 底面に釘あり 底に小石付着	19	19
W061	2号造構 墓土1層	角型連曲下駄	23.5	9.8	3.7	焼印あり	20	19
W062	2号造構 墓土2層	角型連曲下駄	23.0	10.3	4.5	表面に使用による指の凹み 表面に刻み	20	19
W063	2号造構 墓土2層	角型連曲下駄	22.8	9.3	5.8	底面に釘あり 底に小石付着	20	19
W064	2号造構 墓土2層	角型連曲下駄	24.0	9.9	2.6	表面に刻み	20	20
W065	2号造構 墓土2層	角型連曲下駄	23.4	8.7	3.3	底に小石付着 表面に刻み	20	20
W066	2号造構 墓土2層	角型連曲下駄	21.8	8.6	3.2	底に小石付着 表面に刻み	20	20
W067	2号造構 墓土2層	角型連曲下駄	21.9	9.2	3.2	表面に刻み	21	20
W068	2号造構 墓土2層	角型連曲下駄	17.4	6.6	2.8	底に小石付着	21	20
W069	2号造構 墓土2層	角型連曲下駄	21.5	9.3	2.2	底に小石付着	21	20
W070	2号造構 墓土2層	角型連曲下駄	21.3	8.5	2.1	底に小石付着	21	20
W071	2号造構 墓土2層	丸型連曲下駄	22.6	8.7	3.1	底に小石付着	21	21
W072	2号造構 墓土2層	丸型連曲下駄?	22.2	7.5	2.1		21	21
W073	2号造構 墓土2層	丸型連曲下駄	16.1	7.6	2.8	表面に使用による指の凹み 底面に釘あり 底に小石付着	22	21
W074	2号造構 墓土2層	丸型連曲下駄	17.0	6.5	2.4	釘穴あり	22	21
W075	2号造構 墓土2層	丸型連曲下駄?	-	8.0	3.5	釘あり?	22	21
W076	2号造構 墓土2層	丸型連曲下駄	16.2	7.1	3.1	小釘あり	22	21
W077	2号造構 墓土2層	角型連曲下駄	22.5	8.9	4.8	底面に小石付着 頭面に釘穴あり	22	21
W078	2号造構 墓土1層	角型連曲下駄	22.0	9.7	3.6		22	21
W079	2号造構 墓土2層	角型連曲下駄	22.0	9.7	3.7	頭面に刻み	22	21
W080	2号造構 墓土2層	無角下駄	24.2	8.3	2.3	釘あり 底面に小石付着	23	22
W081	2号造構 墓土2層	無角下駄	24.1	8.0	3.3	釘あり 底面に小石付着	23	22
W082	2号造構 墓土2層	無角下駄	23.8	8.2	1.2	底に小石付着 底面に釘穴あり	23	22
W083	18号土坑 墓土7層	角型連曲下駄	22.2	8.8	4.6	底面に小石付着	23	22
W084	24号土坑 墓土2層	角型露卯差曲下駄	23.2	8.9	5.8	底面に小石付着	23	22
W085	20号土坑 底面	角型連曲下駄	21.5	8.2	3.6	底面に小石付着	23	22
W086	28号土坑 墓土2層	角型露卯差曲下駄	23.7	8.3	10.2	底面に小石付着	24	22
W087	15号土坑 墓土2層	丸型例り下駄	23.4	6.3	7.5		24	23
W088	15号土坑 墓土2層	角型連曲下駄	23.9	11.1	4.5	底面に小石付着	24	23
W089	2号土坑 墓土1層	丸型連曲下駄	19.1	6.8	2.8		24	23
W090	2号土坑 墓土	無角下駄	15.0	8.0	2.2		24	23
W091	2号土坑 墓土	無角下駄	19.3	8.7	2.3	底面に小石付着	24	23
W092	2号土坑 墓土	無角下駄	22.6	8.3	2.3	縁表付き	-	23
W093	2号土坑 墓土	角型露卯差曲下駄	20.9	9.2	6.3		25	23
W094	1層・複合	角型例り下駄	22.8	8.0	3.5	底面に小石付着	25	23

表10 武家屋敷地区第7地点出土曲物觀察表
Tab.10 Notes on round vessels shaped by bending and securing a thin sheet of cypress wood at BK7

登録番号	出土場所	直径 cm	高さ cm	備考	図 図版
W095	2号遺構 墓上2b層	13.6	7.3	柄杓の孔 とじ縫(樹皮)残存	25 2
W096	2号遺構 墓上2層	14.9	2.6	完形(盃) とじ縫(樹皮)残存	25 2
W097	2号遺構 墓上2層	5.9	1.5	とじ縫(樹皮)残存	25 2
W098	2号遺構 墓土2b層	6.4	2.6	とじ縫(樹皮)残存	25 2
W099	2号遺構 墓+2b層	8.9	2.8	完形(盃?) とじ縫(樹皮)残存	25 2
W100	2号遺構 墓上2b層	-	8.7	柄杓の孔 柄杓部品残存 とじ縫(樹皮)残存	25 2

表11 武家屋敷地区第7地点出土箸状木製品觀察表
Tab.11 Notes on wooden chopsticks at BK7

登録番号	出土場所	先端形状	全長 mm	最大径 mm	形 形	備 考	図 図版
W101	1号遺構 墓上3層	AA	240.0	7.0	普通		26 24
W102	2号遺構 墓+2b層	AA	208.0	6.8	良		26 24
W103	2号遺構 墓上1層	AA	212.0	6.3	普通		26 24
W104	2号遺構 墓+2b層	AA	215.0	6.0	普通		26 24
W105	2号遺構 墓上	AA	218.0	5.7	普通	先端を尖らせる成形の途中	26 24
W106	2号遺構 墓土2層	AA	215.0	4.6	良		26 24
W107	2号遺構 墓上2層	AA	215.0	5.3	良		26 24
W108	2号遺構 墓土3層	AA	222.0	5.3	普通		26 24
W109	2号遺構 墓土2層	AA	215.0	6.3	普通	先端を尖らせる成形の途中	26 24
W110	2号遺構 墓土2層	AA	215.0	6.6	普通		26 24
W111	2号遺構 墓+1層	AA	204.5	6.3	普通		26 24
W112	2号遺構 墓上1層	AA	211.0	5.4	良		26 24
W113	2号遺構 墓+2b層	AA	231.0	6.0	普通		26 24
W114	2号遺構 墓上2層	AA	214.0	4.7	良		26 24
W115	2号遺構 墓+3層	AA	218.0	6.2	良	炭化	26 25
W116	2号遺構 墓上2層	AA	210.0	6.1	普通	角状	26 25
W117	2号遺構 墓+2層	AB	59.0	5.5	普通		26 25
W118	2号遺構 墓上2層	AB	209.0	5.8	普通		26 25
W119	2号遺構 墓+2層	AB	219.0	5.2	普通		26 25
W120	2号遺構 墓上先端	AB	212.0	5.9	普通		26 25
W121	2号遺構 墓+2層	AC	215.0	6.1	普通		27 25
W122	2号遺構 墓上2層	AC	118.0	4.5	普通		27 25
W123	2号遺構 墓土2層	AC	131.0	5.9	普通		27 25
W124	2号遺構 墓上2層	AD	206.0	6.1	普通		27 25
W125	2号遺構 墓土2層	AE	205.0	6.1	普通		27 25
W126	2号遺構 墓上2層	AE	212.0	5.9	普通		27 25
W127	2号遺構 墓土2層	DC	211.0	5.6	普通		27 25
W128	2号遺構 墓上2層	CF	107.0	5.9	良		27 25
W129	2号遺構 墓下層	BD	208.0	5.9	普通		27 25
W130	1号十坑 墓上13層	AA	213.0	5.8	普通		27 25
W131	18号上坑 墓+2層	AA	205.0	6.2	普通		27 25
W132	24号十坑 墓上3層	AA	215.0	5.0	普通		27 25
W133	24号上坑 墓+3層	AA	214.0	5.9	良		27 25
W134	24号十坑 墓上2層	BC	173.0	5.0	普通		27 25
W135	24号上坑 墓+3層	BD	137.0	5.4	普通		27 25
W136	24号十坑 墓+3層	CD	112.0	5.3	良		27 25
W137	28号上坑 墓+2層	AA	212.0	5.1	普通		27 25
W138	4号井戸 墓上1層	AA	234.0	5.4	普通		27 25
W139	2号上坑 墓土2層	AA	217.0	5.4	良	成形が特に丁寧	27 25

表12 武家屋敷地区第7地点出土桶類観察表
Tab.12 Notes on wooden buckets at BK7

登録番号	出土場所	部 位	特 質 等	図	版
W140	2号遺構 墓上1層	天 板	径23.0cm 厚さ0.9cm やや格円か	28	26
W141	2号遺構 墓上2層	天 板	径49.4cm 厚さ2.9cm 2枚の部品を木釘で接合している	28	26
W142	2号遺構 墓土2層	天 板	径48.6cm 厚さ3.5cm 横穴あり それを糸掛から板をあて鉄釘で留めている	28	26
W143	2号遺構 墓上2層	天 板	径29.0cm 厚さ1.1cm 片面に鉄穴6箇所あり	28	26
W144	2号遺構 墓土2層	天 板	径16.2cm 厚さ1.6cm 横穴あり	28	27
W145	2号遺構 墓上2層	天 板	径23.6cm 厚さ1.4cm 木釘で接合か	29	26
W146	2号遺構 墓上2b層	天 板・側 板	口徑23.7cm 幅径21.3cm 奥高11.2cm 底板厚さ1.1cm 側板13枚 外面に施した痕跡が残存 内面に帯状に焼けた痕跡あり	29	26
W147	2号遺構 墓上2b層	天 板	径50.0cm 厚さ3.2cm 鉄釘が残存 空が付いた状態で残存	29	27
W148	2号遺構 墓土2層	天 板	径27.1cm 厚さ1.2cm 3枚の部品が木釘で接合されている	29	27
W149	溝状遺構新段階埋上2層	天 板	径28.4cm 厚さ1.8cm 2枚の部品を木釘で接合している 横穴あり 焼印あり	30	27
W150	通称設置場	天板・側板	底板径38.8cm 底板厚さ1.7cm 無板14枚	30	28
W151	2号土坑 墓上1層	側 板	焼印あり(當) 同様のものが計7枚ある	30	27
W152	2号土坑 墓上1層	側 板	焼印あり(當) 同様のものが計7枚ある	30	27
W153	18号土坑 墓上2層	側 板	空孔あり	30	27
W154	28号土坑 墓上2層	側 板		30	27

表13 武家屋敷地区第7地点出土栓観察表
Tab.13 Notes on wooden plugs at BK7

登録番号	出土場所	上 径 cm	下 径 cm	長 府 cm	備 考	図	版
W155	2号遺構 墓上2層	1.8	1.2	5.1		31	28
W156	2号遺構 墓土2b層	3.5	3.2	3.3		31	28
W157	2号遺構 墓土2層	3.5	2.5	7.5		31	28
W158	2号遺構 墓上1層	2.3	1.2	11.9		31	28
W159	2号遺構 墓上2層	3.5	1.8	5.4		31	28
W160	2号遺構 墓上2層	1.5	0.6	8.2		31	28
W161	2号遺構 墓上2層	3.3	2.4	4.6		31	28
W162	2号遺構 墓上2層	3.7	2.0	10.7		31	28
W163	2号遺構 墓土2b層	3.0	3.0	9.5		31	28
W164	2号遺構 墓土2b層	3.7×3.0	3.6×2.2	3.2		31	28
W165	2号遺構 墓土2層	2.7×2.1	2.0×0.7	4.7		31	28
W166	2号遺構 墓土3層	2.1	—	7.4		31	28
W167	2号遺構 墓土2層	—	1.1	4.8		31	28
W168	2号遺構 墓上2層	—	1.0	4.8		31	28
W169	2号遺構 墓上	—	0.8	6.5		31	28
W170	27号溝 墓土3層	4.5	1.7	6.5		31	28
W171	1層・搅乱	—	1.1	4.8		31	28

表14 武家屋敷地区第7地点出土円板状木製品観察表
Tab.14 Notes on wooden implements shaped round plate at BK7

登録番号	出土場所	直径 cm	厚さ cm	備考	図 版
W172	1号遺構 墓土3層	25.2	0.6	側面あり	31 28
W173	1号遺構 墓土上2層	6.5	0.5	中央に小孔 樹皮摘み	31 28
W174	2号遺構 墓土2層	5.1	0.5	樹皮摘み 中央に小孔あり	31 28
W175	2号遺構 墓土2層	20.0	0.8	中央に小孔 片面にキズあり	32 29
W176	2号遺構 墓土上2層	11.0	0.8	側面あり 鉄針あり	32 29
W177	2号遺構 墓土2層	6.4	0.5	中央に小孔 樹皮摘み	32 29
W178	2号遺構 墓土2層	5.8	0.4	中央に小孔	32 29
W179	2号遺構 墓土2層東岸 -活	5.8	0.3	中央に小孔 片面に刻みの文様あり	32 29
W180	2号遺構 墓土2層	13.2	0.8	側面に木釘 3ヶ所	32 29
W181	2号遺構 墓土2層東岸 -活	14.6	0.8	側面に木釘 5ヶ所 釘穴 1ヶ所	32 29
W182	2号遺構 墓土2層	10.6	0.9		32 29
W183	2号遺構 墓土2層	21.0	1.0	鉄針 釘穴あり 片面には木材が接合していた痕跡あり	32 29
W184	2号遺構 墓土2層	23.0	0.6	側面に釘穴 2ヶ所	33 30
W185	2号遺構 墓土2層	8.6	0.7	側面に木釘 1ヶ所 釘穴 3ヶ所	33 30
W186	2号遺構 墓土2層	5.2	0.6	中央に小孔 樹皮に刻み	33 30
W187	2号遺構 墓土2層	11.4	0.7	小孔 片面に刻みあり 樹皮摘み	33 30
W188	2号遺構 墓土最下層	17.1	0.3	木釘 3ヶ所 釘穴 2ヶ所	33 30
W189	4号土坑 墓土2層	9.0	0.9	樹皮摘み	33 30
W190	27号溝 墓土3層	3.2	0.5	側面は両取りされている	33 30

表15 武家屋敷地区第7地点出土へら状木製品観察表
Tab.15 Notes on wooden spatulas at BK7

登録番号	出土場所	種類	長さ cm	幅 cm	厚さ cm	備考	図 版
W201	2号遺構 墓土2層	A	14.8	7.2	0.6		34 31
W202	2号遺構 墓土2層	A	15.2	4.2	0.4		34 31
W203	2号遺構 墓土2層	A	13.7	-	0.3		34 31
W204	2号遺構 墓土2層	A	23.2	7.6	0.3		34 31
W205	2号遺構 墓土2層	A	14.0	5.8	0.2		34 31
W206	2号遺構 墓土2層	A	11.6	7.7	0.4	刻み「や」「き」	34 31
W207	2号遺構 墓土2層	B	25.2	3.4	0.2		34 31
W208	2号遺構 墓土2層	B	26.8	2.6	0.3		34 31
W209	2号遺構 墓土2層	B	29.6	5.3	0.7		34 31
W210	2号遺構 墓土2層	B	20.5	2.8	0.5		34 31
W211	2号遺構 墓土2層	B	31.0	5.1	0.4		35 31
W212	2号遺構 墓土2層	B	29.8	2.6	1.6		35 32
W213	2号遺構 墓土2層	B	19.0	2.5	0.3		35 32
W214	2号遺構 墓土2層	C	-	10.5	1.1		35 32
W215	24号土坑 墓土3層	B	23.0	4.1	0.3		35 32
W216	24号土坑 墓土2層	A	16.8	7.3	0.4		35 32
W217	24号土坑 墓土3層	A	16.0	7.5	0.3		35 32
W218	24号土坑 墓土2層	C	78.0	-	2.5		36 32

表16 武家屋敷地区第7地点出土楔觀察表
Tab.16 Notes on wooden implements shaped wedge at BK7

登録番号	出土場所	長さ cm	幅 cm	厚さ cm	国 固版
W191	2号遺構 墓土2層	15.0	3.3	3.0	33 30
W192	2号遺構 墓土2層	12.8	2.4	1.2	33 30
W193	2号遺構 墓土2層	6.0	3.5	1.1	33 30
W194	15号土坑 墓土2層	9.2	2.4	1.7	33 30
W195	2号遺構 墓土2層	8.2	1.6	1.4	33 30
W196	24号土坑 墓土3層	11.8	—	1.6	33 30
W197	24号土坑 墓土3層	10.9	4.3	1.0	33 30
W198	2号遺構 墓土2層	4.6	1.1	0.9	33 30
W199	2号遺構 墓土2層	20.5	2.4	1.6	33 30
W200	2号遺構 墓土2層	17.6	1.6	3.7	33 30

表17 武家屋敷地区第7地点出土柄状木製品観察表
Tab.17 Notes on wooden handles at BK7

登録番号	出土場所	種類	長さ cm	幅 cm	厚さ cm	備考	国 固版
W219	2号遺構 墓土2層	A	54.9	3.1	1.0	斜穴あり 刻りによる文様	36 33
W220	2号遺構 墓土2層	A	41.1	2.5	1.3	斜穴あり	37 33
W221	2号遺構 墓土2層	B	26.4	2.2	1.0	斜穴あり 端部に孔あり	37 33
W222	2号遺構 墓土1層	B	31.9	1.5	0.6	斜穴あり	37 33
W223	2号遺構 墓土2層	F	17.8	1.6	1.0	端部に孔あり	37 33
W224	2号土坑 墓土	D	15.2	1.5	1.5		37 33
W225	24号土坑 墓土3層	D	32.6	1.3	1.2		37 33
W226	24号土坑 墓土3層	A	65.2	3.9	1.5	斜穴あり	37 33
W227	15号土坑 墓土2層	C	49.0	3.2	2.1	斜穴あり 端部に孔あり	37 33

表18 武家屋敷地区第7地点出土竹製品観察表
Tab.18 Notes on various bamboo implements at BK7

登録番号	出土場所	種類	法規	備考	国 固版
W310	15号土坑 墓土2層	ものさし	厚さ0.2cm	1日盛は約1寸	49 42
W311	15号土坑 墓土2層	不明	長さ8.3cm 幅2.8cm 厚さ0.7cm		49 42
W312	15号土坑 墓土2層	手元口クロ	幅3.6cm	他の手元口クロ	49 42
W313	2号遺構 墓土2層	不明	長さ22.5cm 幅2.1cm 厚さ0.6cm	孔あり	49 42
W314	2号溝 取土3層	不明	長さ319.4cm 径2.8cm	刻み・孔あり	49 42
W315	2号遺構 墓土2層	編籠		黒色の塗り?	49 42
W316	1号遺構 墓土3層	編籠		黒色の塗り?	49 42
W317	2号遺構 墓土2層	編籠			49 42

表19 武家屋敷地区第7地点出土その他の木製品観察表(1)
Tab.19 Notes on various wooden implements at BK7 (1)

登録番号	出土場所	種類	法量	特徴	国	四段
W228	2号遺構 墓上2層	鉢	長さ36.7cm 幅12.5cm 厚さ2.6cm	身のみ	38	34
W229	2号土坑 墓上1層	鉢	長さ32.5cm 幅11.9cm 厚さ4.2cm	柄と身が一体	38	34
W230	2号溝 墓土	鉢	柄:長さ81.5cm 厚さ3.7cm 身:長さ34.2cm 幅15.5cm 厚さ2.6cm	柄と身が分離	38	34
W231	2号遺構 墓土4層	鉢物(槽)	幅46.5cm 高さ27.0cm		39	35
W232	2号遺構 墓上2b層	鉢物	長径48.0cm 短径35.0cm 高さ10.0cm	炭化物?付着	39	35
W233	2号遺構 墓上2b層	鉢物	口径9.5cm 底径7.2cm 器高1.5cm		39	35
W234	2号遺構 墓土4層	鉢物(槽)	幅38.0cm 高さ11.0cm		-	35
W235	2号土坑 墓土1層	建築部材?	長さ80.6cm 幅2.6cm 厚さ2.8cm	唐あり	40	35
W236	2号遺構 墓土2層	鉢状桶	幅10.4cm 長軸22.5cm 短軸17.0cm 厚さ2.4cm	溝・底部に鉄穴あり	40	35
W237	2号遺構 墓土2層	鉢状桶	幅11.6cm 長軸26.3cm 短軸18.7cm 厚さ2.3cm	側面に鉄穴あり	40	35
W238	2号遺構 墓土2層	鉢状桶(持ち手)	長さ28.4cm 幅6.2cm 厚さ4.5cm	中央に孔があり、鉢底の跡も手部分にあるか	40	35
W239	2号遺構 墓上2b層	鉢材	長さ29.9cm 幅6.4cm 厚さ4.6cm	端部に鉄釘あり 壁に前の木質が残存	40	35
W240	2号遺構 墓土2層	鉢材	長さ29.8cm 幅4.0cm 厚さ4.4cm	端部に鉄釘あり	40	35
W241	2号土坑 墓土3層	駒形木製品	幅15.0cm 横9.8cm 厚さ3.8cm	尾は金具	41	37
W242	2号遺構 墓上2層	駒形木製品	幅11.0cm 幅6.5cm 厚さ2.1cm	馬のたてがみ部分には孔あり 底部は差し込める形状	41	37
W243	2号遺構 墓上2層	駒形木製品	幅3.3cm	尾に穿孔あり 一枚部分に板材が残存	41	37
W244	2号遺構 墓上2層	駒形木製品	幅11.6cm 横6.7cm 厚さ2.1cm	馬のたてがみ部分には孔あり 底部は差し込める形状	41	37
W245	2号遺構 墓土2層	駒形木製品	幅8.9cm 厚さ4.4cm	馬のたてがみ部分には孔あり	42	37
W246	2号遺構 墓上2b層	鳥形木製品	幅4.5cm 横8.8cm 厚さ1.2cm	鉄穴2ヶ所あり	42	37
W247	2号遺構 墓上2層	コマ状製品	長さ4.0cm 幅2.9cm		42	37
W248	2号遺構 墓土2層	コマ状製品	長さ4.2cm 幅4.2cm		42	37
W249	2号土坑 墓上1層	コマ状製品	長さ7.7cm 幅3.9cm		42	37
W250	2号遺構 墓土2層	ミニチュア(下駄)	長さ5.1cm 幅2.0cm 厚さ1.8cm		42	37
W251	2号遺構 墓上2層	竹とんぼ	長さ12.5cm 幅1.8cm 厚さ0.4cm	木製 中心に孔あり	42	37
W252	2号遺構 墓上2層	竹とんぼ	長さ15.0cm 幅1.1cm 厚さ0.7cm	木製 中心の孔には本質が残存	42	37
W253	2号遺構 墓土2層	羽子板	幅9.5cm 厚さ0.6cm	片面には細かい傷がある	42	37
W254	2号遺構 墓上2層	耳かき	長さ21.3cm 幅0.6cm		43	38
W255	2号遺構 墓土2層	耳かき	長さ11.8cm 幅0.5cm		43	38
W256	2号遺構 墓土2層	扇子			43	38
W257	2号遺構 墓上2層	团扇			43	38
W258	2号遺構 墓土3層	物差			43	38
W259	2号土坑 墓上1層	鏡	幅4.3cm 厚さ0.6cm		43	38
W260	2号遺構 墓土2層	鏡	幅4.5cm 厚さ0.9cm		43	38
W261	2号遺構 墓土2層	刷毛	長さ11.9cm 幅7.8cm 厚さ2.0cm	木製・鉄穴・穿孔あり	43	38
W262	2号遺構 墓土3層	刷毛	長さ11.7cm 厚さ8.5cm	木製・鉄穴・穿孔あり	43	38
W263	2号遺構 墓土1層	刷毛	長さ14.5cm 厚さ0.5cm		43	38
W264	2号遺構 墓土2層	羅?	長さ13.1cm 幅1.9cm	金属類が残存	43	38
W265	2号遺構 墓土2層	灯明台			44	38
W266	2号遺構 墓土2層	灯明台		2つの部材が組み合う 底部に木釘の跡あり	44	38
W267	2号土坑 墓土3層	灯明台			44	38

表20 武家屋敷地区第7地点出土その他の木製品観察表(2)
Tab.20 Notes on various wooden implements at BK7 (2)

登録番号	出土場所	種類	法量	特徴	回	回版
W268	2号遺構 埋土2b層	灯明台	長径11.0cm 幅径10.9cm 厚さ1.5cm	中央に鉄釘あり 灯明台(透光台)の底部分	44	39
W269	2号遺構 埋土2b層	砥石台	長さ17.8cm 幅5.4cm 厚さ3.0cm		44	39
W270	2号遺構 埋土2b層	匁	長さ7.9cm 幅2.7cm 厚さ1.4cm	匁丁の柄か 金属部分が残る	44	39
W271	2号遺構 埋土2b層	山状製品	長さ18.7cm 幅0.8cm 厚さ3.0cm		44	39
W272	2号遺構 埋土2b層	木状製品	長さ14.4cm 幅0.8cm 厚さ3.0cm		44	39
W273	2号遺構 埋土3層	折筒み枕	長さ34.8cm 幅7.5cm 厚さ3.2cm		45	39
W274	1号遺構 埋土3層	筋	長さ27.2cm 幅4.2cm 厚さ3.0cm		45	39
W275	2号遺構 埋土2層	手元ろくろ	径5.9cm	掌の器品	45	39
W276	24号土坑 埋土2層	柄杓製品	長さ13.8cm 幅3.1cm 厚さ2.3cm	柄杓の柄を取り付けるための穿孔あり	45	39
W277	1号遺構 埋土3層	柄杓部品	長さ10.4cm 幅1.9cm 厚さ0.9cm	柄杓の柄を取り付けるための穿孔あり 鉄釘残存	45	39
W278	2号遺構 埋土2層	不明	縦6.3cm 横3.4cm 厚さ0.4cm		45	39
W279	2号遺構 埋土2b層	戸車?	径5.2cm 厚さ1.5cm		45	39
W280	2号遺構 埋土2層	折敷?	一边5.5×3.7cm 厚さ0.3cm		45	39
W281	2号遺構 埋土2層	折敷	一边16.4cm 高さ2.2cm	調板と底板は鋭皮継で固定 底板に2ヶ所の穿孔あり	45	39
W282	2号遺構 埋土2層	猪目慈魚?	長さ17.0cm 幅13.0cm 厚さ0.6cm	中央にハート型の掘り穴がある	46	40
W283	2号遺構 埋土2b層	台座	長さ20.9cm 幅6.1cm 厚さ5.8cm	何かの台座部分になるか	46	40
W284	15号土坑 埋土2層	箱状製品	長さ21.1cm 幅14.5cm 高さ3.4cm	木釘あり 内面は黒色の塗り	46	40
W285	2号遺構 埋土2b層	不明	長さ21.5cm 幅6.5cm 厚さ0.7cm	箱状製品の蓋か	46	40
W286	2号遺構 埋土2b層	調度部材	長さ5.9cm 径1.0cm	丸みを帯びた八角形で、上面と底面に 孔あり 調度品の装飾部分か	46	40
W287	2号遺構 埋土2b層	棒ち手	長さ23.4cm 幅1.7cm 厚さ5.48cm	木釘4ヶ所あり 何かの持ち手部分か	46	40
W288	2号遺構 埋土2層	不明	長さ19.0cm 幅3.8cm 厚さ2.9cm	穿孔4ヶ所あり	47	41
W289	2号遺構 埋土2b層	不明	長さ18.5cm 最大径4.3cm	木釘1ヶ所 穿孔4ヶ所	47	41
W290	24号土坑 埋土3層	不明	長さ21.6cm 幅1.1cm 厚さ1.3cm	底面に釘穴があり、蓋の持ち手になるか	47	41
W291	2号遺構 埋土2層	不明	長さ13.4cm 幅10.3cm 厚さ0.7cm		47	41
W292	2号遺構 埋土2層	不明	径16.2cm 厚さ0.8cm		47	41
W293	2号遺構 埋土1層	不明	長さ7.3cm 幅0.9cm 厚さ0.9cm	穿孔2ヶ所あり	47	41
W294	2号遺構 埋土2b層	不明	縦4.3cm 横5.4cm 厚さ0.8cm		47	41
W295	2号遺構 埋土2層	不明	縦4.5cm 横8.0cm 厚さ0.5cm		47	41
W296	2号遺構 埋土2層	不明	長辺5.3cm 短辺4.9cm 厚さ0.8cm		47	41
W297	2号遺構 埋土2層	陽物	長さ15.1cm 幅1.5cm 厚さ0.3cm		47	41
W298	2号遺構 埋土2b層	不明	縦2.1cm 厚さ0.2cm	木羽を成形したか	47	41
W299	2号遺構 埋土2層	不明	縦5.4cm 厚さ0.9cm	片面に格子状の刻みあり	48	41
W300	2号遺構 埋土2層	不明		織剤による文字あり	48	41
W301	2号遺構 埋土2層	不明		織剤による文字あり	48	41
W302	2号遺構 埋土2b層	不明		織剤による文字あり	48	41
W303	2号遺構 埋土2層	不明		織剤で人面を描く	48	42
W304	2号遺構 埋土2層	不明	縦9.5cm 厚さ0.2cm	織剤による文様あり	48	42
W305	2号遺構 埋土2層	不明	厚さ0.1cm	寛永通宝の焼印あり	48	42
W306	2号遺構 埋土2b層	不明	径1.6cm	棒状のものに竹絆を編みこむ	-	42
W307	2号遺構 埋土3層	不明		織機状のものを縄で縛っている	-	42
W308	2号遺構 埋土1層	繩	径0.3cm		-	42
W309	2号遺構 埋土2層	繩	径1.0cm		-	42

表21 武家屋敷地区第7地点出土古錢觀察表(1)
Tab.21 Notes on coins at BK7 (1)

登録番号	出土地所	銭名	外径 (mm)	穿径 (mm)	重量 (g)	備考	図 図版
MC01	13号土坑 砖土	寛永通寶(古寛永)	24.0	6.0	1.0	完形	50 43
MC02	13号土坑 砖土	天聖元寶(兼吉)	24.0	7.0	3.3	一部欠損 北宋(1023年初鑄)	50 43
MC03	12号溝 磚上1層	寛永通寶	-	-	0.6	1/2欠損	50 43
MC04	28号溝 砖土1層	洪武通寶	23.0	6.0	1.9	完形 明(1368年初鑄)	50 43
MC05	1号遺構 砖土2層	享保 分金	-	-	4.4	完形 直17mm 橫10mm	50 43
MC06	1号遺構 磚上3層	寛永通寶(古寛永)	24.0	6.0	1.1	一部欠損 「ハネ水」 銘化頭著	50 43
MC07	1号遺構 磚上3層	永常通寶	24.0	6.0	1.9	完形 一部欠形	50 43
MC08	1号遺構 砖土3層	寛永通寶(新寛永)	-	7.0	1.3	一部欠損 新化頭著	50 43
MC09	2号遺構 砖土1層	寛永通寶(新寛永)	25.0	6.0	3.6	完形	50 43
MC10	2号遺構 磚上1層	寛永通寶(新寛永)	23.0	7.0	2.6	完形 「皆源永」	50 43
MC11	2号遺構 砖土1層	寛永通寶(新寛永)	25.0	6.0	2.9	完形	50 43
MC12	2号遺構 砖土1層	不明	23.0	6.0	1.9	一部欠損 銘化頭著	50 43
MC13	2号遺構 砖土1層	寛永通寶(古寛永)	24.0	6.0	3.6	完形	50 43
MC14	2号遺構 磚上1層	寛永通寶(古寛永)	24.0	5.0	2.9	完形	50 43
MC15	2号遺構 磚上1層	寛永通寶(新対照) ?	24.0	7.0	1.8	表面凹落 銘化頭著	50 43
MC16	2号遺構 砖土2層	寛永通寶(新対照)	25.0	6.0	3.6	完形 背文「文」	50 43
MC17	2号遺構 砖土2層	寛永通寶(新対照)	24.0	6.0	2.8	完形	50 43
MC18	2号遺構 砖土2層	寛永通寶(新対照)	23.0	7.0	2.8	完形 「角源永」	50 43
MC19	2号遺構 磚上2層	寛永通寶(新対照)	23.0	6.0	2.2	完形	50 43
MC20	2号遺構 砖土2層	寛永通寶(古対照)	24.0	6.0	2.3	完形	50 43
MC21	2号遺構 砖土2層	寛永通寶(古対照)	25.0	6.0	2.4	完形	50 43
MC22	2号遺構 砖土2層	寛永通寶(新対照)	23.0	7.0	2.3	ごく一部欠損 銘化頭著	50 43
MC23	2号遺構 磚上2層	寛永通寶(新対照)	23.0	6.0	1.9	完形	50 43
MC24	2号遺構 磚上2層	寛永通寶(新対照)	24.0	6.0	3.0	完形	50 43
MC25	2号遺構 砖土2層	永樂通寶?	-	-	0.5	1/2欠損	50 43
MC26	2号遺構 砖土2層	波素銕	25.0	7.0	3.6	完形 皇帝通寶(北宋1039年初鑄) か	51 44
MC27	2号遺構 磚上2層	寛永通寶(新対照)	24.0	7.0	1.9	完形	51 44
MC28	2号遺構 磚上2層	寛永通寶(新対照)	25.0	6.0	3.2	完形 背文「文」	51 44
MC29	2号遺構 砖土2層	洪武通寶(古対照)	25.0	6.0	2.6	完形	51 44
MC30	2号遺構 砖土2層	寛永通寶(新対照)	25.0	6.0	3.1	完形 背文「文」	51 44
MC31	2号遺構 砖土2層	寛永通寶	23.0	6.0	3.2	完形	51 44
MC32	2号遺構 砖土2層	寛永通寶(新対照)	26.0	6.0	4.0	完形	51 44
MC33	2号遺構 磚上2層	寛永通寶	-	-	1.7	1/4欠損 銘化頭著	51 44
MC34	2号遺構 砖土2層	寛永通寶(古対照)	24.0	5.0	1.5	一部欠損 銘化頭著	51 44
MC35	2号遺構 砖土2層	寛永通寶(新対照)	22.0	7.0	1.2	一部欠損 「賀源永」	51 44
MC36	2号遺構 砖土2層	寛永通寶(新対照)	24.0	7.0	3.0	完形	51 44
MC37	2号遺構 砖土2層	寛永通寶(新対照)	22.0	6.0	3.0	完形	51 44
MC38	2号遺構 磚上2層	寛永通寶(新対照)	22.0	7.0	1.7	ごく一部欠損	51 44
MC39	2号遺構 磚上2層	寛永通寶(新対照)	23.0	6.0	2.4	完形	51 44
MC40	2号遺構 砖土2層	寛永通寶(新対照)	22.0	7.0	2.5	ごく一部欠損 銘化頭著	51 44
MC41	2号遺構 砖土2層	寛永通寶(古対照)	24.0	5.0	3.6	完形	51 44
MC42	2号遺構 砖土2層	寛永通寶(新対照)	25.0	6.0	3.3	完形 背文「文」	51 44
MC43	2号遺構 磚上2層	寛永通寶(古対照)	24.0	5.0	3.0	完形	51 44
MC44	5号溝 坑上	寛永通寶(新対照)	-	-	0.5	1/2欠損 銘化頭著 「延尾永」	51 44

表22 武家屋敷地区第7地点出土古銭觀察表(2)
Tab.22 Notes on coins at BK7 (2)

登録番号	出土場所	銭名	外径 (mm)	穿孔 (mm)	重量 (g)	備考	図 同版
MC45	9号溝 残土上	寛永通寶(新寛永)	22.0	7.0	1.3	- 部欠損 鑄化顯著 「管派水」	51 44
MC46	9号溝 残土上	寛永通寶(新寛永)	23.0	6.0	1.6	- 部欠損 鑄化顯著 「管派水」	51 44
MC47	22号溝 残土	寛永通寶	-	-	0.9	1/2欠損 鑄化顯著	51 44
MC48	15号土坑 残土1層	寛永通寶(新寛永)	25.0	6.0	2.7	完形 背文「文」	51 44
MC49	15号土坑 残土1層	洪武通寶	23.0	6.0	2.3	1/2完形 明(1368年初鑄)	52 41
MC50	24号土坑 残土1・2層	寛永通寶(新寛永)	25.0	6.0	2.8	完形	52 45
MC51	24号土坑 残土2層	寛永通寶(新寛永)	23.0	6.0	2.2	完形	52 45
MC52	24号土坑 残土2層	寛永通寶	23.6	7.3	-	完形 鉄錢 鑄化顯著 MC52~54結合	- 45
MC53	24号土坑 残土2層	寛永通寶	23.6	7.3	-	完形 鉄錢 鑄化顯著 MC52~54結合	- 45
MC54	24号土坑 残土2層	寛永通寶	23.6	7.3	-	完形 鉄錢 鑄化顯著 MC52~54結合	- 45
MC55	H-10 3a層	寛永通寶(新寛永)	23.0	6.0	2.9	完形	52 45
MC56	池状遺構新段階埋土	寛永通寶(新寛永)	22.2	7.3	2.1	鉄錢 完形 鑄化顯著 背文「十？」	52 45
MC57	池状遺構新段階埋土1層	寛永通寶(新寛永)	22.0	7.0	1.2	- 部欠損 鑄化顯著	52 45
MC58	池状遺構新段階埋土2層	寛永通寶(四文銘)	28.0	7.1	4.5	鉄錢 完形 鑄化顯著 背文「丁」「渡」	52 45
MC59	2号土坑 残土1層	小明	-	-	-	1/2残存 鑄化顯著 全体が破損	- -
MC60	7号溝 残土	寛永通寶	-	7.0	0.5	1/2欠損 鑄化顯著	52 45
MC61	1号土坑 残土1層	寛永通寶(古寛永)	23.0	6.0	1.3	ごく一部欠損 鑄化顯著	52 45
MC62	B-8 2層	寛永通寶(古寛永)	24.0	6.0	1.5	完形	52 45
MC63	D-2 2層	寛永通寶(新寛永)	22.0	6.0	1.6	完形 鑄化顯著	52 45
MC64	D-10 2層	寛永通寶(古寛永)	24.0	6.0	2.0	完形 鑄化顯著	52 45
MC65	F-3 2層	寛永通寶(新寛永)	24.0	6.0	2.5	完形 鑄化顯著	52 45
MC66	F-4 2層	不明	-	-	-	1/2欠損 鑄化顯著	- -
MC67	H-5 2層	開寧元寶(兼吉)	23.0	6.0	1.9	完形 北宋(1068年初鑄) 鑄化顯著	52 45
MC68	H-10 2層	寛永通寶(新寛永)	23.0	7.0	1.9	ごく一部欠損	52 45
MC69	I-10 2層	寛永通寶	22.0	7.0	1.1	一部欠損 鑄化顯著	- 45
MC70	1層・撲乳	寛永通寶(古寛永)	25.0	6.0	3.3	完形	52 45
MC71	1層・撲乳	寛永通寶(新寛永)	25.0	6.0	2.0	ごく一部欠損 鑄化顯著	52 45
MC72	1層・撲乳	寛永通寶(古寛永)	22.0	7.0	1.3	完形	52 45
MC73	1層・撲乳	寛永通寶(新寛永)	23.0	6.0	1.8	完形 「虎の尾寛」	52 45
MC74	1層・撲乳	寛永通寶(古寛永)	26.0	6.0	2.5	ごく一部欠損	52 45
MC75	1層・撲乳	寛永通寶(古寛永)	25.0	6.0	2.8	完形	52 45
MC76	1層・撲乳	元祐通寶(兼吉)	24.0	6.0	2.0	北宋(1093年初鑄) 鑄化顯著 ごく一部欠損	52 45
MC77	1層・撲乳	元祐通寶(兼吉)	24.0	7.0	1.7	北宋(1078年初鑄) 鑄化顯著 一部欠損	52 45
MC78	1層・撲乳	寛永通寶(古寛永)	24.0	6.0	2.8	完形	52 45
MC79	1層・撲乳	寛永通寶(新寛永)	-	6.0	1.3	1/2欠損	- 46
MC80	1層・撲乳	1セントコイン	19.0	-	2.9	完形	- 46

表23 武家屋敷地区第7地点出土煙管雁首観察表
Tab.23 Notes on pipes (stems and bowls) at BK7

登録番号	出土場所	全體形状	火皿形状	接合方法	青 部 アワセメ	全長 (mm)	火皿直径 (mm)	ラク口直径 (mm)	備 考	国	国版
MO01	2号遺構 墓土3層	II B	la	3	右上	64.5	10.5	10.0		53	45
MO02	2号遺構 墓土2層	II B	la	2	左	65.0	16.0	10.5		53	45
MO03	2号遺構 墓土2層	II B	la	3	左	55.0	16.7	11.0		53	45
MO04	2号遺構 墓土2層	II B	la	3	左	47.5	15.0	10.0		53	45
MO05	2号遺構 墓土1層	II B	la	3	左	40	14.5	10.0		53	45
MO06	16号土坑 墓土	II B		3	上	—	—	9.2	火皿なし	53	45
MO07	池状遺構新段階埋土3層	II B	la	2	左	60.0	11.5	10.2		53	45

表24 武家屋敷地区第7地点出土煙管吸口観察表
Tab.23 Notes on pipes mouth pipes) at BK7

登録番号	出土場所	全體形状	全長 (mm)	ラク口直径 (mm)	吸口直径 (mm)	備 考	国	国版
MO08	2号遺構 墓土2層	II A	41.0	11.0	3.5		53	45
MO09	2号遺構 墓土2層	II A	38.0	12.5	5.2		53	45
MO10	2号遺構 墓土2層	II B	53.0	9.0	4.0	ラク付	53	45
MO11	2号遺構 墓土2層	II B	93.0	9.0	4.2		53	45
MO12	2号遺構 墓土2層	II B	65.3	9.5	4.5		53	45
MO13	2号遺構 墓土2層	II B	62.0	8.2	3.5		53	45
MO14	2号遺構 墓土2層	II B	59.5	9.0	3.5		53	45
MO15	2号遺構 墓土1層	II B	55.0	9.0	3.0	ラク付	53	45
MO16	2号遺構 墓土2層	II B	50.0	8.5	3.7	ラク付	53	45
MO17	4号土坑 墓土1層	II B	55.0	6.5	3.0	ラク部分に返し付?	53	45
MO18	池状遺構新段階埋土3層	II B	57.3	11.3	4.3		53	45

表25 武家屋敷地区第7地点出土その他の銅製品観察表
Tab.25 Notes on various implements made of copper at BK7

登録番号	出土場所	種 類	特徴・法量など	国	国版
MO19	1号遺構 墓土3層	物差	長さ152.5mm 幅8.0mm 一端で留めており、くの字形に細く大きな目皿1つが1寸 金体で約寸	54	46
MO20	2号遺構 墓土3層	彫り金具	幅16.6mm 厚さ0.5mm 斧穴あり	54	46
MO21	2号遺構 墓土2層	取っ手	長さ44.0mm 幅21.0mm 厚さ3.5mm	54	46
MO22	2号遺構 墓土3層	杓子?	幅91.1mm 厚さ1.0mm	54	47
MO23	2号遺構 墓土2層	鉄被坏	厚さ0.4mm 銅鏡による文様	54	47
MO24	2号遺構 墓土2層	小明	幅8.0mm 箔の芯に施を巻きつける	54	47
MO25	2号遺構 墓土2層	鉤	長さ59.9mm 幅5.5mm	54	47
MO26	2号遺構 墓土2層	麻貫銭	幅22.9mm 厚さ1.0mm	54	47
MO27	1号井戸 墓土1層	彫り金具	厚さ1.3mm	54	47
MO28	1号井戸 墓土3層	鎖	残存長155.0mm	—	47
MO29	20号土坑 墓土2層	矢立の蓋	長さ26.3mm 幅27.6mm 厚さ0.5mm	54	47
MO30	24号土坑 墓土1・2層	小明	長さ80.0mm 幅大約16.2mm 厚さ3.6mm	55	47
MO31	28号土坑 墓土2層	承清	長さ59.4mm 幅31.5mm 厚さ11.2mm	55	47
MO32	3a層	小明	幅26.0mm 厚さ0.6mm	55	47
MO33		不明	径7.0mm	55	47
MO34	15号土坑 墓土1層	鑑	長さ89.0mm 幅55.5mm 片部分は頭装 曲部分は木製	55	47
MO35	池状遺構新段階埋土2層	杓子?	最大幅61.2mm 厚さ0.6mm	55	47
MO36	2号土坑 墓土1層	匙	長さ78mm 幅11.5mm 厚さ1.1mm 内端に大小の巻が付く	55	47
MO37	2号土坑 墓土1層	不明	径2.6mm	55	47
MO38	2号土坑 墓土1層	不明	鋼の芯に施を巻きつける	—	47
MO39	1号井戸 井25	不明	鋼の芯に施を巻きつける	—	47

表26 武家屋敷地区第7地点出土その他の鉄製品観察表
Tab.26 Notes on various implements made of iron at BK7

登録番号	出土場所	種類	特徴・法量など	国	国版
M040	2号遺構 墓土1層	不明		55	48
M041	2号遺構 墓土2層	不明		55	48
M042	2号遺構 墓土2層	鉗	柄は木製	55	48
M043	2号遺構 墓土2b層	火薬	長さ127.0mm 最大径5.7mm	55	48
M044	2号遺構 墓土2b層	毛抜き		55	48
M045	2号遺構 墓土2層	火薬	長さ378.0mm 最大径6.2mm	55	48
M046	2号遺構 墓土2b層	不明		55	48
M047	2号遺構 墓土2層	不明		55	48
M048	2号遺構 墓土3層	小鉗	刃部分は鉄製 柄部分は銅製か	55	48
M049	2号遺構 墓土2層	小鉗	刃部分は鉄製 柄部分は銅製	55	48

表27 武家屋敷地区第7地点出土その他の鉛製品観察表
Tab.27 Notes on various implements made of lead at BK7

登録番号	出土場所	種類	法量など	国	国版
M050	12号窓 墓土1層	不明	厚さ5.0mm	55	48
M051	2号遺構 墓土2層	不明	深さ19.9mm 厚さ3.3mm	55	48
M052	池状遺構新段階底面	鉗	長さ33.0mm 幅9.3mm 厚さ3.6mm	55	48

表28 武家屋敷地区第7地点出土石器・石製品観察表
Tab.28 Notes on stone tools and stone implements at BK7

登録番号	出土場所	種類	石材	特徴	国	国版
S01	G-10 2層下部	石斧	頁岩		55	49
S02	2号遺構 墓土1層	石斧	頁岩	部分欠損	55	49
S03	H-10 2層	石斧	鈍石		55	49
S04	4号十坑 墓土2層	火打石	メノウ		55	49
S05	24号上坑 墓土1・2層	火打石	メノウ		55	49
S06	27号窓 墓土4層	火打石	メノウ		55	49
S07	H-10 3a層	火打石	メノウ		55	49
S08	池状遺構新段階埋土3層	火打石	メノウ		55	49
S09	1号柱列 A15	火打石	メノウ		55	49
S10	ピット78 墓土	火打石	水晶		55	49
S11	ピット78 墓土	火打石	メノウ		55	49
S12	ピット111 墓土1層	火打石	メノウ		55	49
S13	20号上坑 墓土1層	砥石	粘板岩		55	49
S14	2号遺構 墓土2層	鏡	粘板岩	墨の痕跡が残る	55	49
S15	2号遺構 墓土2b層	鏡	粘板岩	切削?	55	49
S16	15号十坑 墓土2層	鏡	粘板岩	墨の痕跡が残る 陸中央にくぼみ	55	49
S17	20号窓 墓土	鏡	粘板岩	墨の痕跡が残る	55	50
S18	1層・複乱	鏡	粘板岩	文字縦刻「生永七年人□村三月十八日」か	55	50
S19	1層・複乱	鏡	紫青石		55	50
S20	1層・複乱	鏡	粘板岩	赤色の墨跡が残る	55	50

表29 武家屋敷地区第7地点出土その他の遺物観察表
Tab.29 Notes on various implements at BK7

登録番号	出土場所	種類	材質	特 記	国	国版
G01	2号遺構 墓土1層	容器?	ガラス	茶褐色	-	50
G02	15号十坑 墓土2層	不明	ガラス	ねじりのモチーフ 瓶や瓶等か? 約0.2mm	-	50
OT01	18号上坑 墓土1層	不明	不明	欠損面に空孔の痕跡あり	-	50

〈引用・参考文献〉

- 青山礼志 1982 「新訂貨幣手帳」
- 秋間芳夫 1980 「木工具・使用法－機能・種類・仕立て・使い方－」
- 朝倉治彦・柏川修一編 「守貞謹稿」第一巻
- 朝倉治彦・柏川修一編 「守貞謹稿」第二巻
- 朝倉治彦・柏川修一編 「守貞謹稿」第三巻
- 朝倉治彦・柏川修一編 「守貞謹稿」第四巻
- 朝倉治彦・柏川修一編 「守貞謹稿」第五巻
- 石村真一 1997 「桶・樽Ⅰ」ものと人間の文化史82- I
- 石村真一 1997 「桶・樽Ⅱ」ものと人間の文化史82- II
- 石村真一 1997 「桶・樽Ⅲ」ものと人間の文化史82- III
- 市田京子 1992 「江戸時代の下駄」『考古学と江戸文化』江戸遺跡研究会第5回大会発表要旨 237~255頁
- 市田京子 2000 「江戸時代の下駄」『江戸文化の考古学』26~51頁
- 岩井宜宣 1994 「山物」ものと人間の文化史75
- 植田啓司 1997 「日本の正式な膳について」『全集日本の食文化第九巻 台所 食器 食卓』 243~268頁
- 江戸遺跡研究会編 2001 『岡崎江戸考古学研究事典』
- 大鷹圭二 1994 「古伊万里の文様 初期肥前陶磁を中心に」
- 岡泰正 1996 「びいどろ・ぎやまん図譜 江戸時代のガラス・衿と美」
- 小川勝司 1974 「そば猪口絵柄事典」
- 小川望 2000 「出土遺物から見る江戸のタバコ」『江戸文化の考古学』江戸遺跡研究会315~343頁
- 京人日本史辞典編纂会編 1898 「新編日本史辞典」
- 小泉義次郎 1977 「ものさし」ものと人間の文化史22
- 神戸市立博物館 1990 「THEびいどろ展－江戸時代のガラス・衿と美－」
- 神戸市立博物館 2000 「特別展 びいどろ・ぎやまん・ガラス－江戸時代から明治・大正へ－図録」
- 見玉幸多 1970 「くずし字解説辞典」
- 小林克 1992 「江戸から出土する火打石」『江戸時代の生産遺跡』江戸遺跡研究会第7回大会発表要旨 94~109頁
- 小林克 2000 「あかりの道具研究の方向」『江戸文化の考古学』江戸遺跡研究会221~242頁
- 小林博輔・齊藤達・小島正祐ほか 2000 「沙留遺跡Ⅱ－旧沙留貨物駅跡地内の調査』 東京都埋蔵文化財センター調査報告第79集
- 小林博範・西澤明・小林裕・石崎俊哉・福田敏一・宍戸知 2003 「沙留遺跡Ⅱ－旧沙留貨物駅跡地の調査』 東京都埋蔵文化財センター調査報告第125集
- 財団法人富山美術館 1988 「特別展 ぎやまん・びいどろ 異国情緒ただよう江戸期のガラス 江戸ガラス館コレクション」
- 桂尾尾之 1992 「江戸時代のあかり」『考古学と江戸文化』江戸遺跡研究会第5回大会発表要旨 135~184頁
- サントリーアート館 1996 「サントリーアート館コレクション くし・かんざし・化粧具－江戸の巧芸】
- 潮田筑雄 1973 「はきもの」ものと人間の文化史8
- 白川昌二 1987 「新東洋宝冠カタログ】
- 高崎とみ子 2000 「江戸時代の料理と器具」『江戸文化の考古学』江戸遺跡研究会86~98頁
- 仙台市史記録編纂委員会 「目で見る仙台の歴史】
- 仙台市史編さん委員会 1997 「仙台市史 資料編3 近世2城下町】
- 仙台市史編さん委員会 2001 「仙台市史 通史編3 近世1】
- 仙台市史編さん委員会 2003 「仙台市史 通史編4 近世2】
- 仙台市史編さん委員会 2004 「仙台市史 通史編5 近世3】
- 鈴木省三 1977 「仙台風俗志】
- 高橋幹夫 1994 「江戸萬物精良 絵で知る江戸時代】
- 高橋洋一 1987 「江戸極密工芸くし」別冊太陽
- 谷山有史 1992 「江戸時代のたばこ」『考古学と江戸時代』江戸遺跡研究会第5回大会発表要旨 315~342頁
- 谷田有史 2000 「江戸時代のたばこ」『江戸文化の考古学』江戸遺跡研究会編 171~191頁
- 東北大埋蔵文化財調査委員会 1983 「東北大埋蔵文化財調査年報1】
- 京北大学埋蔵文化財調査委員会 1990 「東北大埋蔵文化財調査年報3】
- 東北大埋蔵文化財調査委員会 1992 「東北大埋蔵文化財調査年報4・5】
- 東北大埋蔵文化財調査委員会 1993 「東北大埋蔵文化財調査年報6】

- 東北大埋蔵文化財調査委員会 1994 「東北大埋蔵文化財調査年報7」
- 東北大埋蔵文化財調査研究センター 1997 「東北大埋蔵文化財調査年報8」
- 東北大埋蔵文化財調査研究センター 1998 「東北大埋蔵文化財調査年報9」
- 東北大埋蔵文化財調査研究センター 1998 「東北大埋蔵文化財調査年報10」
- 東北大埋蔵文化財調査研究センター 1999 「東北大埋蔵文化財調査年報11」
- 東北大埋蔵文化財調査研究センター 1999 「東北大埋蔵文化財調査年報12」
- 東北大埋蔵文化財調査研究センター 2000 「東北大埋蔵文化財調査年報13」
- 東北大埋蔵文化財調査研究センター 2001 「東北大埋蔵文化財調査年報14」
- 東北大埋蔵文化財調査研究センター 2001 「東北大埋蔵文化財調査年報15」
- 東北大埋蔵文化財調査研究センター 2001 「東北大埋蔵文化財調査年報16」
- 東北大埋蔵文化財調査研究センター 2002 「東北大埋蔵文化財調査年報17」
- 東北大埋蔵文化財調査研究センター 2003 「東北大埋蔵文化財調査年報18」
- 東北大埋蔵文化財調査研究センター 2006 「東北大埋蔵文化財調査年報19第1分冊」
- 東北大埋蔵文化財調査研究センター 2006 「東北大埋蔵文化財調査年報20」
- 東北大埋蔵文化財調査室 2007 「東北大埋蔵文化財調査年報19第3分冊」
- 東北大埋蔵文化財調査室 2007 「東北大埋蔵文化財調査年報21」
- 中井さやか 1992 「近世の櫛梳についてーその器種と組み合わせを考えるー」『江戸の食文化』 180~204頁
- 永井久美男編 1997 「近世出土銭I」
- 永井久美男編 1998 「近世出土銭II」
- 日本風俗史学会編 1998 「岡越江戸時代食生活事典」
- 日本民具学会編 1989 「信仰と民具」
- 日本民具学会編 1997 「日本民具辞典」
- 萩尾昌枝 1992 「江戸時代初期の宴會の食器類－東京大学医学部付属病院中央診療棟建設予定地点「池」出土の木製品」『江戸の食文化』江戸遺跡研究会編 205~219頁
- 福田敏一・石崎俊哉ほか 1997 「汐留跡Ⅰ－旧汐留貨物駅跡地内の調査」東京都埋蔵文化財センター調査報告第37集
- 福田敏一・石崎俊哉・西澤明・出仲伸 2006 「汐留跡Ⅳ－旧汐留貨物駅跡地内の調査」東京都埋蔵文化財センター調査報告第189集
- 堀内秀樹 2000 「考古資料から見た江戸時代の料理と器具」『江戸文化の考古学』江戸遺跡研究会
- 増尾富房 1992 「江戸時代の錢貨・寛永通宝」『考古学と江戸時代』江戸遺跡研究会第5回大会発表要旨 1~15頁
- 増尾富房 2000 「江戸時代の錢貨・寛永通宝」『江戸文化の考古学』江戸遺跡研究会 260~272頁
- 宮内惣 1991 「箱」ものと人間の文化史67
- 室井義 1973 「竹」ものと人間の文化史10
- 村田孝子・津田紀代・村山博美・田丸恵理 1989 「日本の化粧—道具と心模様」ボーラ文化研究所コレクション
- 山村博美 2000 「江戸時代の化粧」『江戸文化の考古学』江戸遺跡研究会
- 山本忠尚・松井卓 1988 『日本考古学用語英訳辞典稿本』

REPORT
OF THE ARCHAEOLOGICAL RESEARCH ON THE CAMPUS OF
TOHOKU UNIVERSITY
vol.19-4, March 2008

The Archaeological Research Office

On The Campus, Tohoku University

1-1, Katahira, 2-chome, Aoba Ward, Sendai 980-8577 JAPAN

Summary

This volume carries the report of salvage excavation of BK7 (Loc.7 of *samurai* residences located at the side of north outer moat of *Ninomaru*, i.e., Secondary Citadel of Sendai Castle), which was conducted by the archaeological Research Center on the Campus of Tohoku University in 2001.

In the excavation of BK7, a large number of artifacts have been excavated, so these are reported in five separate volumes. This report is the 4th separate volume, and describes about various wooden implements, lacquered wooden implements, metal implements, stone tools, stone-made implements and glass-made implements. Wooden implements include wooden tablets and wooden implements written in black ink (Indian ink), but these were reported in the 3rd separate volume.

Mainly, various wooden implements and lacquered wooden implements were excavated from No.2 structural remains. About the amount of these implements, No.2 structural remains yielded the largest quantity among all other structural remains.

Concerning the bowls and lids with lacquer, on the whole, the shape of them had been warped by the pressure of the burden soil. Therefore it is difficult to get information of the shape features. About the design, there are a lot of patterns with a family crest. They are arranged on 3 sides of the bowl. At a glance, there are some marks of the same family crest, but there are differences in their details, for example, the shape of the leaves or flowers. In addition to the family crests, there are also other designs, for example some chrysanthemums, cherry blossoms, fans and maples. There are some bowls and lids with the inscription drawn in the pedestal.

In addition to the bowls and lids, there are various lacquered wooden implements, for example, dishes, tubs, plugs, spatulas, dippers, rice scoops and boxes. There are dishes on which the design of shrimps or chrysanthemums are drawn. And there are some round vessels on which the character, such as “~ room”, are drawn on their top.

Various wooden implements include some clogs, round vessels by bending and securing a thin sheet of cypress wood, chopsticks and wedges. Clogs are classified into 3 groups. One is a single wood-block sculpture, and the clog's body and supports are continuous. Another type is that clog's body and supports were made separately, and these were combined. The third type is a single wood-block sculpture, and these clogs have no supports. And each group is classified into sub-types, a round shape and a square shape by their body's corner. There are many clogs with toe impression on their body by use, and there are many clogs that small pebbles cling to the sole of their supports. And there are some ones with brand or carved seal.

As to the round vessels by bending and securing a thin sheet of cypress wood, there are some with a square hole

and bark strings attached at the side of this hole. A similar hole is also on the diagonal side of this hole. In addition, there are some vessels with attached parts such as a small kokeshi doll inside, by bark strings. Based on their shape, it is considered that these were ladles and the handle had been inserted into the square hole.

There are a lot of handles. Handles are classified into 6 groups by the size and the shape in section. It is considered that some handles with a hole of the nail seem to be ladle's. The hole of the nail is for the ladle to be fixed. The others without a hole of the nail seem to be for other purpose of use.

A huge number of chopsticks were excavated. The amount of these is over 28000 items. There are a lot of chopsticks the points of which have been burned. It is considered that these had been used not only for the meal, but also for cooking.

In addition to the above mentioned ones, various other wooden implements were found. These include plugs, spatulas, hoes, troughs, well buckets, wooden implements for light, brushes, fans, ear picks and more. As to bamboo implements, some were found at this location too. For example, rulers, parts of umbrella and baskets.

As to metal implements, there are copper, iron and lead artifacts. These were mainly excavated from 2nd layer and No.2 structural remains. Copper implements include coins, pipes, rulers, chopsticks for charcoal, combs, and water droppers. Various kinds of coins were found. "Kanei-tsuhō" is the most frequent type. "Kanei-tsuhō" is the coin during the Edo period, and they are often found at Secondary Citadel of Sendai Castle and samurai residences. And other coins were also found. Some of them are those before the period of "Kanei-tsuhō". Iron implements are nails, awls, chopsticks for charcoal, cramps and so on. Lead implements are bullets, sinkers and so on.

As to stone tools and stone implements, 2 stone tools were found. It is considered that these belong to Jomon period. The others belong to Edo period, for example, flints, ink stones and whetstones.

There are also 2 glass-made implements and an implement of unidentified material. One glass-made implement is a part of ware, and the other one is the tip of a chopstick or an ornamental hairpin. An unidentified material implement is something like a globular bead.

写 真 図 版

図版1～17：武家屋敷地区第7地点出土漆塗製品

図版18～42：武家屋敷地区第7地点出土木製品

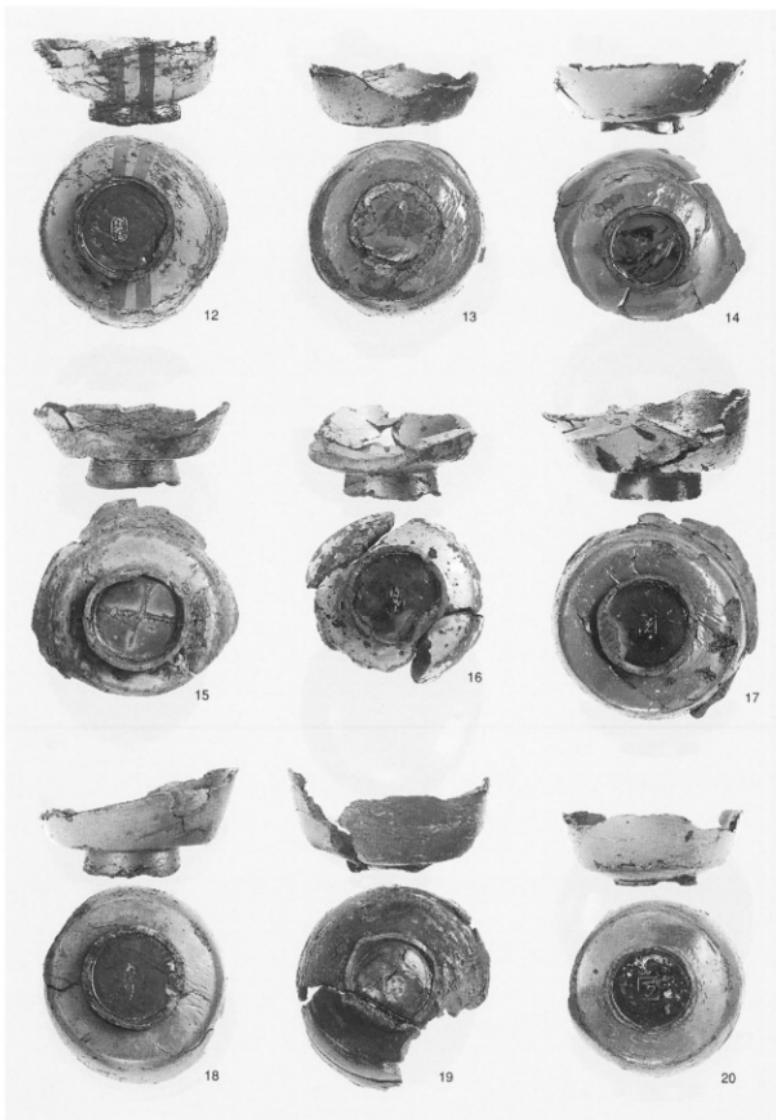
図版43～48：武家屋敷地区第7地点出土金属製品

図版49～50：武家屋敷地区第7地点出土石器・石製品・その他の遺物



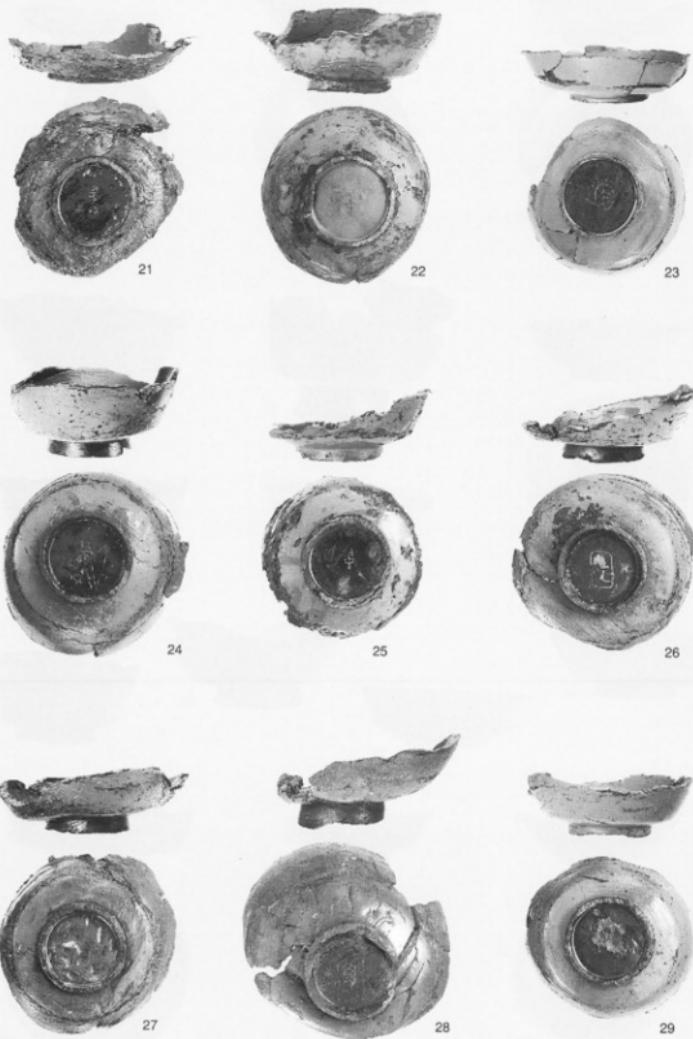
圖版 1 武家窯地區第 7 地點出土漆碗 (1)
Pl. I Bowls with lacquer from BK7 (1)

S=1:3



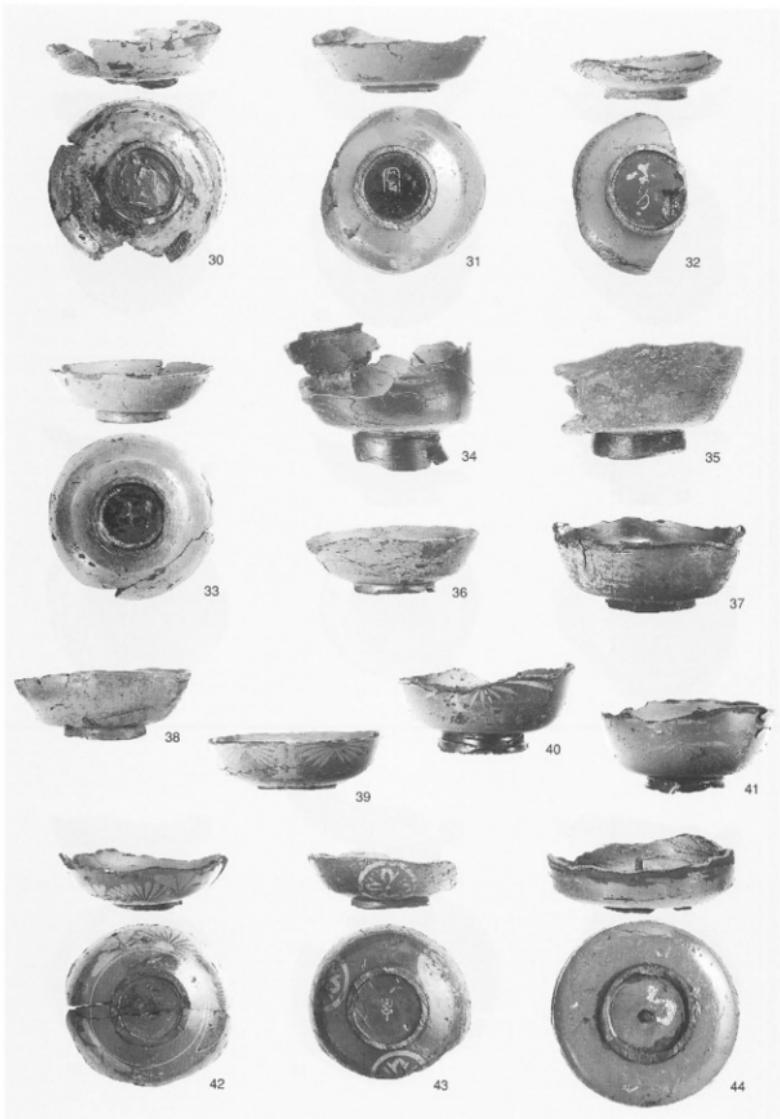
图版2 武家屋敷地区第7地点出土漆碗 (2)
Pl.2 Bowls with lacquer from BK7 (2)

S=1:3



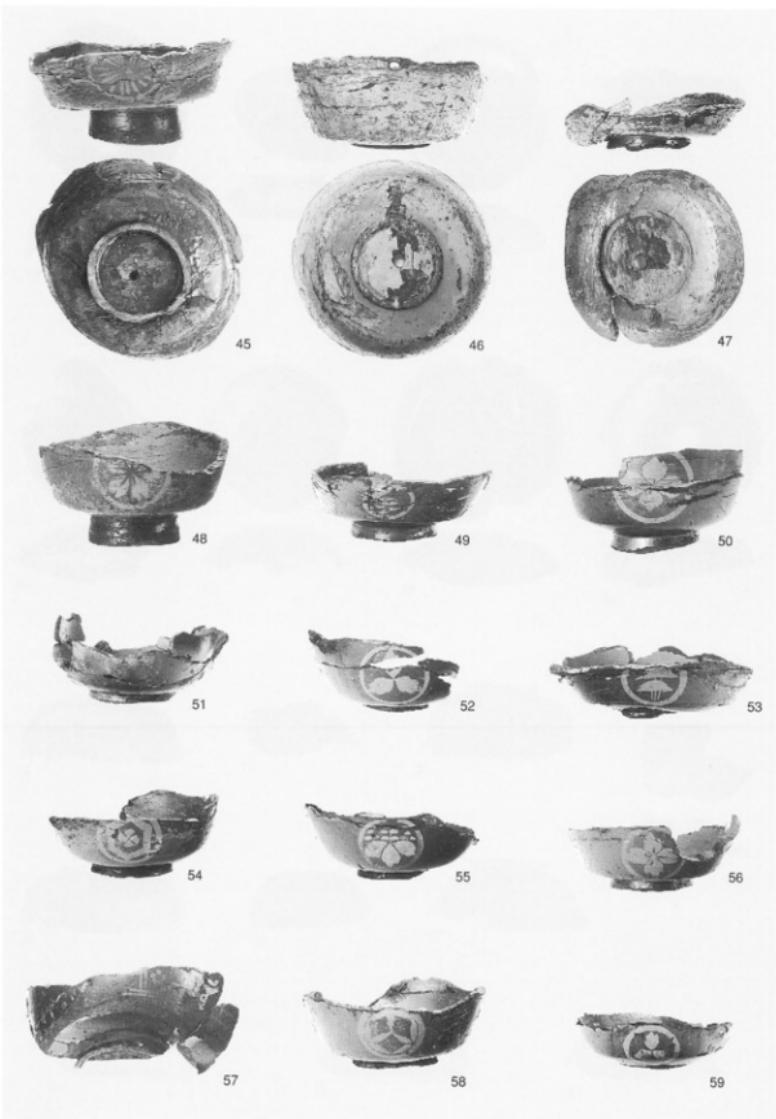
圖版 3 武家屋敷地区第 7 地点出土漆碗 (3)
PL.3 Bowls with lacquer from BK7 (3)

S=1:3



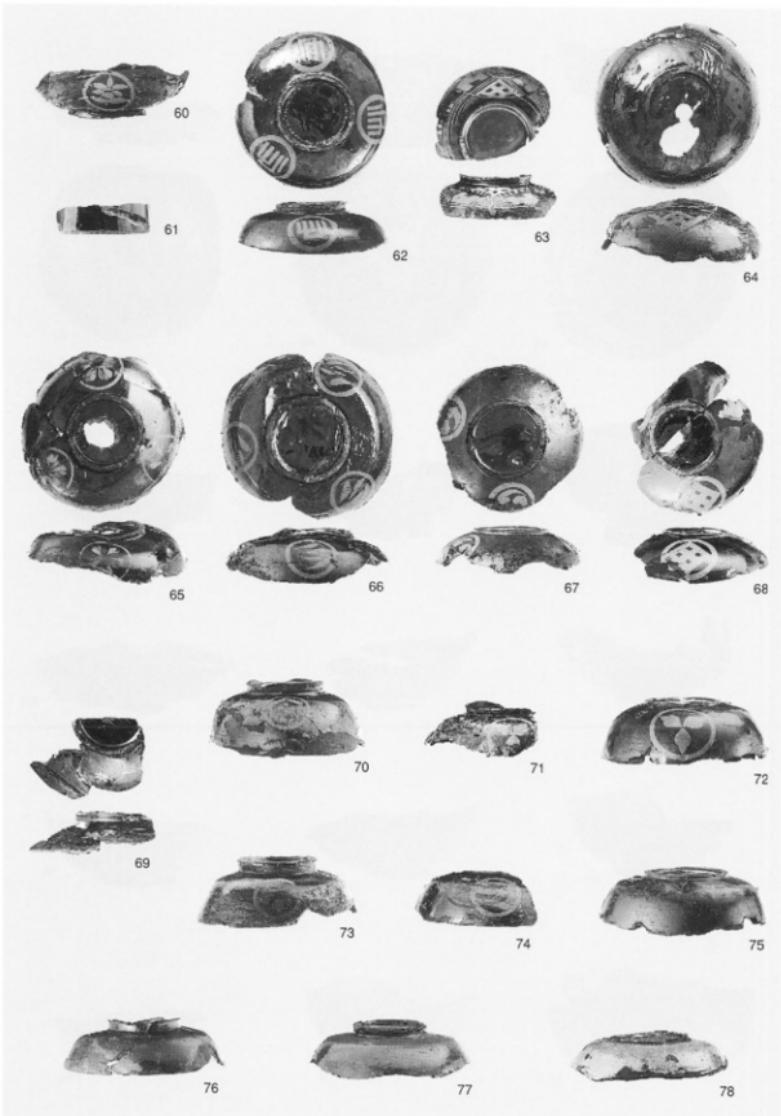
图版4 武家屋敷地区第7地点出土漆椀 (4)
Pl.4 Bowls with lacquer from BK7 (4)

S=1:3



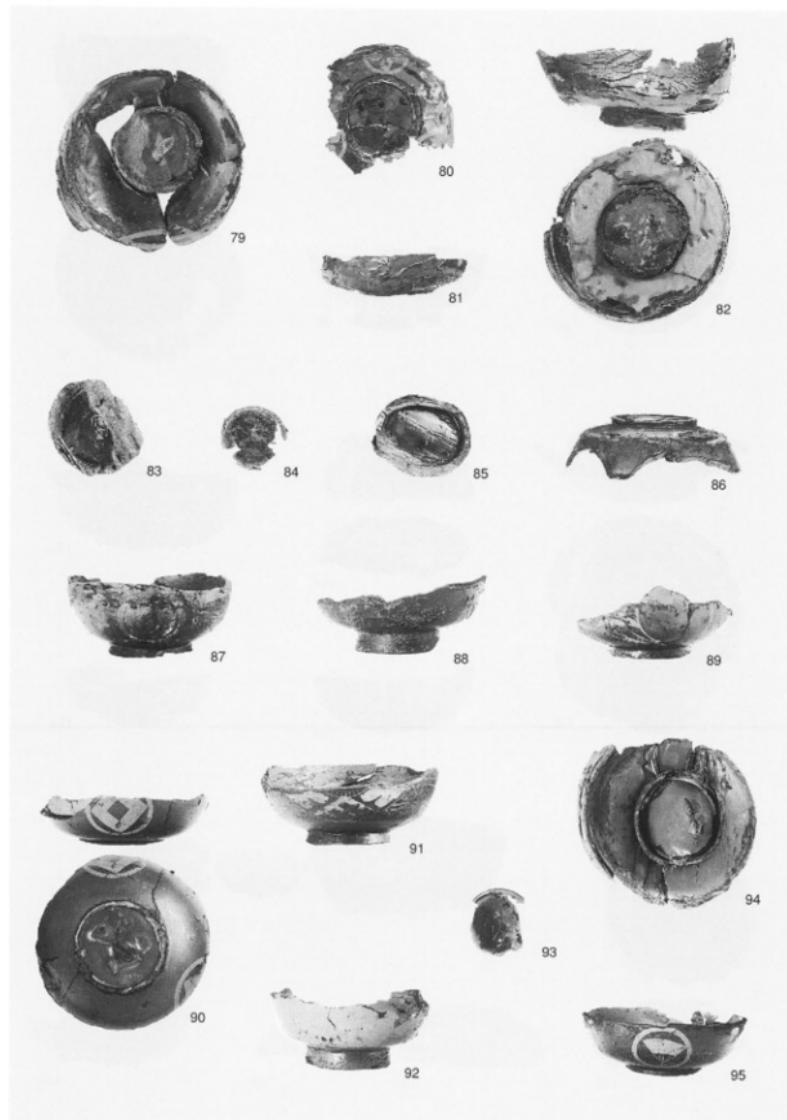
图版 5 武家屋敷地区第 7 地点出土漆椀 (5)
Pl.5 Bowls with lacquer from BK7 (5)

S=1:3



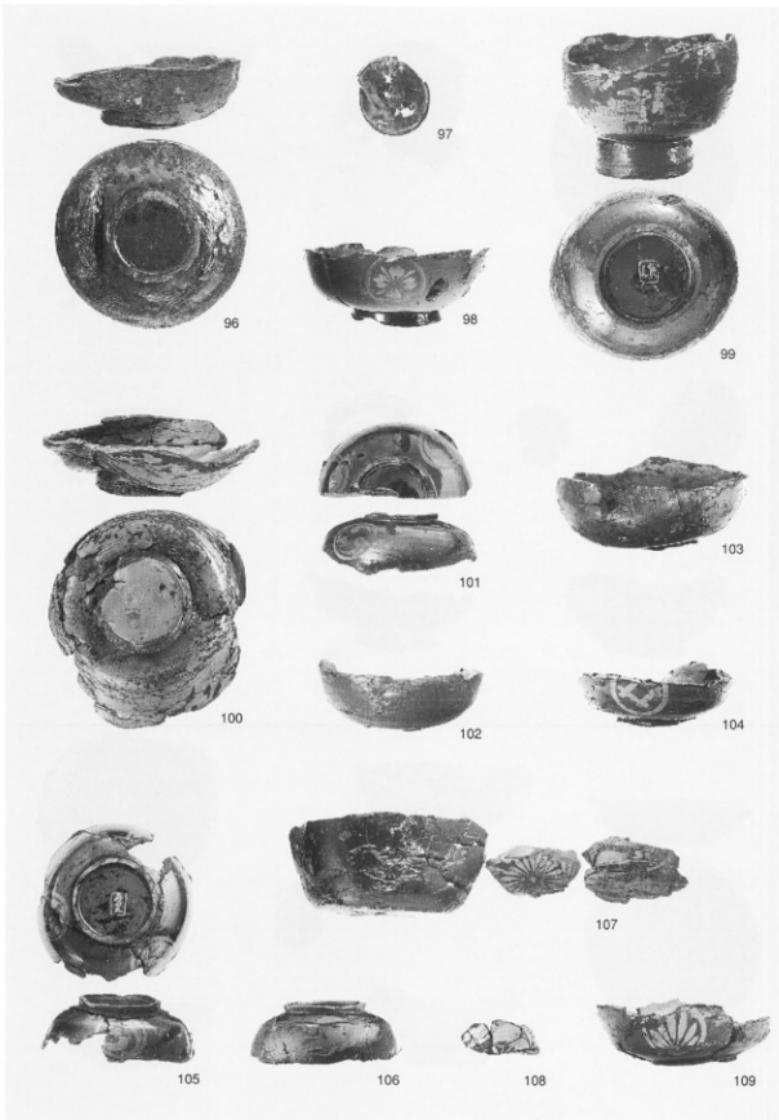
圆版 6 武家屋敷地区第7地点出土漆椀 (6)
Pl.6 Bowls with lacquer from BK7 (6)

S=1:3



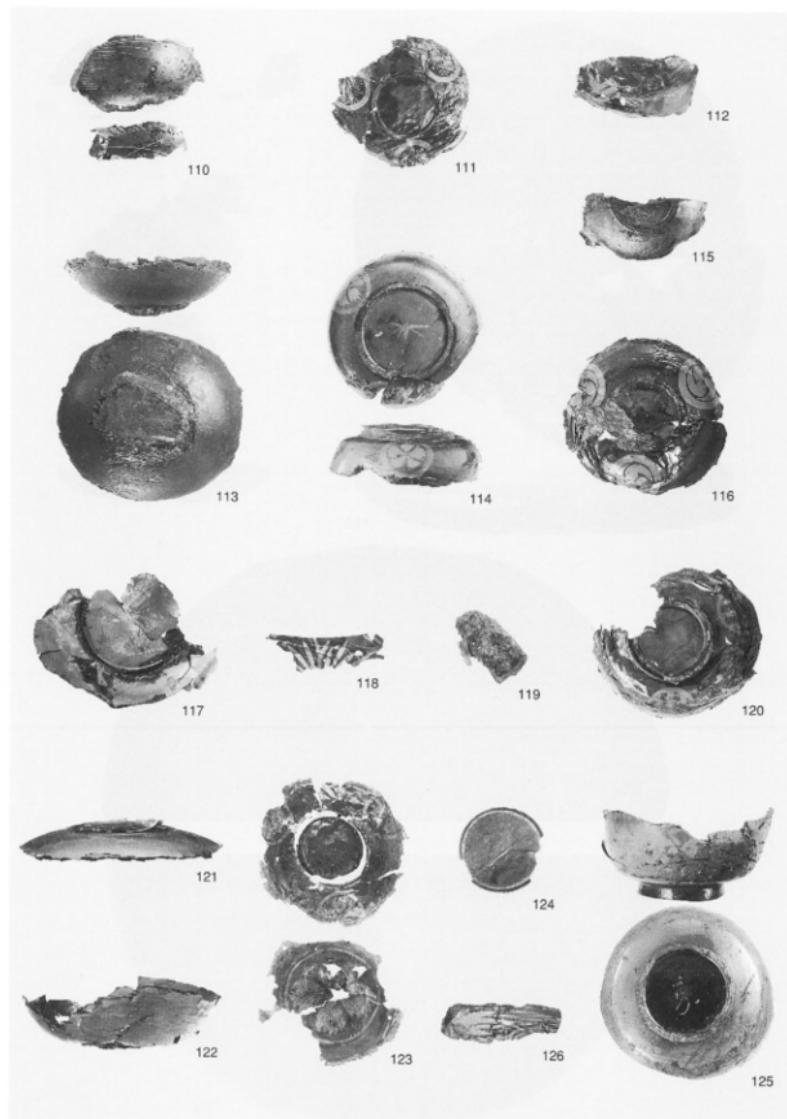
图版7 武家屋敷地区第7地点出土漆碗(7)
Pl.7 Bowls with lacquer from BK7 (7)

S=1:3



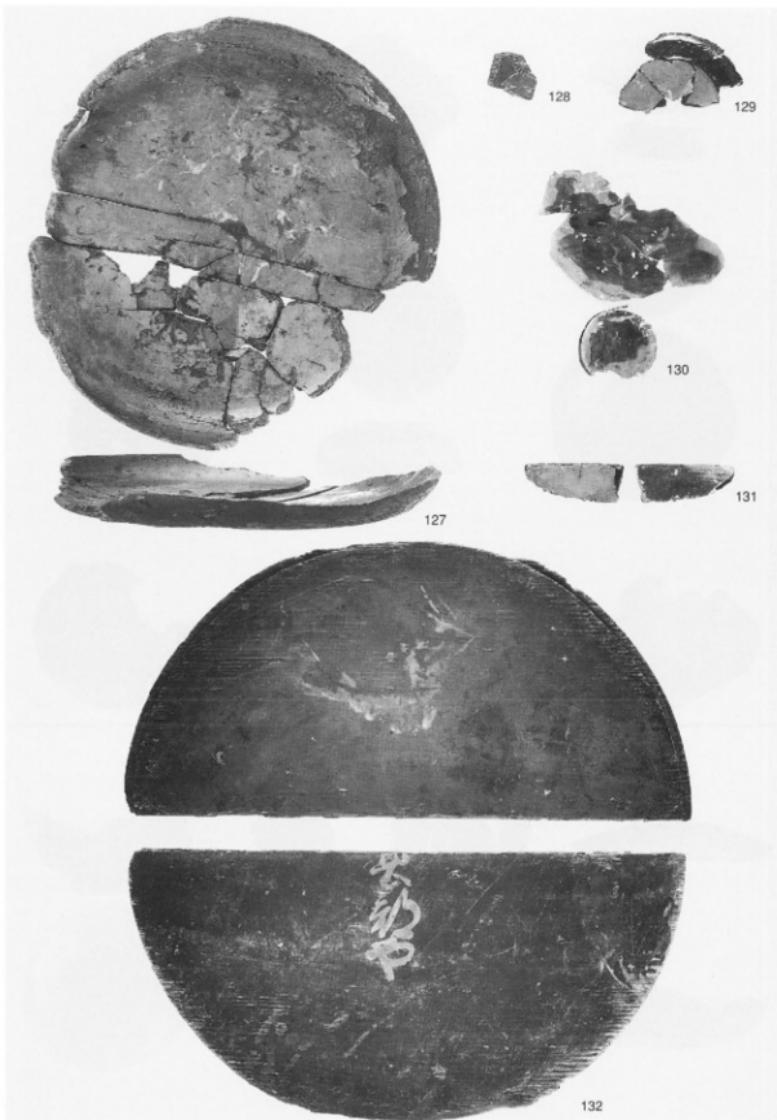
圖版 8 武家屋敷地区第 7 地点出土漆碗 (8)
PL8 Bowls with lacquer from BK7 (8)

S = 1 : 3



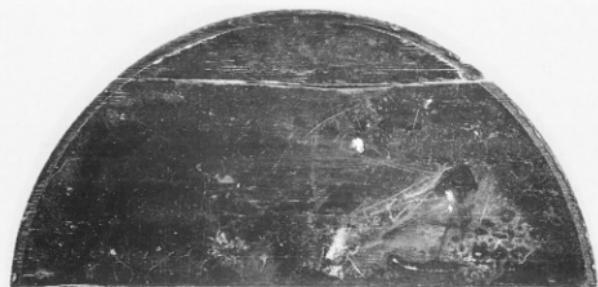
图版 9 武家屋敷地区第 7 地点出土漆碗 (9)
Pl.9 Bowls with lacquer from BK7 (9)

S=1:3



図版10 武家屋敷地区第7地点出土その他の漆塗製品 (1)
PL10 Various wooden implements with lacquer from BK7 (1)

S=1:3



133



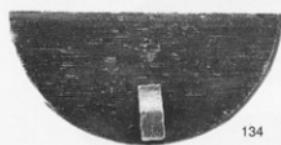
134



135



137

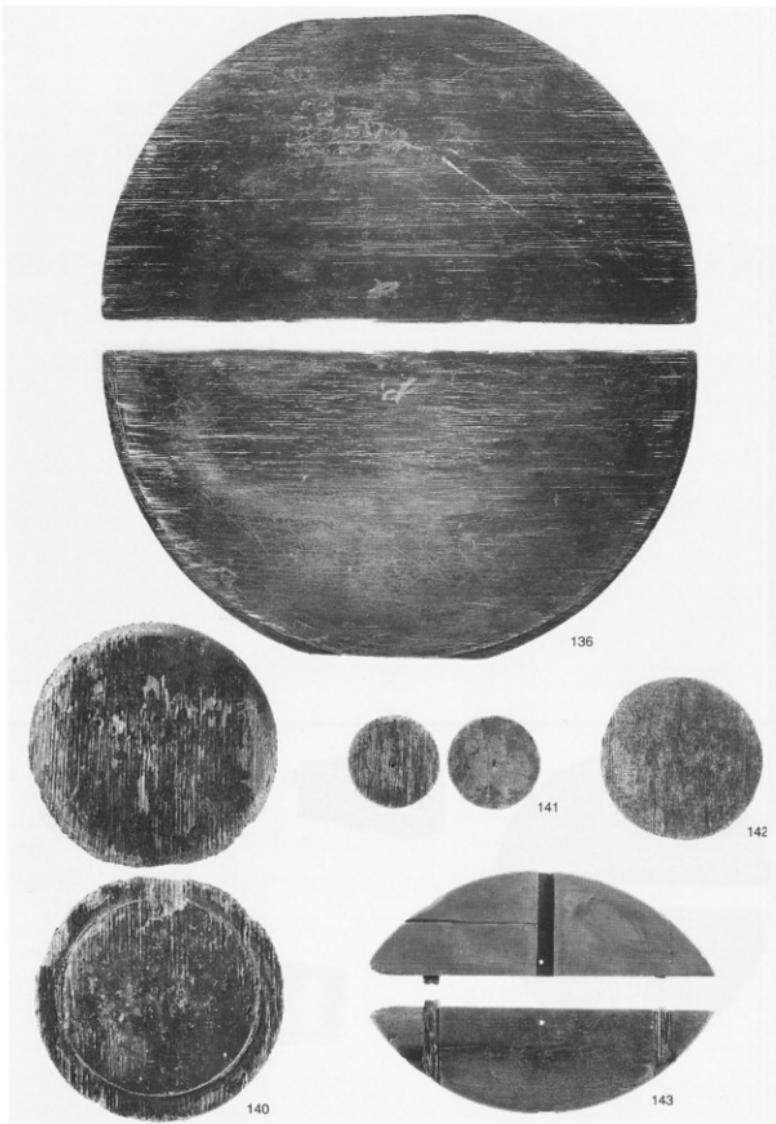


138



図版11 武家屋敷地区第7地点出土その他の漆塗製品 (2)
Pl.11 Various wooden implements with lacquer from BK7 (2)

S=1:3

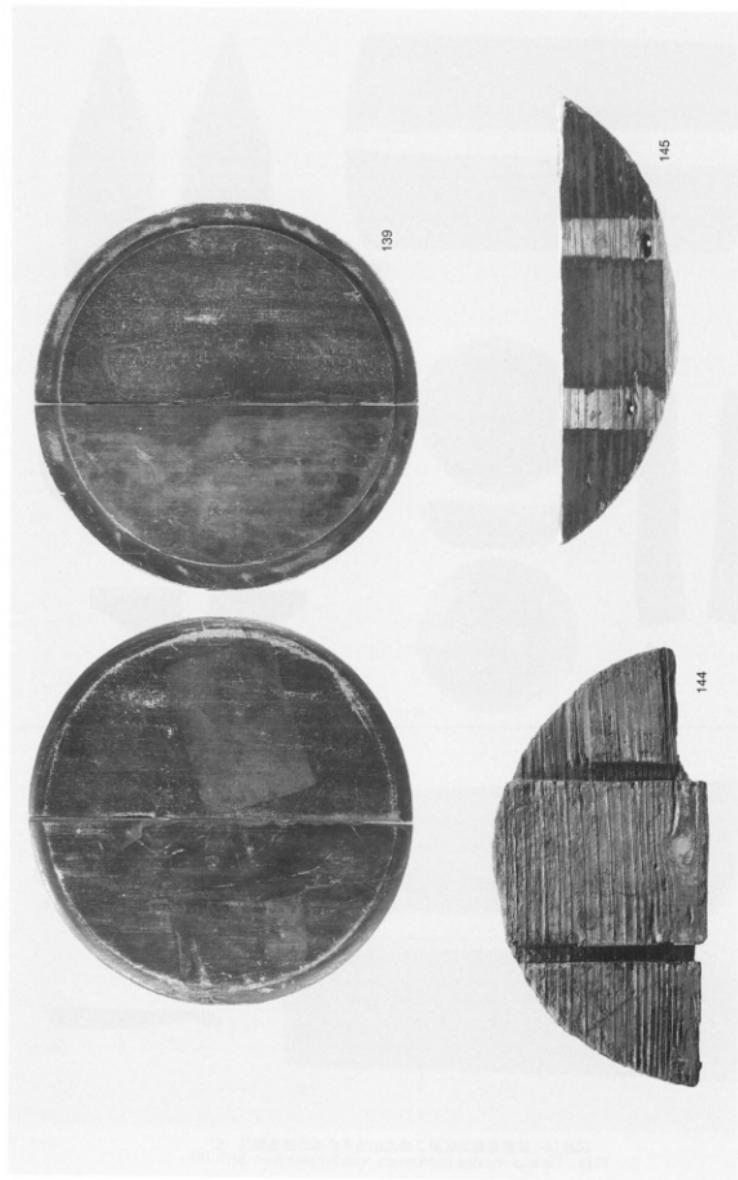


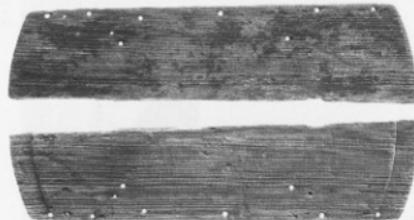
図版12 武家屋敷地区第7地点出土その他の漆塗製品（3）
PL12 Various wooden implements with lacquer from BK7 (3)

S=1:3

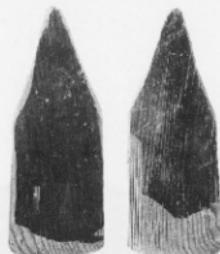
S = 1 : 3

図版13 武家屋敷地区第7地点出土その他の漆塗製品 (4)
PL.13 Various wooden implements with lacquer from BK7 (4)

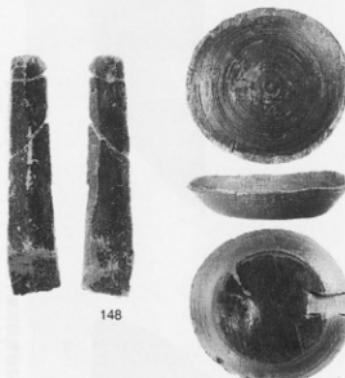




146



147



148

149



150



151



152



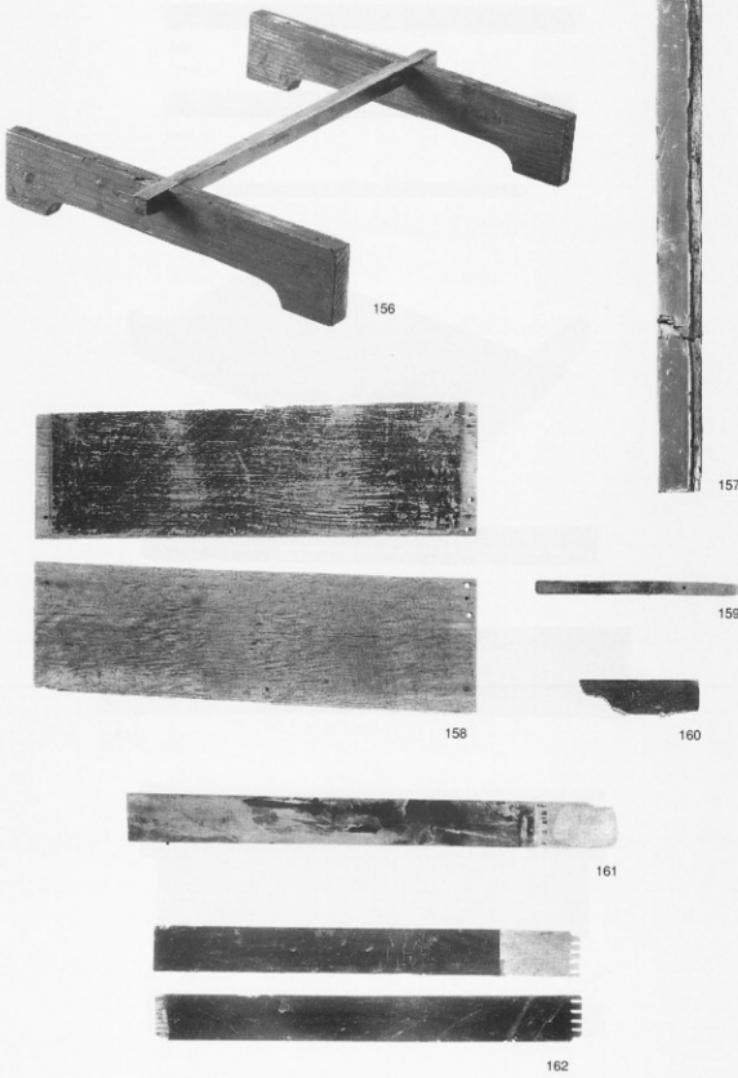
154



155

図版14 武家屋敷地区第7地点出土 その他の漆塗製品 (5)
Pl.14 Various wooden implements with lacquer from BK7 (5)

S=1:3



図版15 武家屋敷地区第7地点出土その他の漆塗製品 (6)
Pl.15 Various wooden implements with lacquer from BK7 (6)

S=1:3



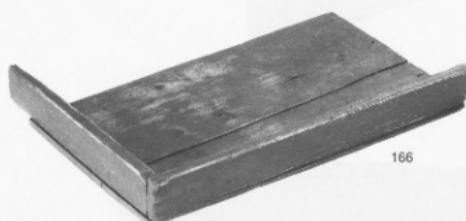
163



164



165



166



167



168



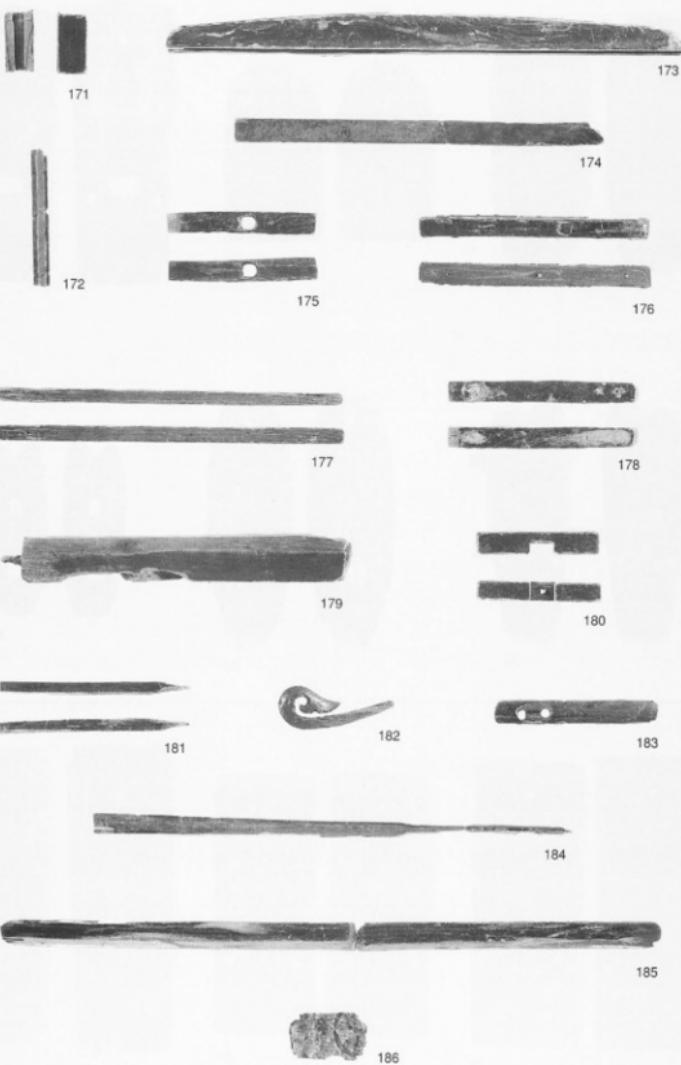
169



170

図版16 武家屋敷地区第7地点出土その他の漆塗製品(7)
Pl.16 Various wooden implements with lacquer from BK7 (7)

S=1:3



図版17 武家屋敷地区第7地点出土その他の漆塗製品 (8)
PL.17 Various wooden implements with lacquer from BK7 (8)

S=1:3



49



50



51



52



53



54



55



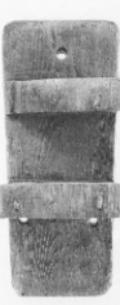
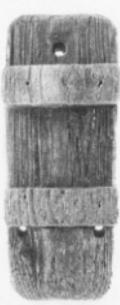
56



57

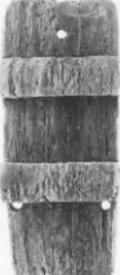
圖版18 武家屋敷地区第7地点出土下駁 (1)
Pl.18 Clogs from BK7 (1)

S=1:4



58

59



60

61



62

63

圖版19 武家屋敷地区第7地点出土下駄 (2)
PL19 Clogs from BK7 (2)

S=1:4



64

65



66



67



68



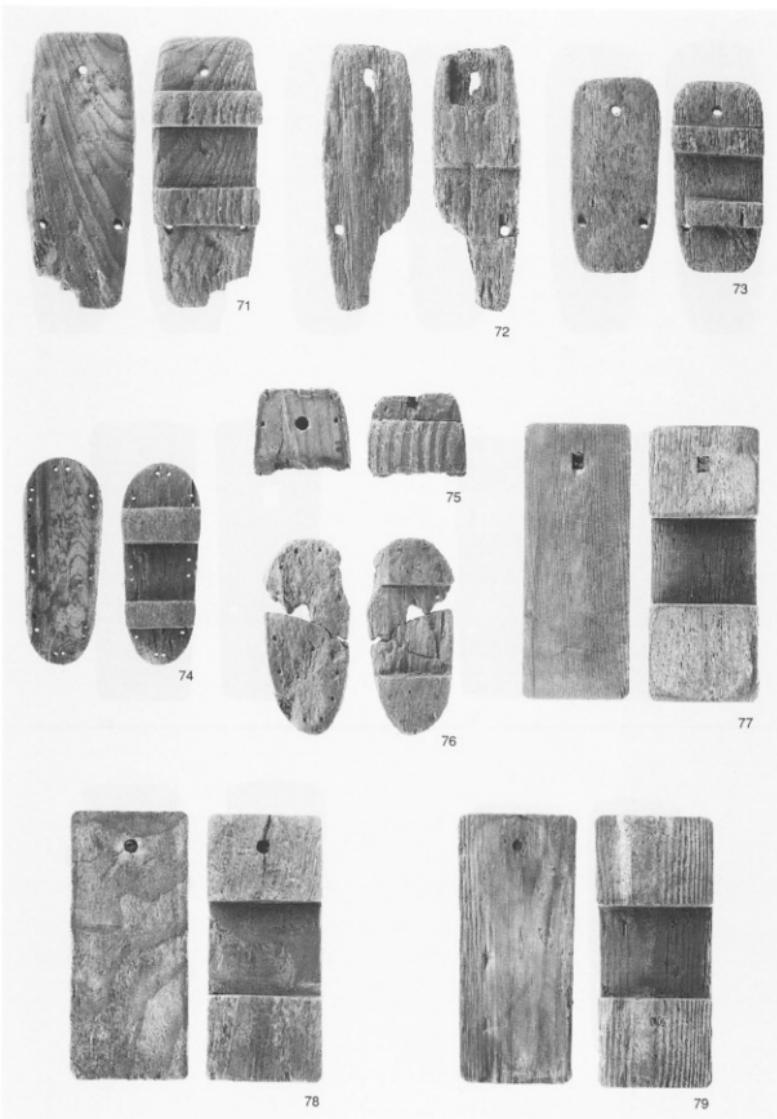
69



70

图版20 武家屋敷地区第7地点出土下駄 (3)
PL20 Clogs from BK7 (3)

S=1:4



图版21 武家屋敷地区第7地点出土下耻 (4)
Pl21 Clogs from BK7 (4)

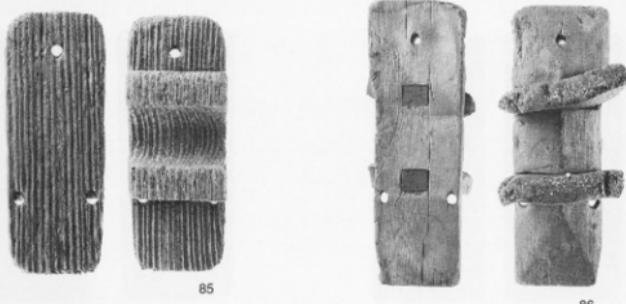
S=1:4



80 81 82



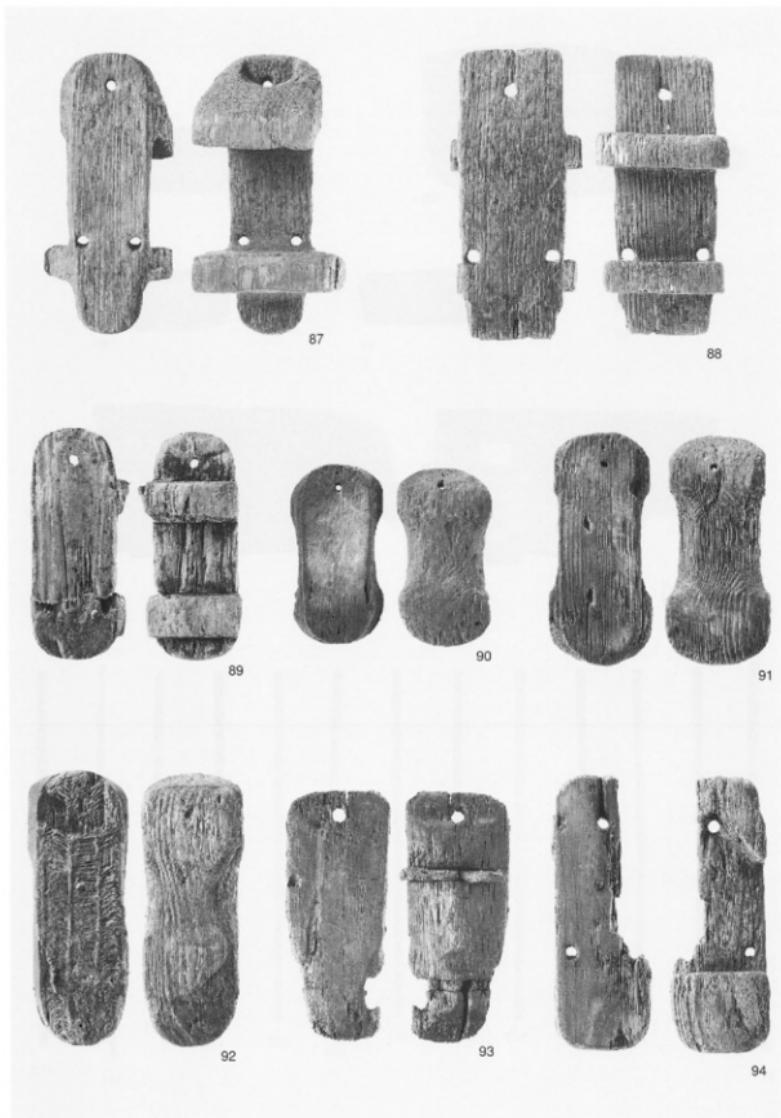
83 84



85 86

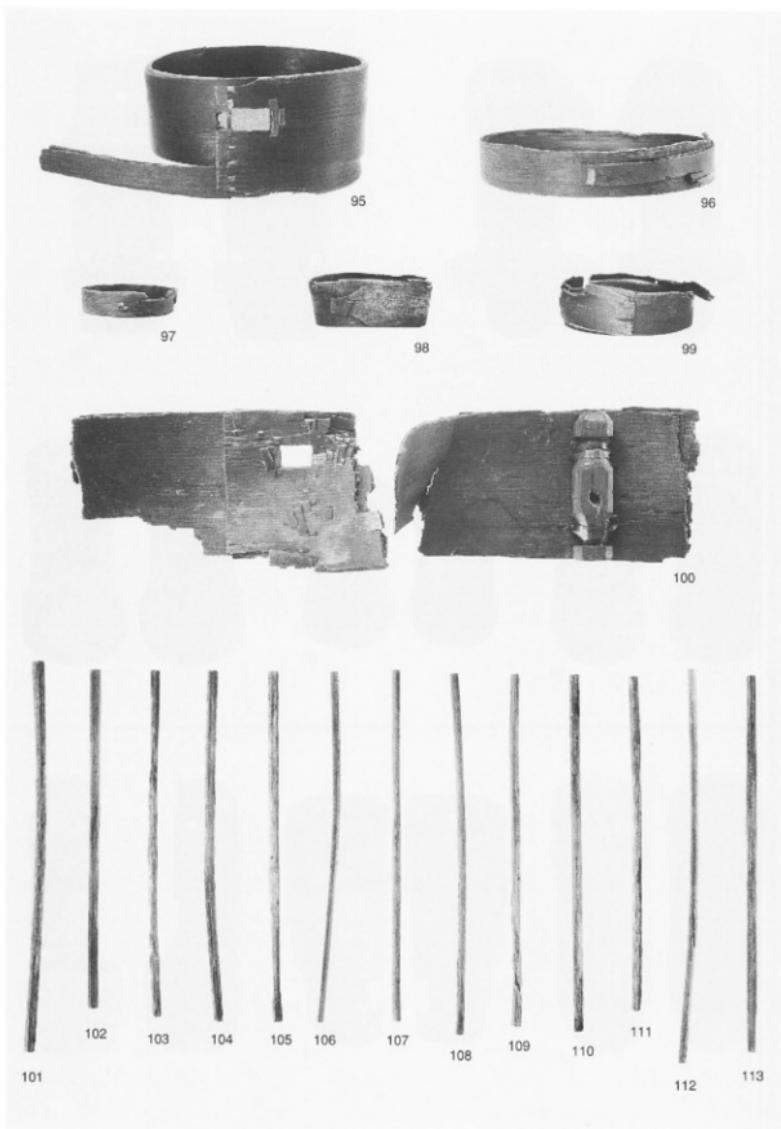
圖版22 武家屋敷地区第7地点出土下駁 (5)
PL22 Clogs from BK7 (5)

S=1:4



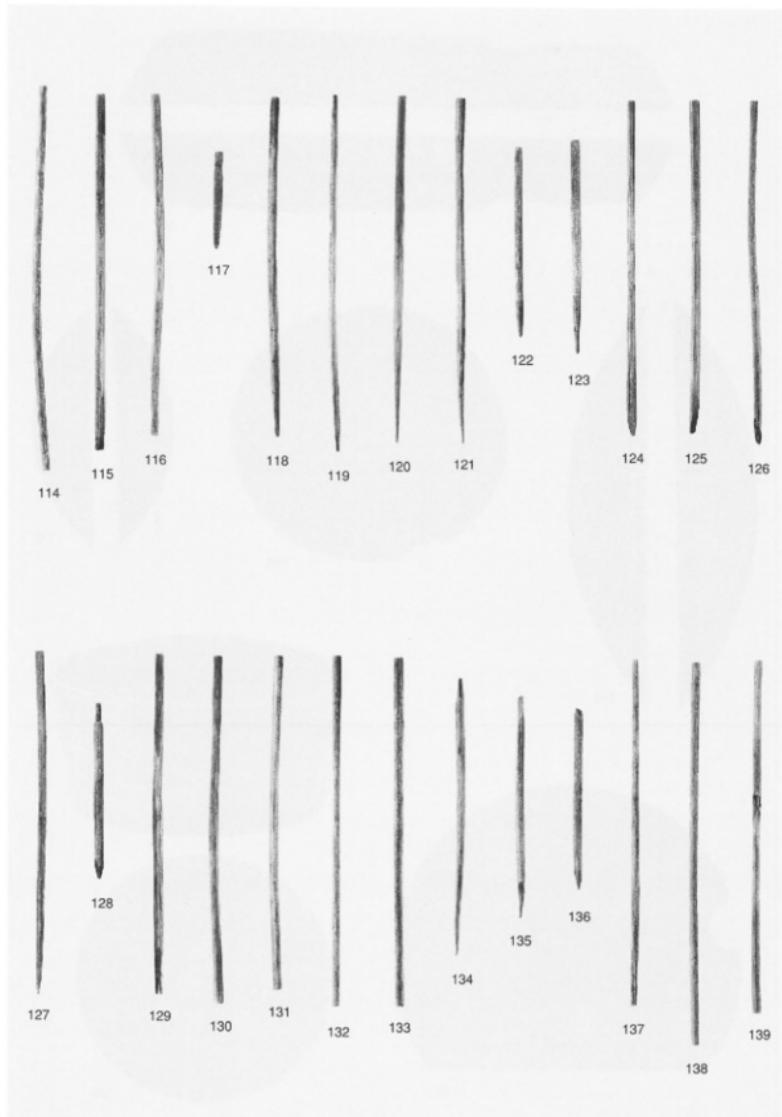
图版23 武家屋敷地区第7地点出土下駄 (6)
Pl.23 Clogs from BK7 (6)

S=1:4



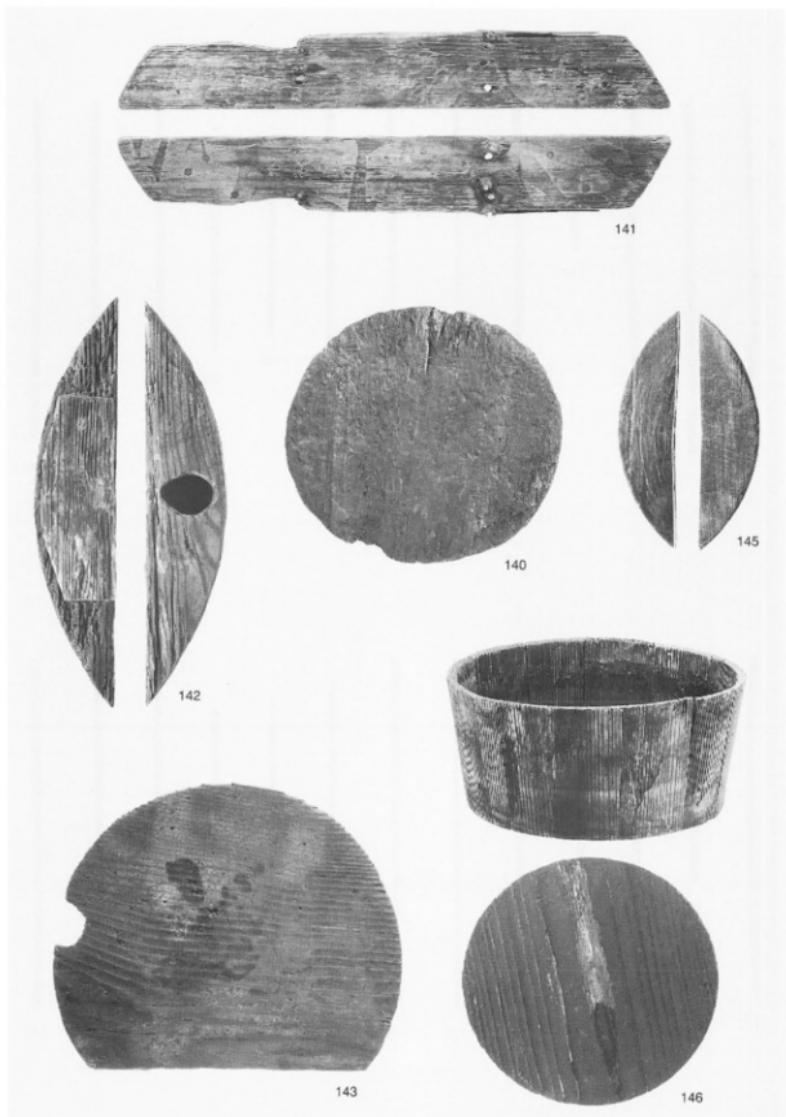
图版24 武家屋敷地区第7地点出土曲物·箸(1)
PL24 Round vessels by bending and securing a thin sheet of cypress wood and wooden chopsticks from BK7

S=1:3



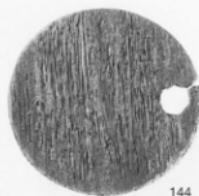
图版25 武家屋敷地区第7地点出土箸(2)
PL.25 Wooden chopsticks from BK7

S=1:3

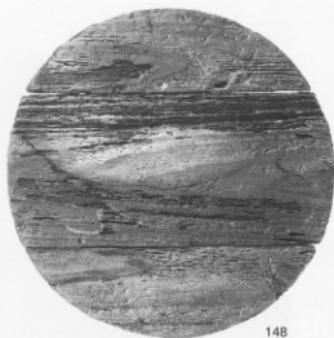


图版26 武家屋敷地区第7地点出土桶類 (1)
PL.26 Various wooden tubs from BK7 (1)

S = 1 : 4



144



148



147



149



151



152



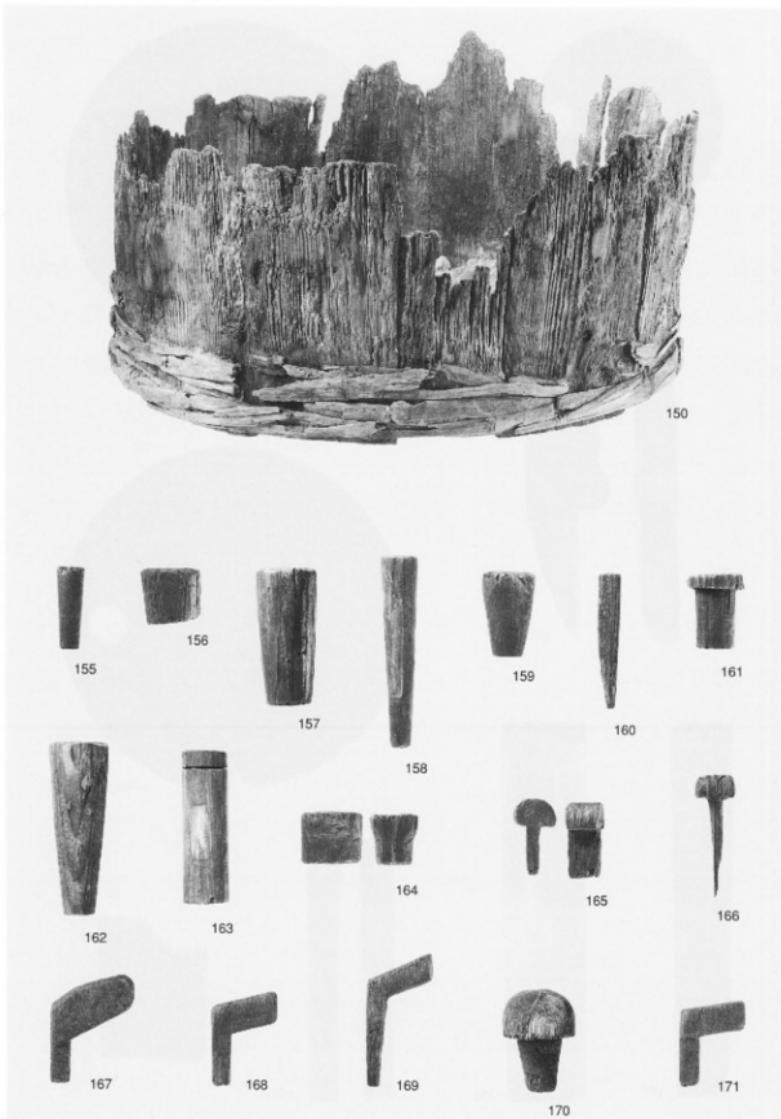
153



154

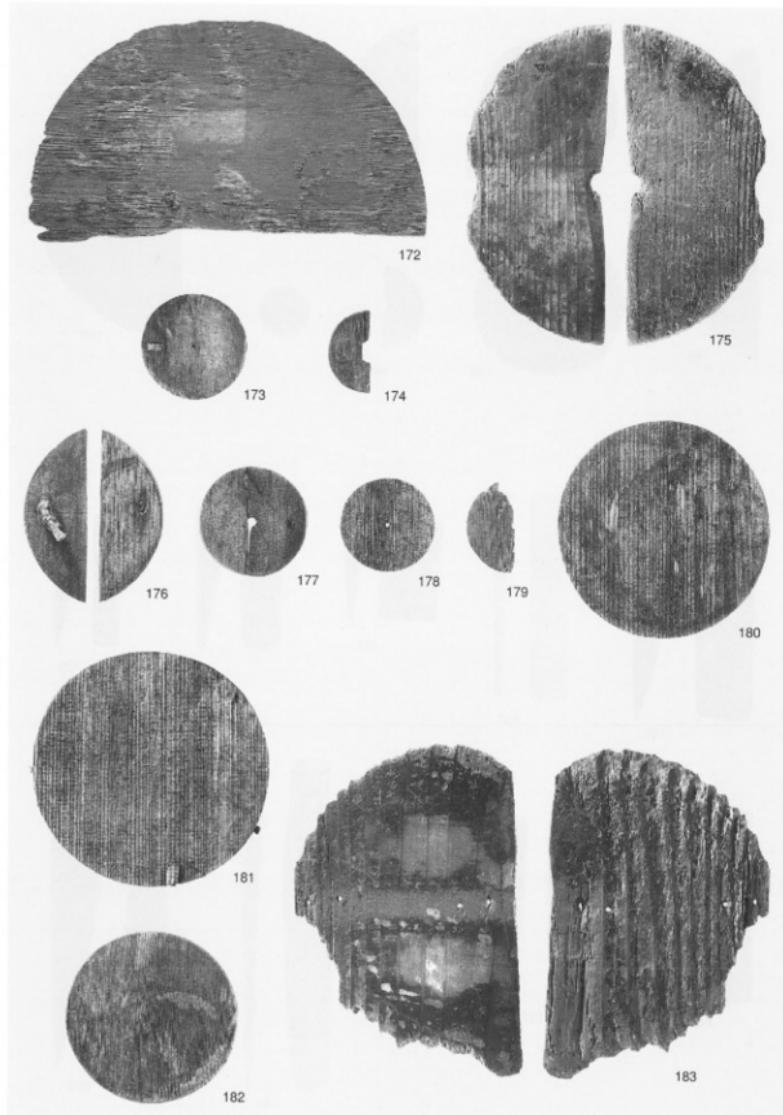
圖版27 武家屋敷地区第7地点出土桶類 (2)
PL.27 Various wooden tubs from BK7 (2)

S=1:4



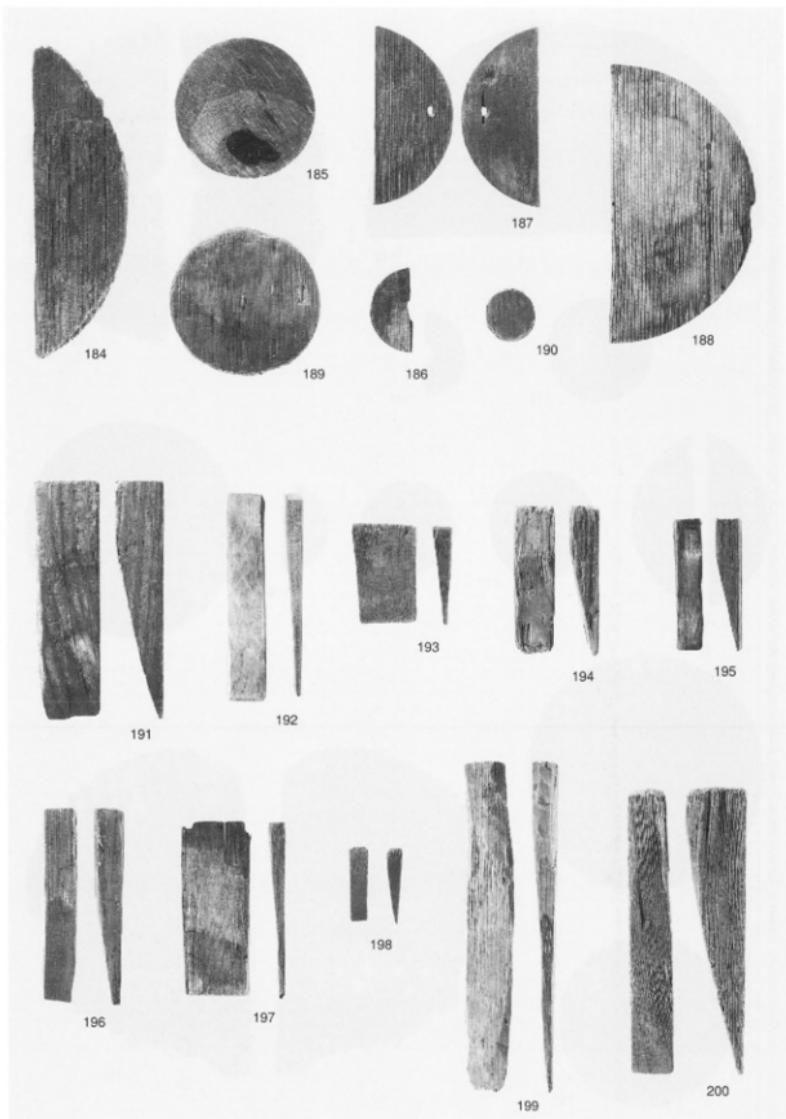
图版28 武家屋敷地区第7地点出土桶類(3)・栓
Pl.28 Various wooden tubs and wooden plugs from BK7

150 S=1:4
155~171 S=1:3



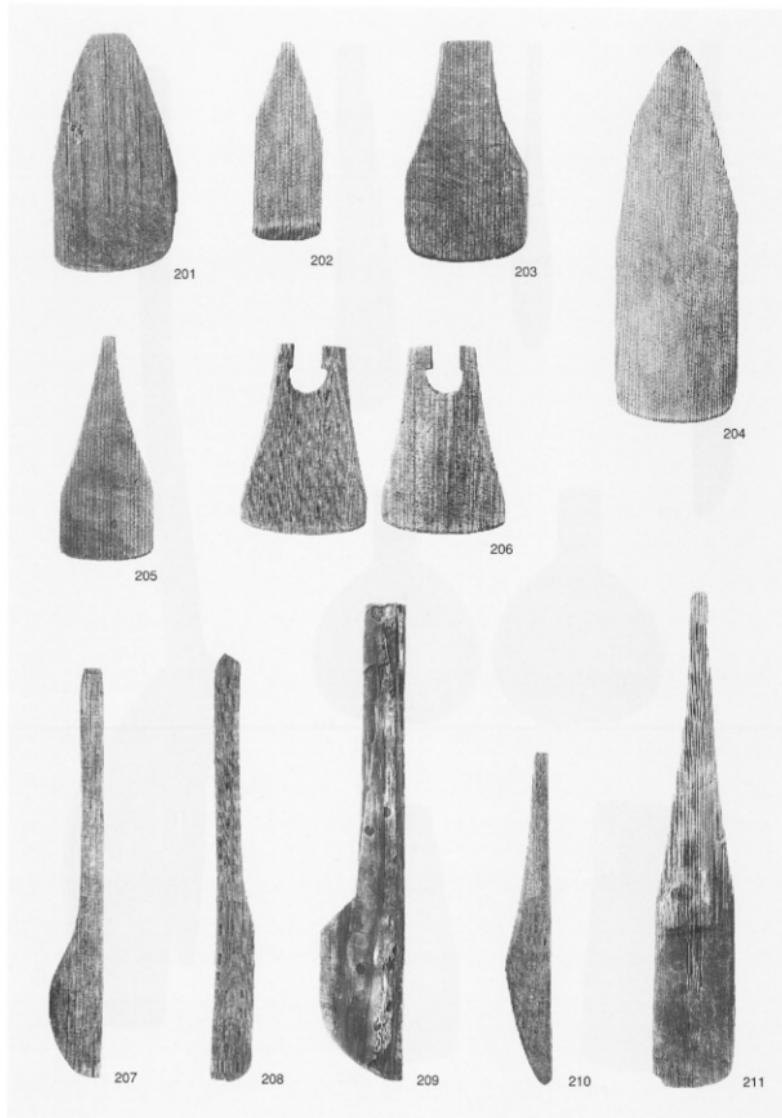
圖版29 武家屋敷地区第7地点出土圓板状木製品 (1)
Pl.29 Wooden implements shaped round plate from BK7

S = 1 : 3



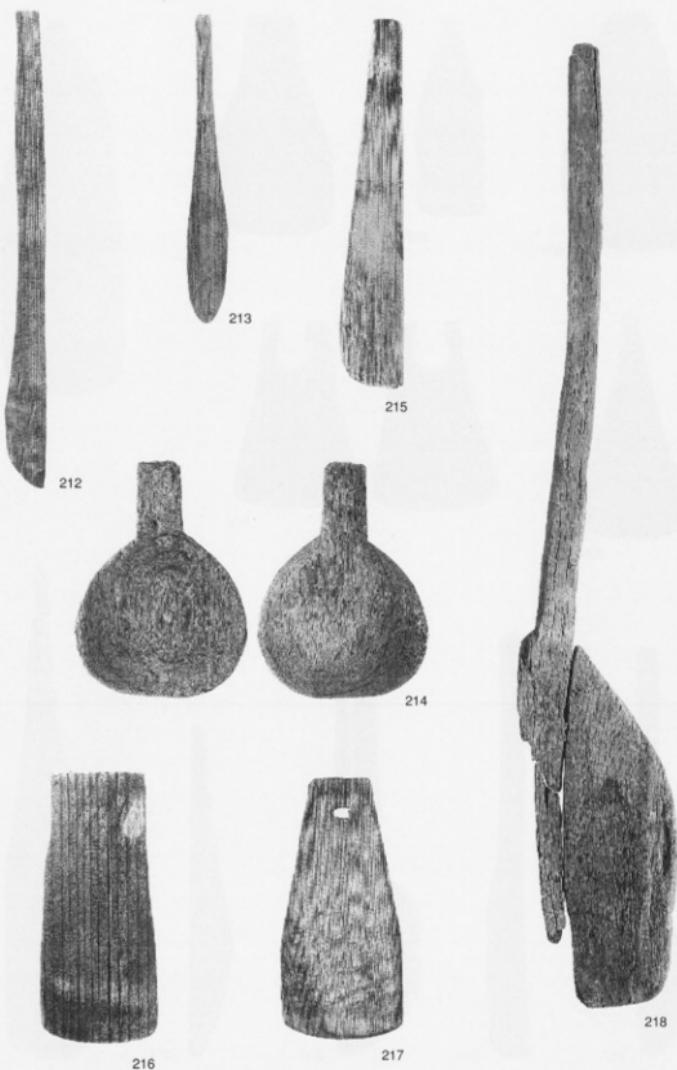
图版30 武家屋敷地区第7地点出土圆板状木制品(2) · 楔
PL30 Wooden implements shaped round plate and wooden implements shaped wedge from BK7

S=1:3



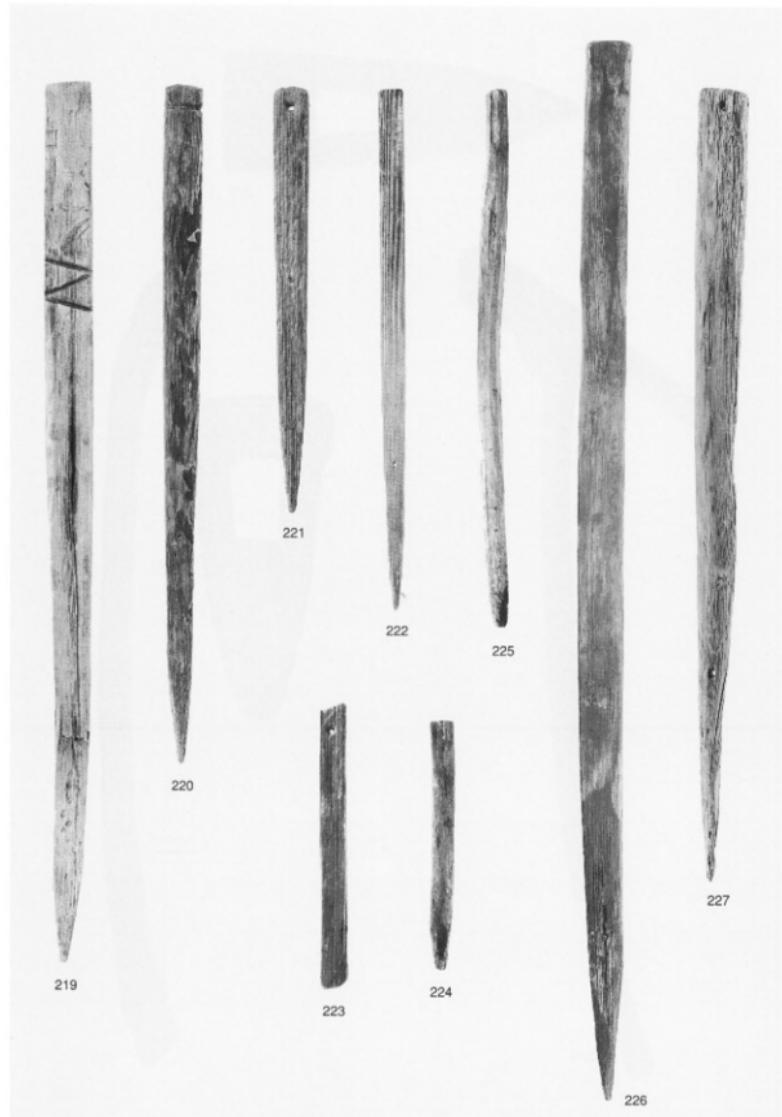
図版31 武家屋敷地区第7地点出土へら状木製品 (1)
Pl.31 Wooden spatulas from BK7 (1)

S=1:3



图版32 武家屋敷地区第7地点出土へら状木製品 (2)
Pl.32 Wooden spatulas from BK7 (2)

S=1:3



图版33 武家屋敷地区第7地点出土柄状木製品
PL33 Wooden handles from BK7

S=1:3



228



229



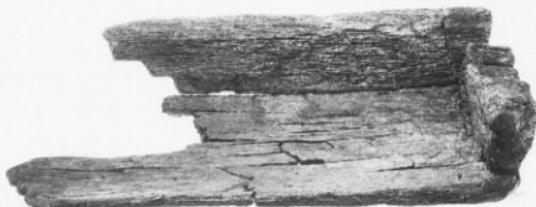
230

圖版34 武家屋敷地区第7地点出土鋤
PL34 Wooden hoes from BK7

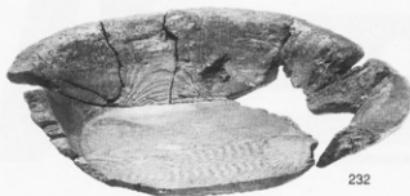
S=1:5



231



234



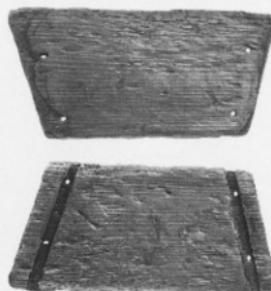
232



233

圖版35 武家屋敷地区第7地点出土槽・制物
PL35 Wooden troughs from BK7

231·232·234 S=1:6
233 S=1:3



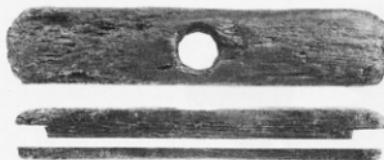
236



239



237



238



240

235

図版36 武家屋敷地区第7地点出土その他の木製品 (1)
Pl.36 Various wooden implements from BK7 (1)

S=1:4



241

242

243

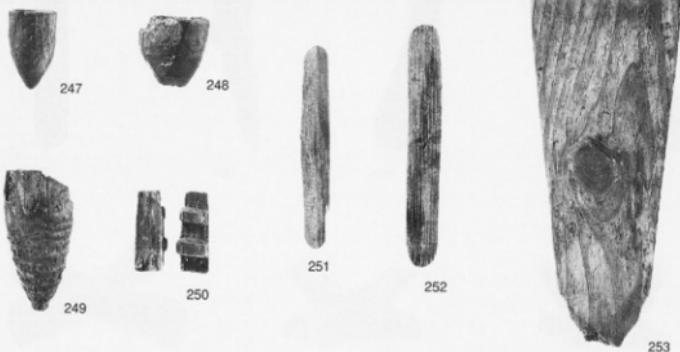


244

245



246



247

248

251

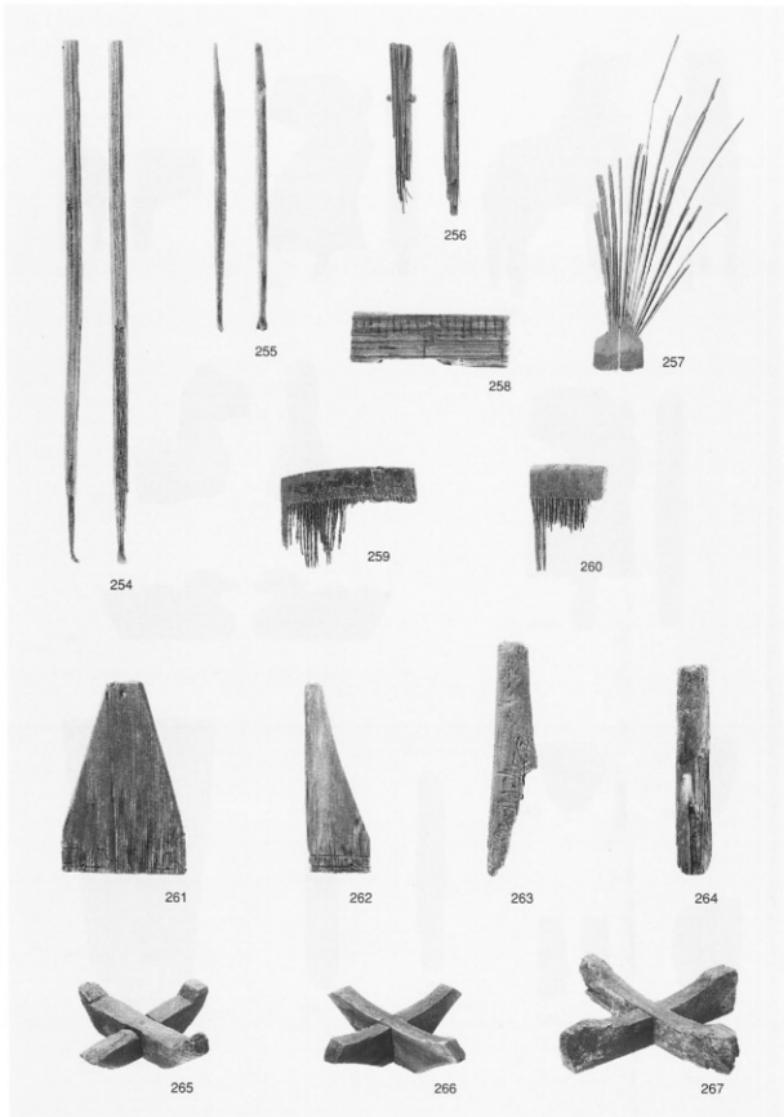
252

249



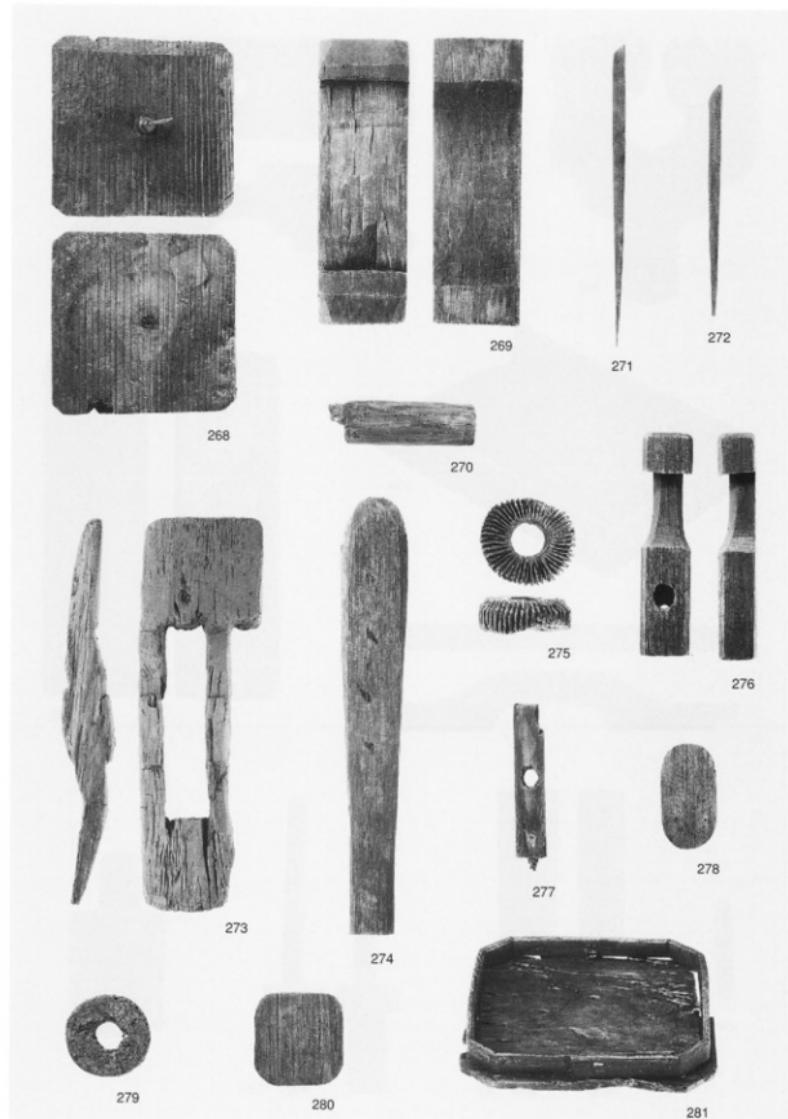
S=1:3

図版37 武家屋敷地区第7地点出土 その他の木製品 (2)
PL37 Various wooden implements from BK7 (2)



図版38 武家屋敷地区第7地点出土その他の木製品 (3)
PL38 Various wooden implements from BK7 (3)

254~260 S=1:2
261~267 S=1:3



図版39 武家屋敷地区第7地点出土その他の木製品 (4)
 PL.39 Various wooden implements from BK7 (4)

S=1:3



282



283



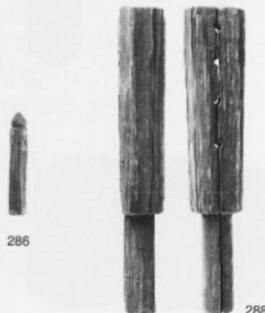
284



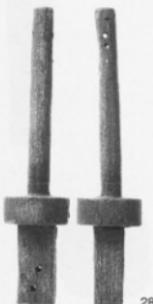
285



287



286



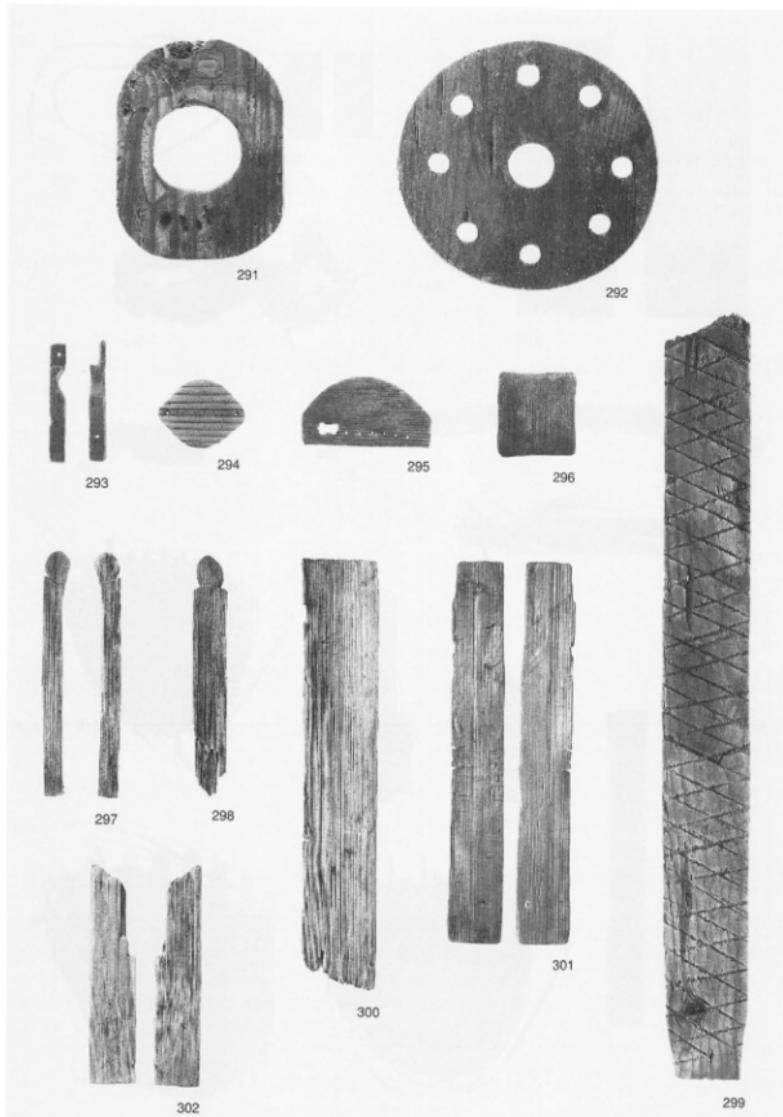
288



290

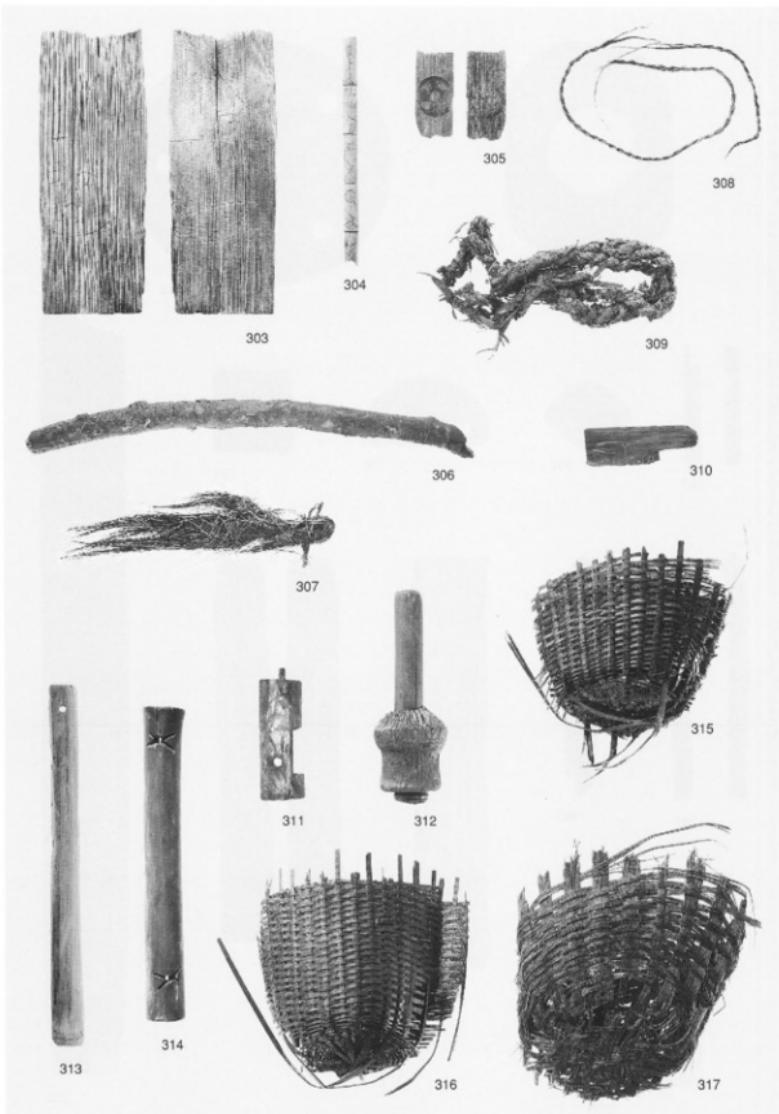
図版40 武家屋敷地区第7地点出土 その他の木製品 (5)
PL40 Various wooden implements from BK7 (5)

S = 1 : 3



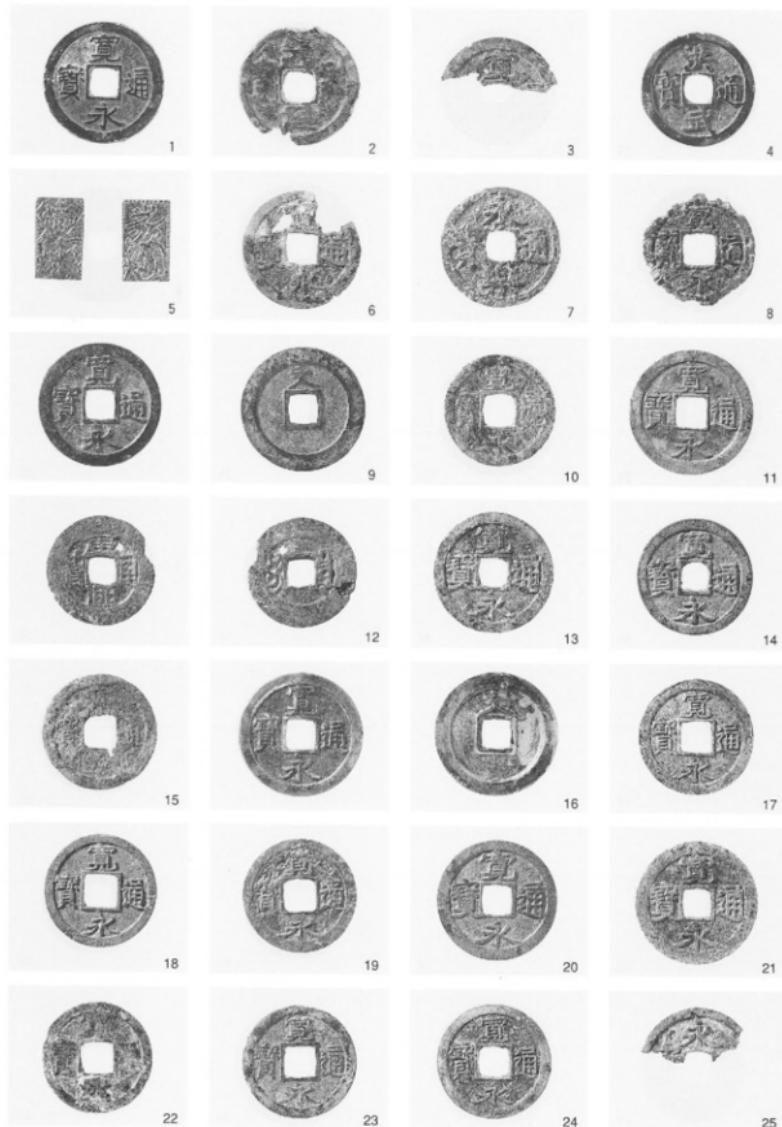
図版41 武家屋敷地区第7地点出土その他の木製品 (6)
PL41 Various wooden implements from BK7 (6)

S=1:3



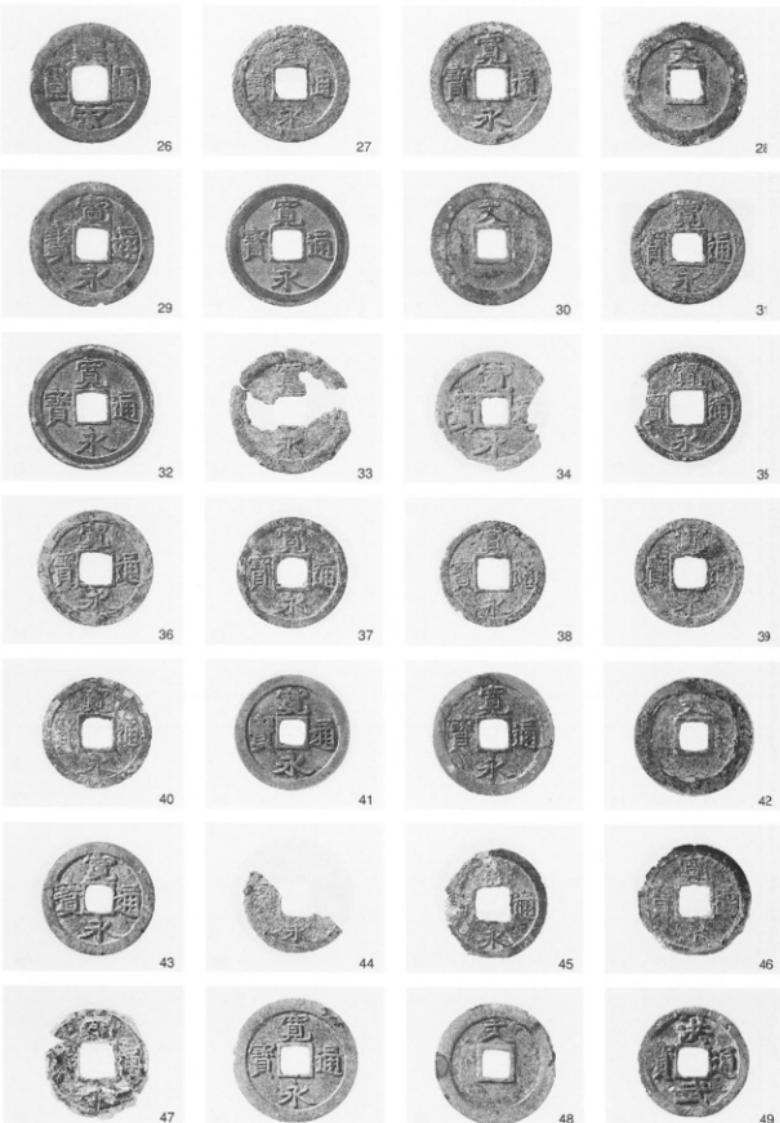
図版42 武家屋敷地区第7地点出土その他の木製品(7)・竹製品
Pl.42 Various wooden implements and various bamboo implements from BK7

310 S=1:2
310以外 S=1:3



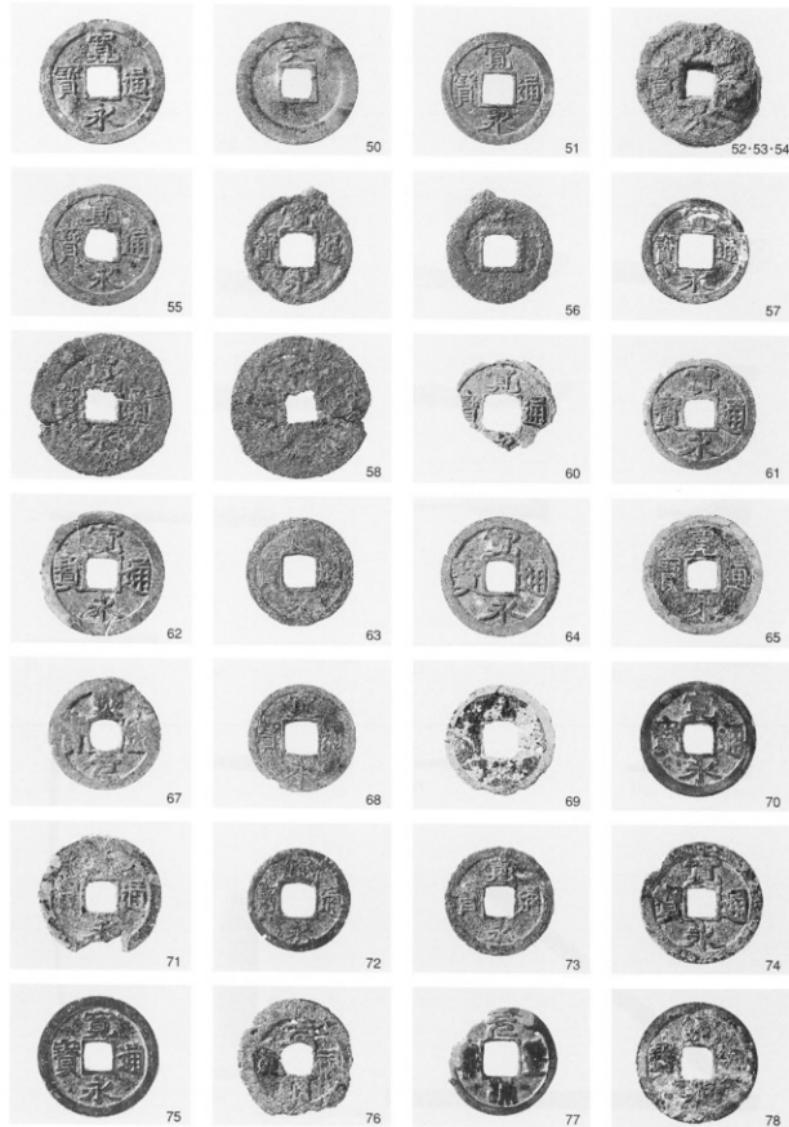
图版43 武家屋敷地区第7地点出土古钱（1）
Pl.43 Coins from BK7 (1)

S=1:1



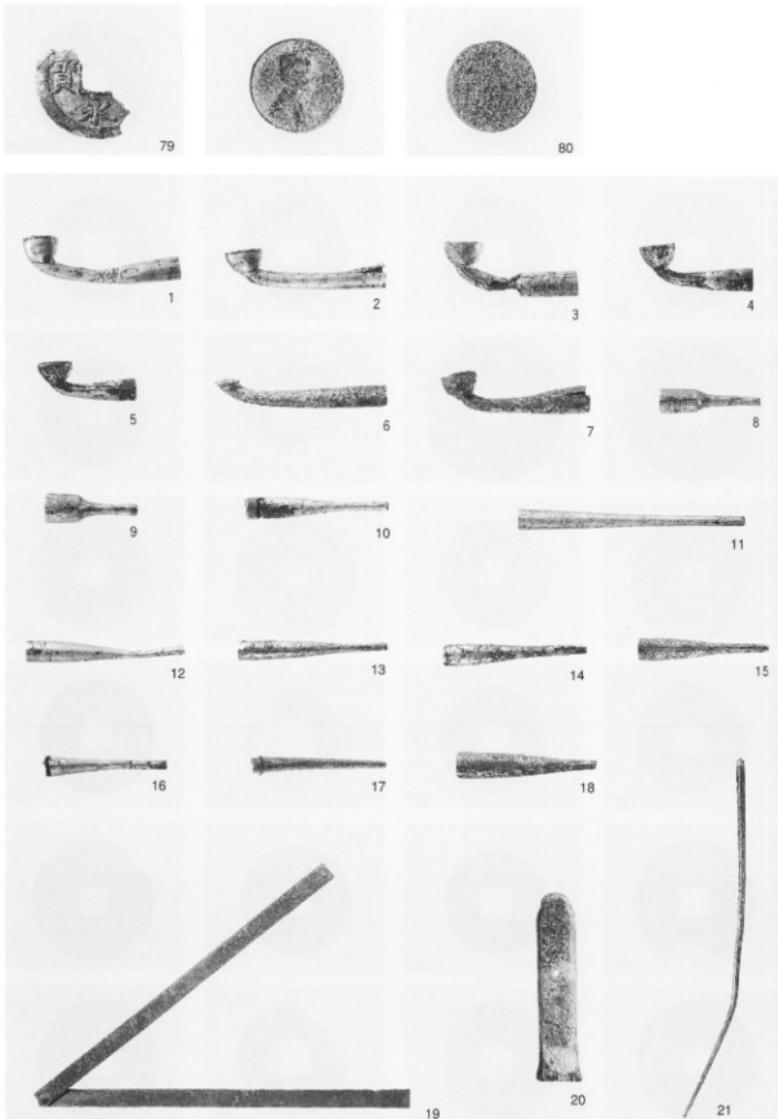
图版44 武家屋敷地区第7地点出土古钱 (2)
Pl.44 Coins from BK7 (2)

S=1:1



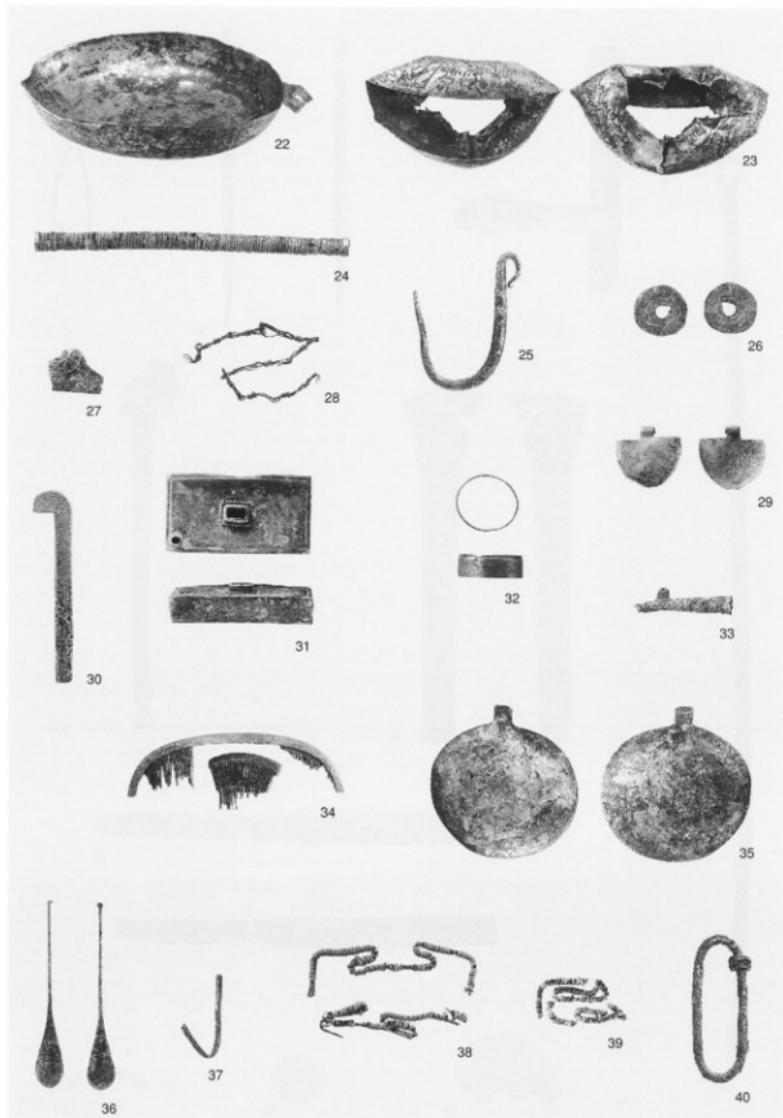
图版45 武家屋敷地区第7地点出土古钱 (3)
Pl.45 Coins from BK7 (3)

S = 1 : 1



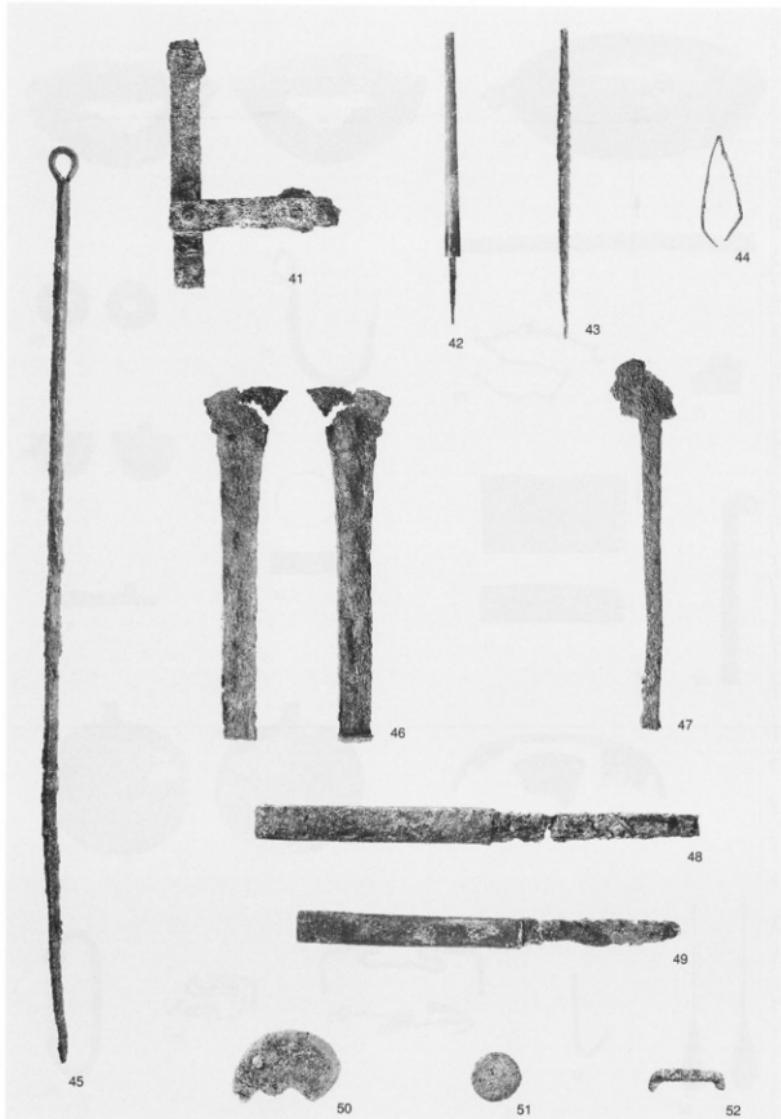
図版46 武家屋敷地区第7地点出土古銭(4)・煙管・その他の金属製品(1)
PL46 Coins, pipes and various metal implements from BK7

79・80 S=1:1
1~21 S=1:2



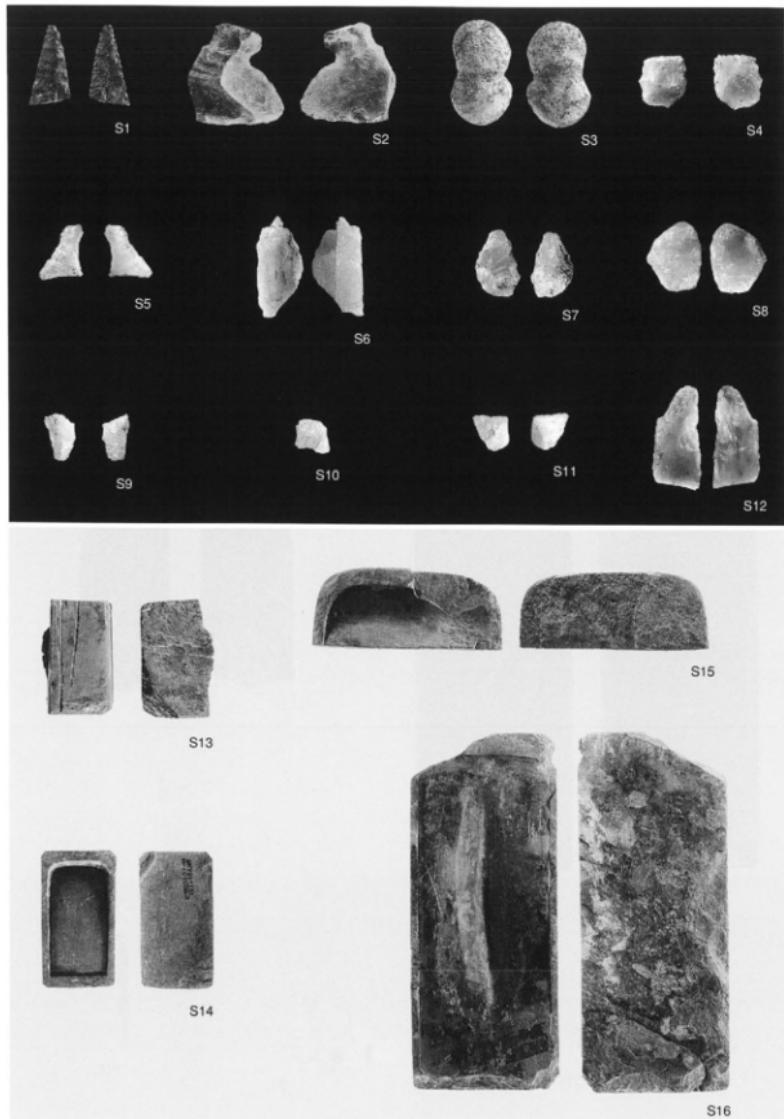
図版47 武家屋敷地区第7地点出土その他の金属製品（2）
Pl.47 Various metal implements from BK7

S=1:2



図版48 武家屋敷地区第7地点出土その他の金属製品（3）
Pl.48 Various metal implements from BK7

S=1:2



圖版49 武家屋敷地区第7地点出土石器・石製品(1)
Pl.49 Stone tools and stone-made objects from BK7 (1)

S=1:2



S17



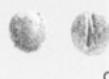
S18



S19



S20

図版50 武家屋敷地区第7地点出土石製品(2)・その他の遺物
PL50 Stone-made objects and the other implements from BK7

OT1



G1



G2

SI7~20
OT1, G1, G2 S=1:2
S=1:1

報告書抄録

ふりがな	とうほくだいがくまいぞうぶんかざいちょうさねんばう						
書名	東北大学埋蔵文化財調査年報						
副書名							
巻次	19						
シリーズ名							
シリーズ番号							
編著者名	阿子島香・藤沢敦・柴田恵子・高木鶴亮						
編集機関	東北大学埋蔵文化財調査室						
所在地	〒980-8577 宮城県仙台市青葉区片平二丁目1-1 TEL022-217-4995						
発行年月日	西暦2008年3月31日						
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	北緯 遺跡番号 (世界測地系)	東経	調査期間	調査面積 m ²	調査原因
仙台城 二の丸北方 武家屋敷跡	宮城県 仙台市 青葉区川内41	04100	01033	38° 140° 15' 50' 32° 57'	2001.5.7~11.23	810	マルチメディア 総合研究棟 新営
所収遺跡名	種別	主な時代	主な造構	主な遺物	特記事項		
仙台城跡 二の丸北方 武家屋敷地区	城館	近世	石垣・溝・ ピット	陶磁器・瓦・ 金属製品・土製品・ 木製品・木簡・石製品			

東北大学埋蔵文化財調査年報19 第4分冊

平成20年3月31日

発行 東北大学埋蔵文化財調査室

〒980-8577 仙台市青葉区片平2丁目1-1
東北大学生命科学研究所内
TEL 022(217)4995

印刷 株式会社 東北プリント
TEL 022(263)1166
